

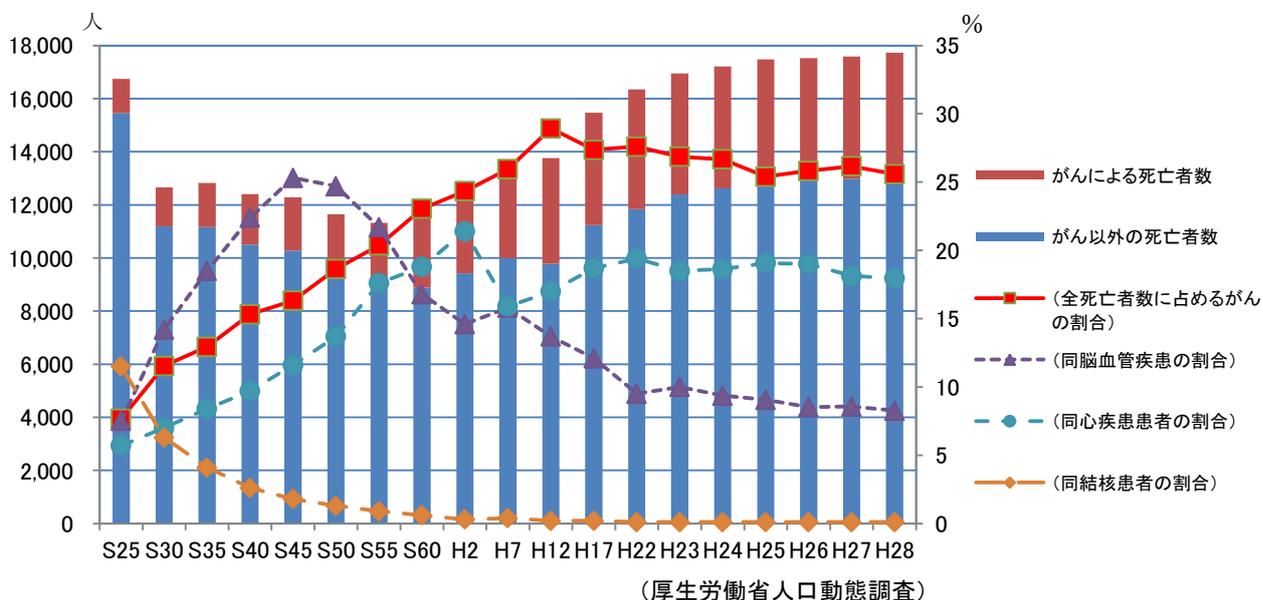
がんの状況

1 概要

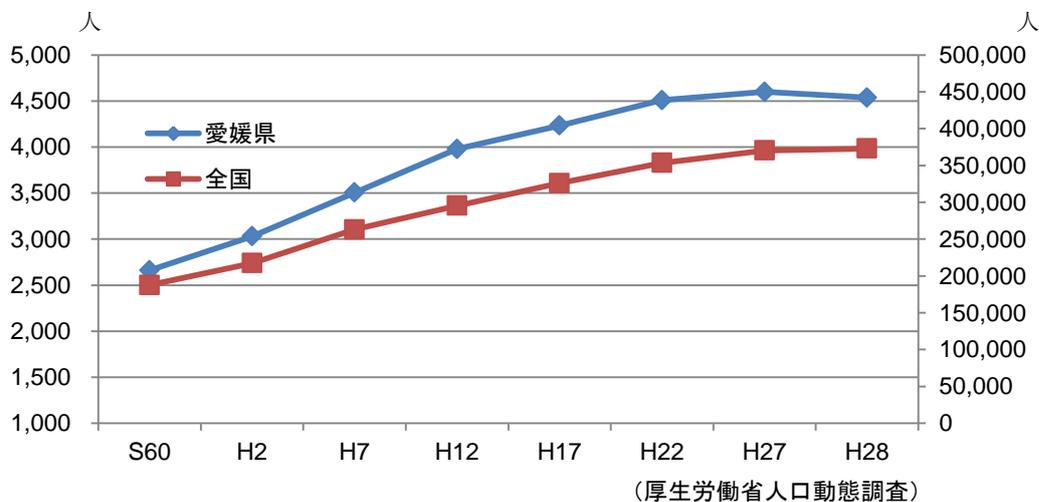
本県における平成28年（2016年）におけるがんによる死亡数は、4,538人（男性2,653人、女性1,885人）であり、全死亡数のうち25.6%を占めており、昭和56年以降、死亡原因の第1位を占めています。【図1】

また、平成25年（2013年）に、本県で新たにがんと診断されたのは、10,918件（男性6,282件、女性4,636件）であり【図2、3】、平成26年において、がんの治療を受けている患者数は、およそ1万5千人（厚生労働省：患者調査）と推計されています。

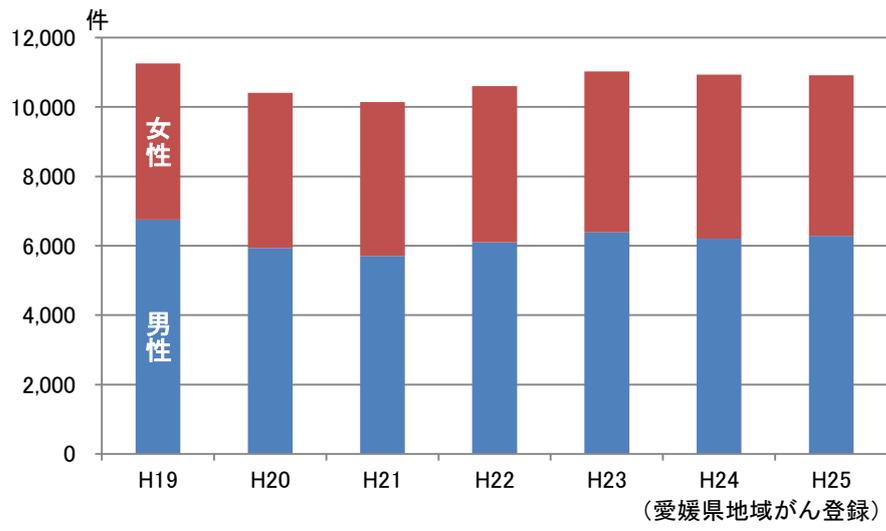
【図1】愛媛県のがん死亡者数と全死亡者に対する割合



【図2】がんによる死亡者数の推移



【図3】愛媛県のがん罹患数の推移

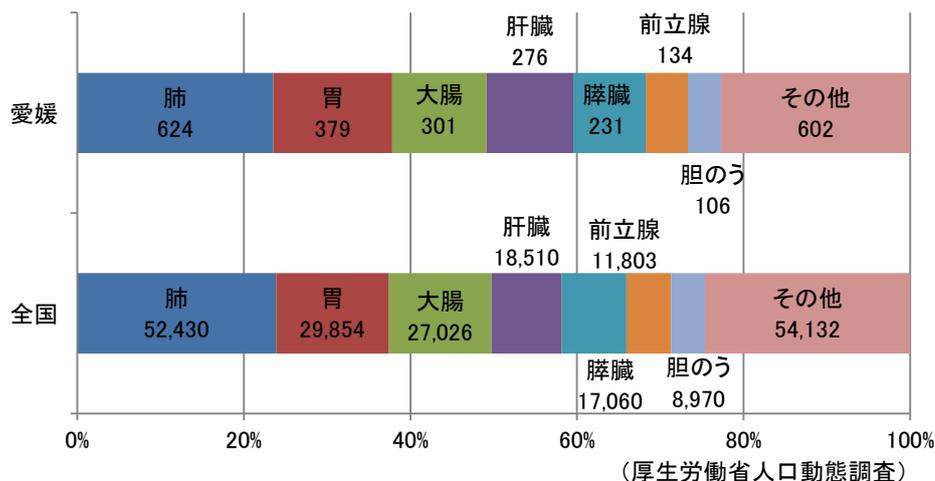


2 がん死亡の状況

(1) 死亡数

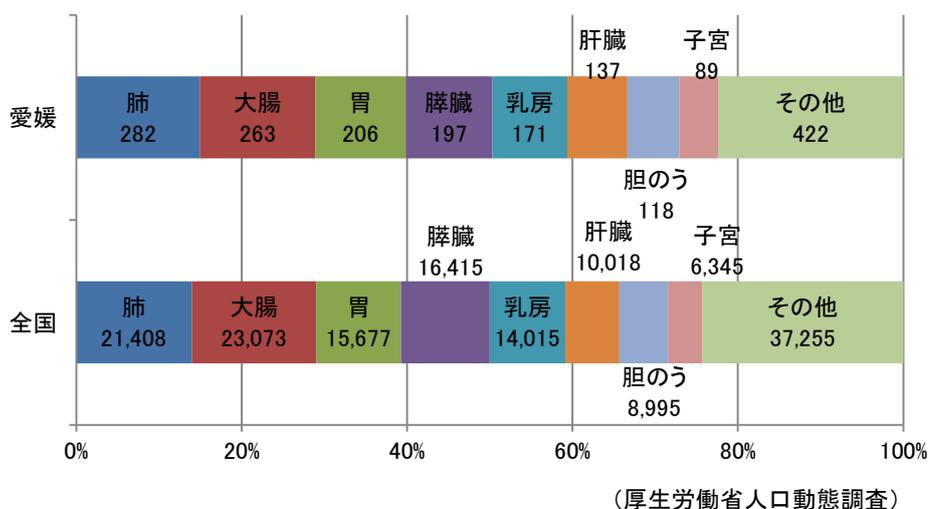
平成28年のがんによる死亡数4,538人のうち、男性の死亡者数2,653人を部位別に比較すると、最も多いのが、肺がんで624人となっており、次いで、胃がんの379人、大腸がんの301人、肝臓がん276人、膵臓がん231人となっています。

【図4】 部位別死亡数と構成比（平成28年男性）



一方、女性死亡者数1,885人を部位別に比較すると、最も多いのが、肺がんで282人、次いで、大腸がんの263人、胃がんの206人、膵臓がんの197人、乳がんの171人となっています。

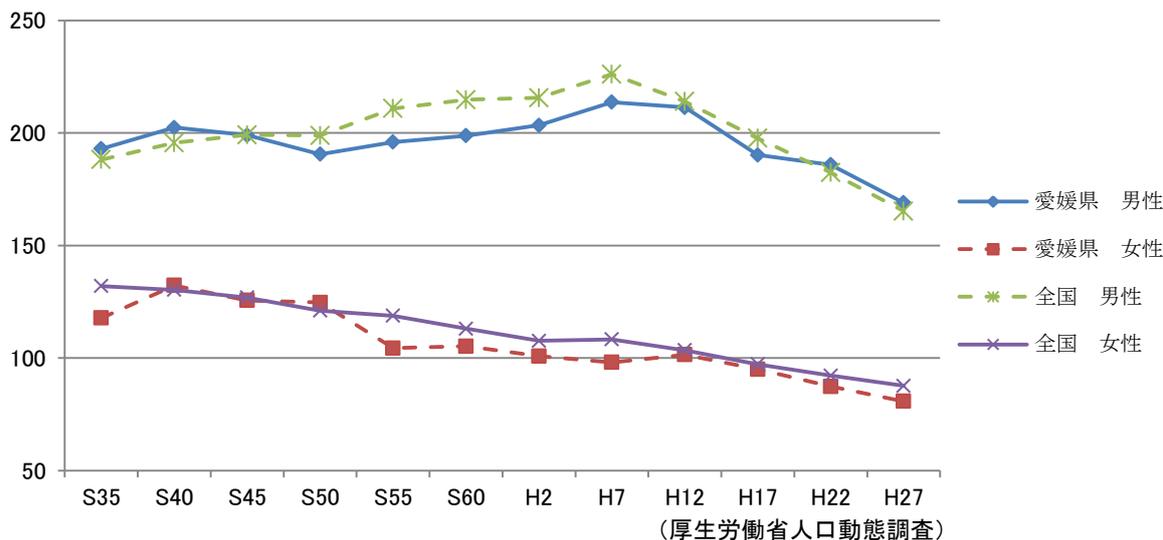
【図5】 部位別死亡数と構成比（平成28年女性）



(2) 年齢調整死亡率

高齢化の影響を除去した年齢調整死亡率の推移をみると、男性は、全国、愛媛県ともに男性は平成7年まで上昇し、その後は、着実に減少傾向にある。女性は、愛媛県では、昭和40年以降減少傾向にあり、全国では、昭和35年から減少傾向にあります。

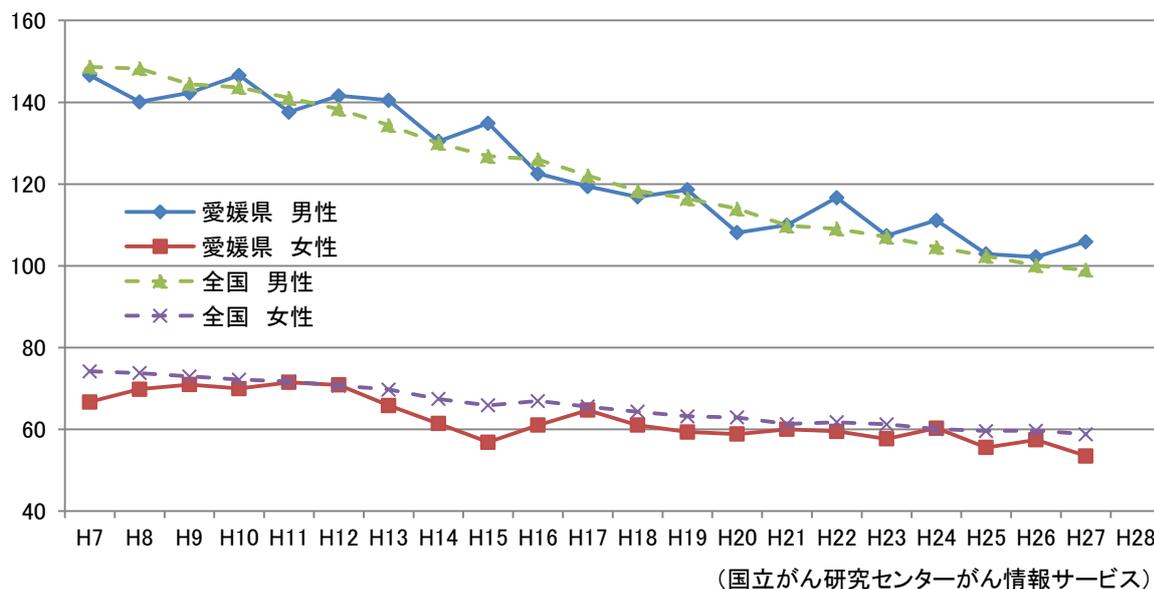
【図6】 がんによる年齢調整死亡率の推移（人口10万対比）



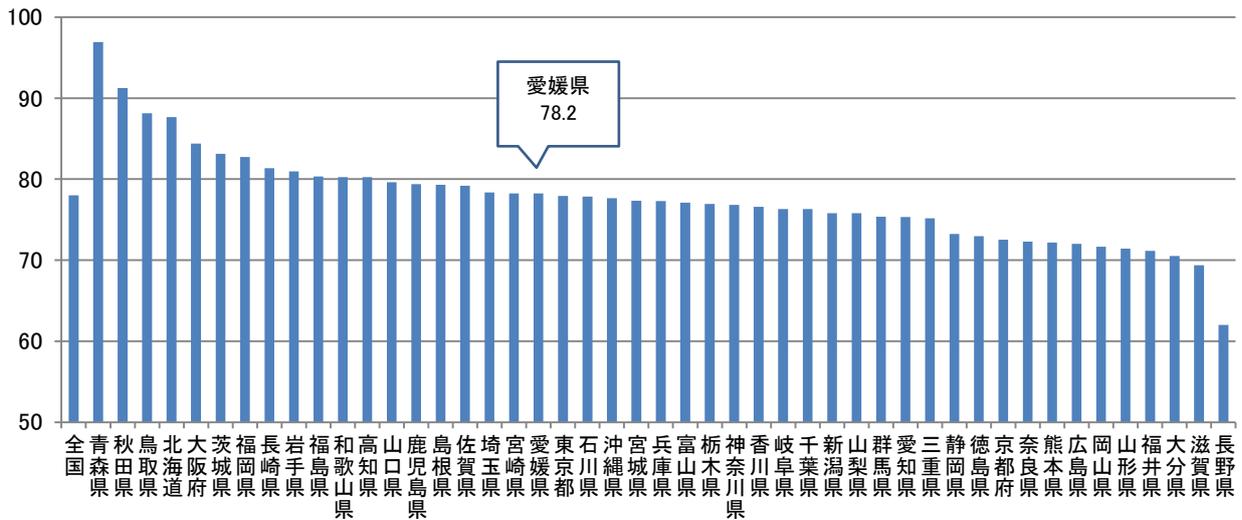
高齢化の影響を除去し、75歳以上の死亡を除くことで、壮年期の死亡の状況の評価する75歳未満の年齢調整死亡率をみると、本県における平成27年のがんの年齢調整死亡率（75歳未満）は、男105.9、女53.5であり、全国と同様に概ね減少傾向にあります。

また、男女を合わせた本県の平成27年のがんの年齢調整死亡率（75歳未満）は、78.2で、全国平均（78.0）とほぼ同水準であり、全国順位では、低い方から第29位となっています。

【図7】 がんによる75才未満の年齢調整死亡率の推移（人口10万対比）



【図8】 がんによる75才未満の年齢調整死亡率の状況（人口10万対比：平成27年）

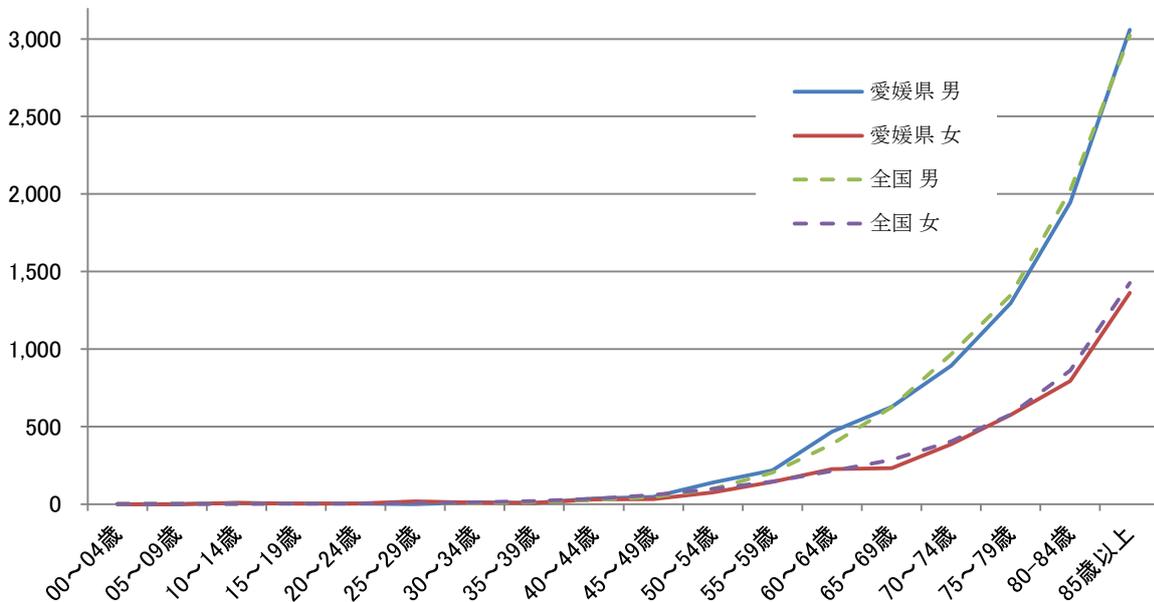


（国立がん研究センターがん情報サービス）

（3）粗死亡率

がんの年齢階級別の粗死亡率※をみると、がんは加齢により発症リスクが増えるとされていることから、全国、愛媛県ともに、60歳ごろから死亡率は高くなっている。また、男性の方が女性より高くなっています。

【図9】 がんの年齢階級別の粗死亡率（人口10万対比）



（厚生労働省 H27 人口動態特殊報告）

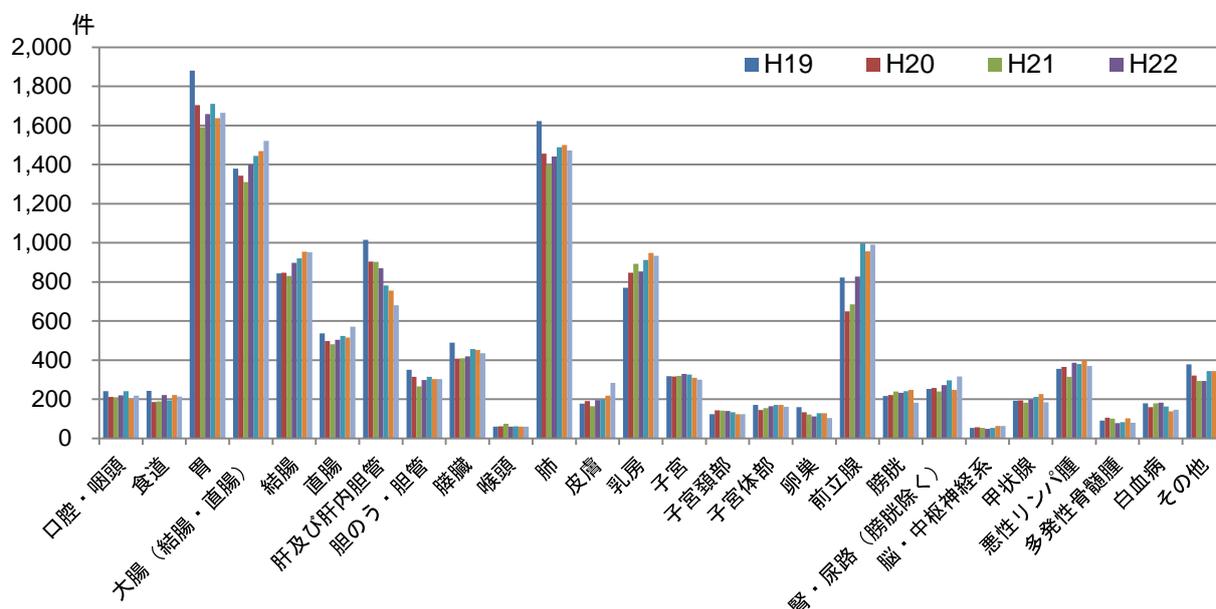
3 がん罹患の状況

(1) 罹患数

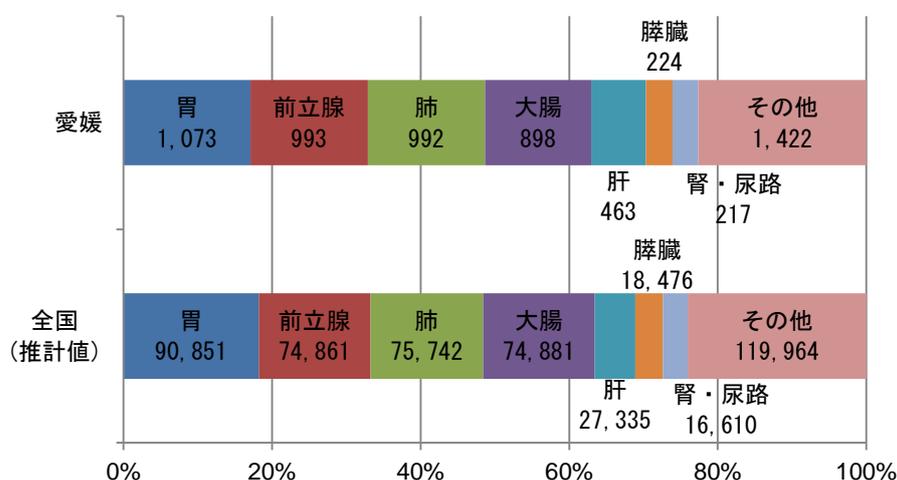
厚生労働省の患者調査の総患者数(p2参照)により、患者の状況を見ると、悪性新生物のために治療を受けている人数は、平成26年は、全国で52万6千人であるが、愛媛は、1万5千人と推計されており、部位別では、胃がん、大腸がんがそれぞれ2千人と多くなっています。

また、地域がん登録による本県のがんの罹患の状況を見ると、平成25年の罹患数は、10,918人（男性6,282人、女性4,636人）となっています。部位別に見ると、男性では、胃がんが最も多く、次いで前立腺、肺、大腸、肝臓の順となっています。女性では、乳がんが最も多く、次いで大腸、胃、肺、子宮の順となっています。

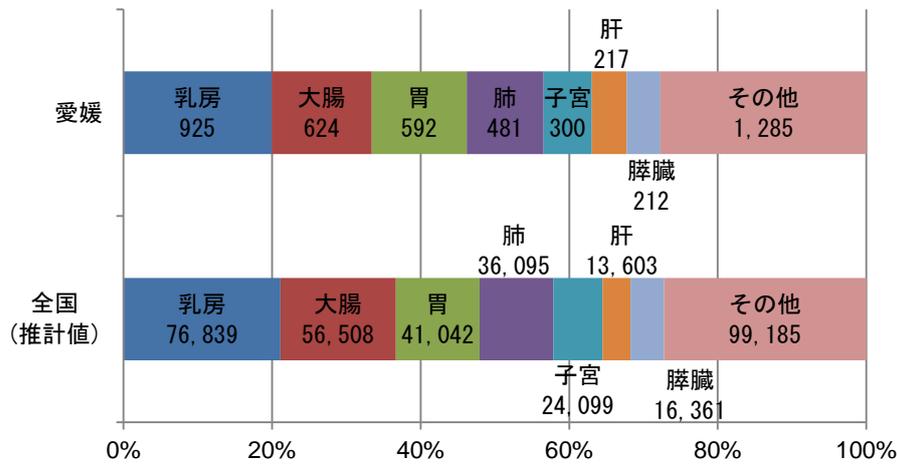
【図 10】 部位別の罹患数の推移（男女計）（平成 25 年地域がん登録）



【図 11】 男性の部位別の罹患数（平成 25 年地域がん登録）



【図 12】女性の部位別の罹患数（平成 25 年地域がん登録）



（２）年齢別の状況

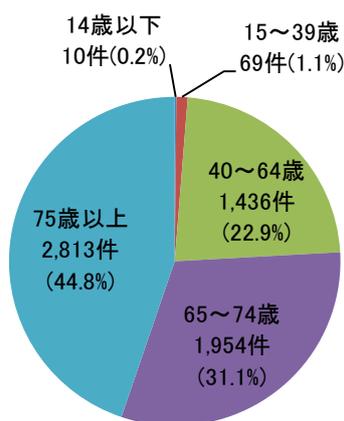
年齢別にみると、男女とも最も多いのが75歳以上となっており、男性が2,813件(44.8%)、女性が2,165件(46.7%)となっている。これに65～74歳までの層を加えた高齢者では、男女とも約7割を占めています。

また、働き世代といわれる40～64歳は、男性が1,436件(22.9%)、女性が1,302件(28.1%)となっています。

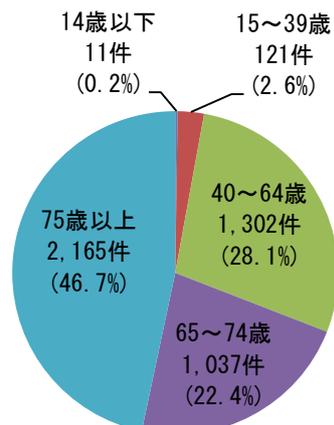
なお、14歳以下と、15～39歳までを合わせた小児・AYA世代では、男性が79件(1.3%)、女性が132件(2.8%)となっています。

【図 13】年齢別の愛媛県のがん罹患の状況（平成 25 年地域がん登録）

（男性）



（女性）



4 がん生存率の状況

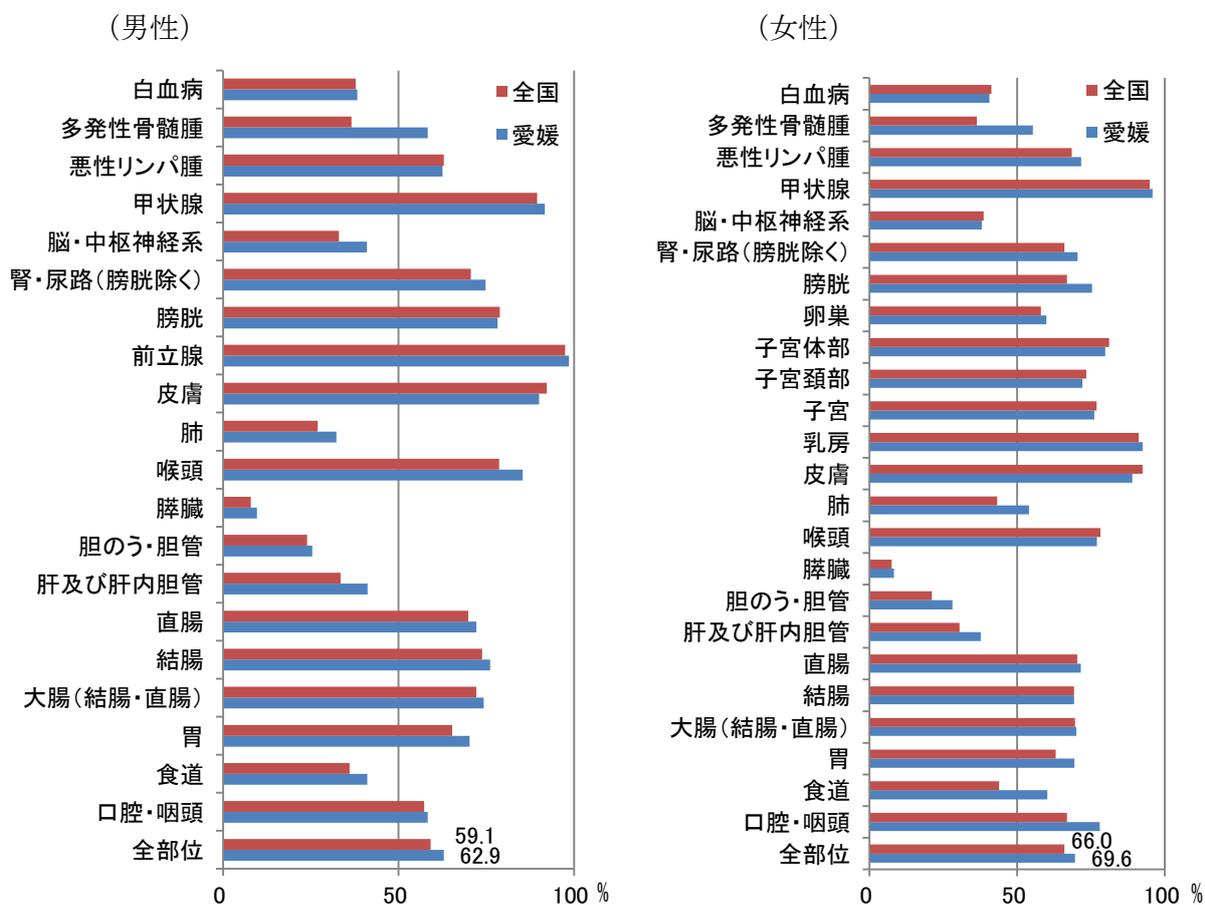
(1) 部位別5年相対生存率

本県における全部位の5年相対生存率は、男性が62.9%、女性が69.6%となっており、男性と比較し、女性の方が6.7%高くなっています。

全国集計値と比較すると、男性、女性ともに、本県の方が、全国集計値より高くなっています。

本県の状況を、部位別に見ると、男性では前立腺が最も高く、膵臓が最も低くなっています。女性では甲状腺が最も高く、膵臓が最も低くなっています。

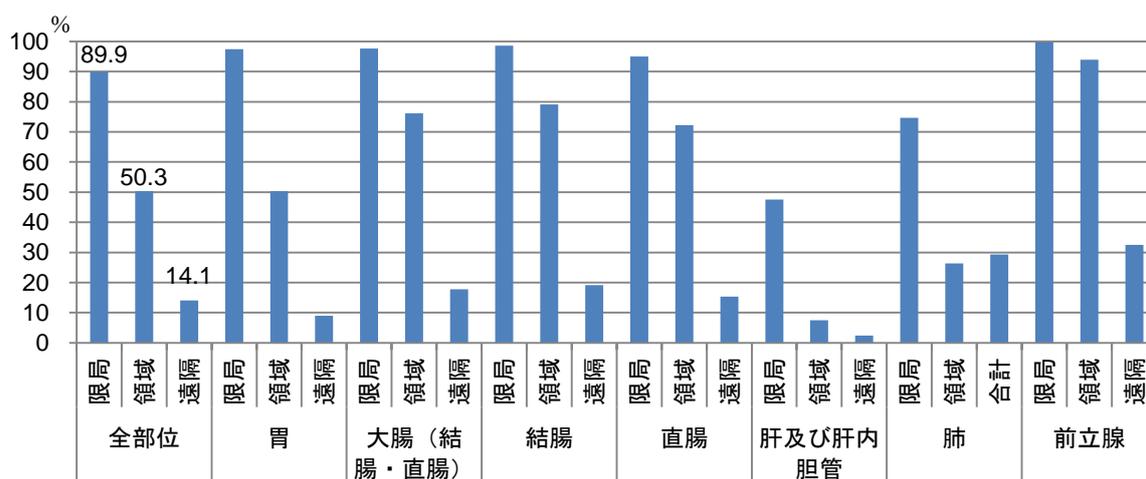
【図14】 部位別5年相対生存率（MCIJ 2006-2008）



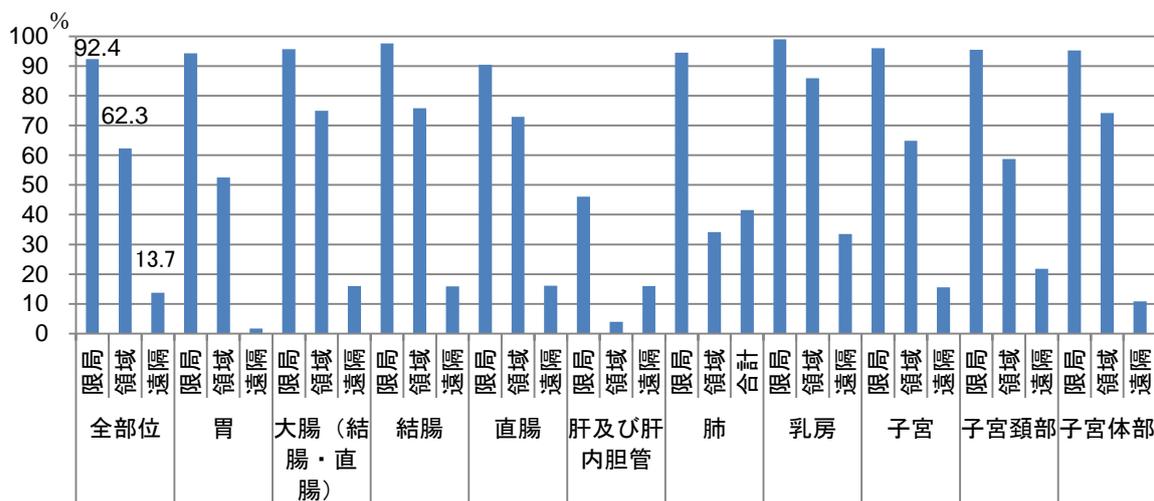
(2) 臨床進行度別5年相対生存率

本県における、診断時の臨床進行度別の5年相対生存率を見ると、男性の全部位では、限局が89.9%、領域が50.3%、遠隔が14.1%であり、女性の全部位では、限局が92.4%、領域が62.3%、遠隔が13.7%となっている。部位別では、男女ともに、全ての部位において、限局が最も生存率が高くなっています。

【図15】愛媛県の臨床進行度別5年相対生存率（男性：MCIJ 2006-2008）



【図16】愛媛県の臨床進行度別5年相対生存率（女性：MCIJ 2006-2008）



5 検診受診の状況

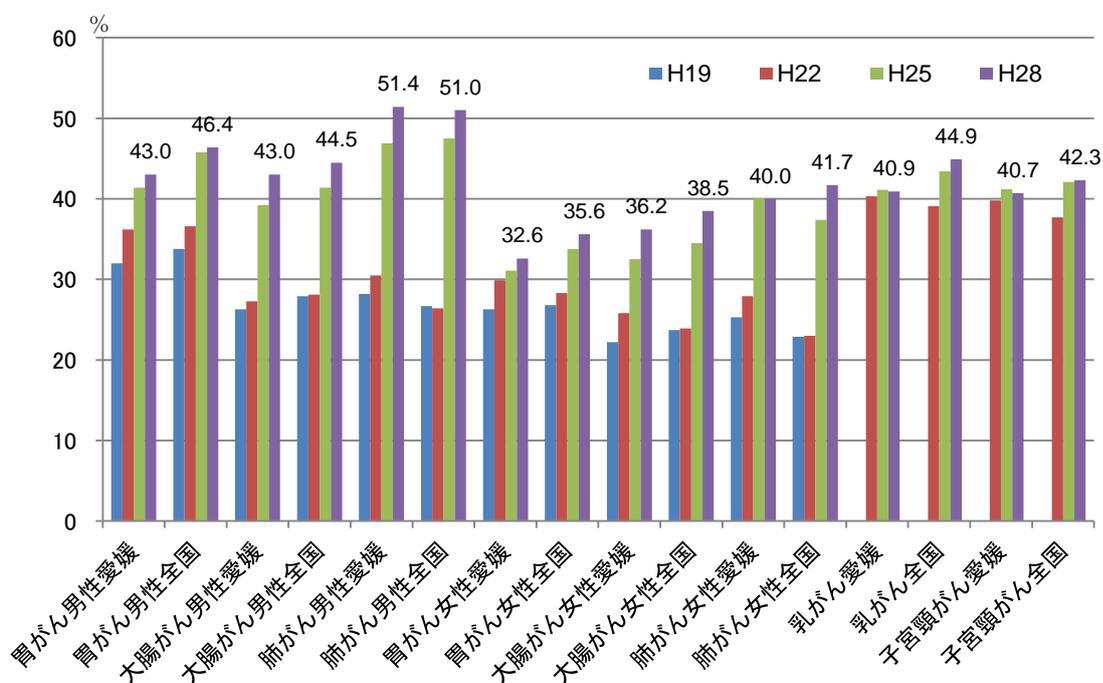
がん検診は、健康増進法の健康増進事業として国の指針に基づき市町が実施しているほか、企業が従業員に対して福利厚生事業として実施する場合や、個人が任意で受診する人間ドック等の中で受診する場合等がありますが、これらを含む、全体のがん検診の受診状況は、「国民生活基礎調査」と「地域保健・健康増進事業報告」で調査しています。

「国民生活基礎調査」は、3年ごとの大規模調査年に、全国民を対象とした抽出調査により過去1年間（子宮がん、乳がんは過去2年間）のがん検診受診の有無を調査し、都道府県ごとの受診者数を推計しています。「地域保健・健康増進事業報告」は、健康増進事業として市町が実施するがん検診の受診者数、要精密検者数等の実数を毎年集計しています。

(1) がん検診受診率

国民生活基礎調査による本県のがん検診受診率は、概ね上昇傾向にはあるが、平成28年の調査において、前回計画でさだめた受診率の目標値50%を達成したのは、全国と同様に男性の肺がん検診のみであり、他の区分では、概ね30%から40%台です。いずれのがん検診種別においても、男性と比較し、女性の受診率が低い傾向にあります。また、2年に1回の受診が推奨される子宮がん、乳がんは、過去2年間の受診状況を調査したものであるが、他のがん検診に比べ高い受診率となっています。

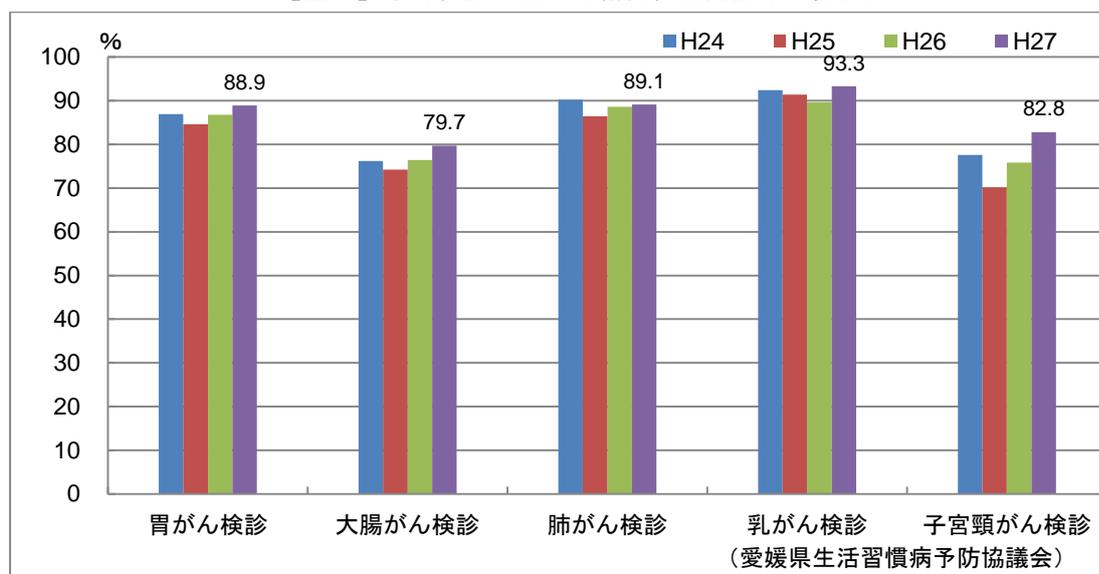
【図17】国民生活基礎調査によるがん検診受診率



(2) 精密検査受診率

がん検診を受診した後の精密検査の受診率は、乳がん検診が90%を越えており、最も高く、次いで、肺がん検診、胃がん検診が80%台となっています。また、大腸がん、子宮がんは60～70%台に留まっています。

【図18】市町検診における精密検査受診率（男女計）



6 がん診療連携拠点病院等の整備状況

(1) がん診療連携拠点病院について

がん診療連携拠点病院とは、全国どこに住んでいても「質の高いがん医療」が受けられるように、都道府県の推薦をもとに厚生労働大臣が指定した病院。専門的ながん医療の提供、がん診療の連携協力体制の整備、患者への相談支援や情報提供などの役割を担うもので、4年ごと指定更新となっています。

都道府県に原則1カ所指定される都道府県がん診療連携拠点病院と、二次医療圏に概ね1カ所指定される地域がん診療連携拠点病院の他、がん診療連携拠点病院とグループ指定により二次医療圏に一カ所指定される地域がん診療病院の制度があります。

愛媛県内では、1カ所の都道府県がん診療連携拠点病院と6カ所の地域がん診療連携拠点病院が指定を受けています。

[都道府県がん診療連携拠点病院（国指定）]

都道府県がん診療連携拠点病院は、がん診療の質の向上及び医療機関の連携協力体制の構築に関し、各都道府県のがん医療の中心的な役割を担う病院です。

医療機関名	所在地	対象圏域
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	松山市	全県

[地域がん診療連携拠点病院（国指定）]

地域がん診療連携拠点病院は、二次医療圏単位を目安に指定され、地域のがん医療の拠点としての役割を担う病院です。

医療機関名	所在地	対象圏域
住友別子病院	新居浜市	宇摩圏域、新居浜・西条圏域
済生会今治病院	今治市	今治圏域
愛媛大学医学部附属病院	東温市	松山圏域 (今治圏域、新居浜・西条圏域の支援)
愛媛県立中央病院	松山市	松山圏域、八幡浜・大洲圏域
松山赤十字病院	松山市	
市立宇和島病院	宇和島市	宇和島圏域

〈 拠点病院の役割 〉

- ・専門的ながん医療の提供等

(手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施や治療の初期段階からの緩和ケアの実施等) ※医師、看護師、薬剤師等によるチーム医療の提供

- ・地域のがん診療の連携協力体制の構築

(研修や診療支援、患者の受入・紹介等)

- ・がん患者に対する相談支援及び情報提供

(2) 愛媛県がん診療連携推進病院について

国指定の拠点病院については、指定基準の引き上げ等により、追加指定が難しい状況にあり、二次医療圏ごとにみれば、拠点病院のない空白地域も生じています。

このため、国指定の「拠点病院」の機能・役割を補完し、がん診療の中核的役割を担う医療機関の裾野を拡大するため、県独自に「愛媛県がん診療連携推進病院」制度を創設し、拠点病院に準ずる診療機能を有する松山市民病院など8病院を指定しています。これにより、国指定病院ではカバーできていなかった宇摩圏域及び八幡浜・大洲圏域の病院が加わるなど、がんの診療体制の充実が進んでいます。

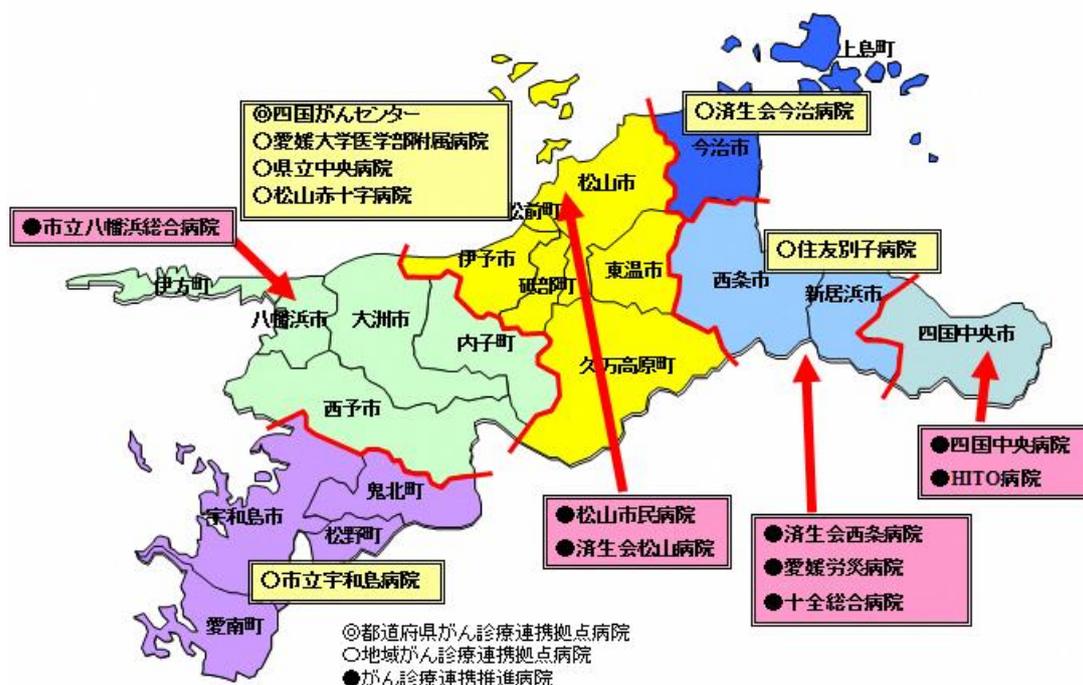
[愛媛県がん診療連携推進病院（県指定）]

医療機関名	所在地	所在圏域
松山市民病院	松山市	松山圏域
済生会松山病院		
済生会西条病院	西条市	新居浜・西条圏域
愛媛労災病院	新居浜市	
十全総合病院	新居浜市	
四国中央病院	四国中央市	宇摩圏域
H I T O病院	四国中央市	
市立八幡浜総合病院	八幡浜市	八幡浜・大洲圏域

〈 推進病院の役割 〉

- ・国指定の「拠点病院」の機能・役割を補完
- ・拠点病院の空白圏域の診療体制を強化

【図19】愛媛県のがん診療連携拠点病院等の配置状況



脳卒中の現状について

1 全国の状況

○平成 27 年中の救急車によって搬送された急病患者の 8.1%（約 28 万人）が脳卒中を含む脳疾患である。循環器系でみれば 16.7%で第 1 位となっている。（消防庁「平成 28 年版救急・救助の現況」）

分類		人数	割合
循環器系	脳疾患	281,703	8.1%
	心疾患等	302,081	8.6%
消化器系		341,483	9.8%
呼吸器系		326,964	9.4%
精神系		124,749	3.6%
感覚系		151,392	4.3%
泌尿器系		114,804	3.3%
新生物		58,114	1.6%
その他		620,645	17.8%
症状・徴候・診断名・不明確の状態		1,169,439	33.5%
合計		3,491,374	

○平成 27 年には、死亡数全体の 8.7%の約 11 万人が脳血管疾患を原因として死亡しており、死亡順位の第 4 位となっている。（厚生労働省「平成 27 年人口動態統計（確定数）」）

死因（上位 10 位）	死亡数		死亡率	死亡総数に占める割合
	順位	人数		
全死因		1,290,444	1,029.7	100.0
悪性新生物	(1)	370,346	295.5	28.7
心疾患（高血圧性を除く）	(2)	196,113	156.5	15.2
肺炎	(3)	120,953	96.5	9.4
脳血管疾患	(4)	111,973	89.4	8.7
老衰	(5)	84,810	67.7	6.6
不慮の事故	(6)	38,306	30.6	3.0
腎不全	(7)	24,560	19.6	1.9
自殺	(8)	23,152	18.5	1.8
大動脈瘤及び解離	(9)	16,887	13.5	1.3
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	(10)	15,756	12.6	1.2

○介護が必要になった者の 16.6%は脳血管疾患（脳卒中）が主な原因であり、認知症に次いで第 2 位である。（厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」）

原因	人数（10 万対）	割合
脳血管疾患（脳卒中）	16,583	16.6%
心疾患（心臓病）	4,633	4.6%
悪性新生物（がん）	2,386	2.4%
呼吸器疾患	2,166	2.2%
関節疾患	10,172	10.2%
認知症	17,988	18.0%
パーキンソン病	3,089	3.1%
糖尿病	2,740	2.7%
視覚・聴覚障害	1,326	1.3%

骨折・転倒	12,075	12.1%
脊髄損傷	2,267	2.3%
高齢による衰弱	13,294	13.3%
その他	8,211	8.2%
わからない	1,058	1.1%
不詳	2,011	2.0%

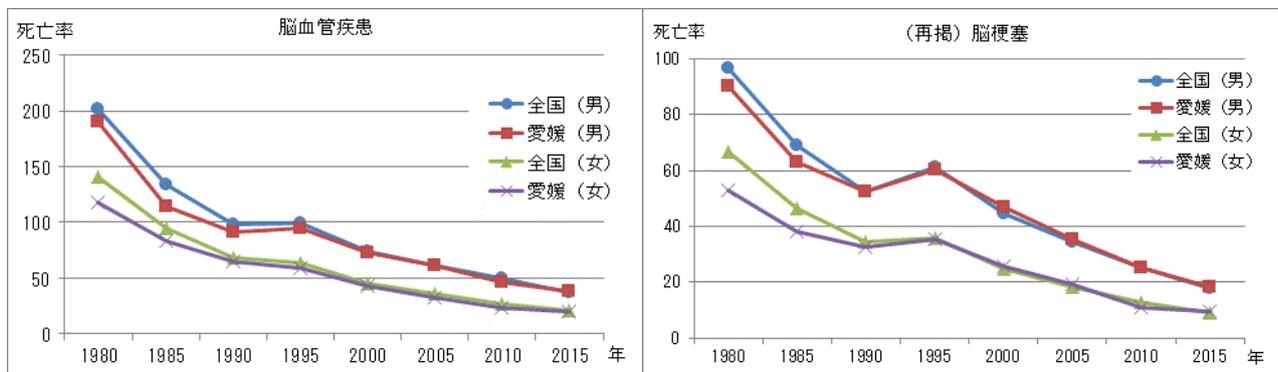
○介護が必要になった者のうち71.8%が要介護者であり、脳卒中は、患者及び家族の日常生活に与える影響が大きい。(厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」)

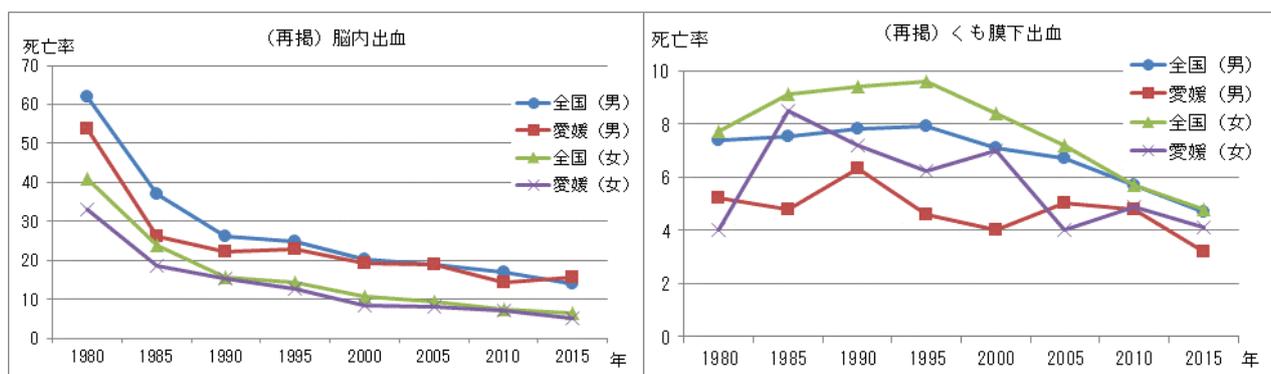
原因	総数(10万対)①	うち要介護者②	割合②/①
脳血管疾患(脳卒中)	16,583	11,908	71.8%
心疾患(心臓病)	4,633	2,455	53.0%
悪性新生物(がん)	2,386	1,738	72.8%
呼吸器疾患	2,166	1,465	67.6%
関節疾患	10,172	4,525	44.5%
認知症	17,988	16,084	89.4%
パーキンソン病	3,089	2,197	71.1%
糖尿病	2,740	1,581	57.7%
視覚・聴覚障害	1,326	672	50.7%
骨折・転倒	12,075	6,979	57.8%
脊髄損傷	2,267	1,399	61.7%
高齢による衰弱	13,294	7,850	59.0%
その他	8,211	4,968	60.5%
わからない	1,058	499	47.2%
不詳	2,011	444	22.1%

2 愛媛県の状況

(1) 患者の状況

○脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)で見ると、昭和55年(1980年)の男性190.3、女性118.3から減少傾向にあり、平成27年(2015年)には男性38.6、女性20.0となっている。また、全国の男性37.8、女性21.0と比較すると同程度となっている。(厚生労働省「平成27年人口動態統計特殊報告」)





○平成 27 年の脳血管疾患の年齢調整死亡率は、全国の男性 37.8、女性 21.0 と比較すると同程度となっているが、全国順位では男性が第 19 位 (H12: 第 25 位)、女性が第 30 位 (H12: 第 31 位) である。(脳梗塞では、男性が第 20 位、女性が第 16 位である。)(厚生労働省「平成 27 年人口動態統計特殊報告」)

○愛媛県の平成 27 年年齢調整死亡率を主な死亡原因別にみたとき、脳血管疾患は男性第 4 位、女性第 3 位となっており、減少傾向にあるものの死亡原因の上位に位置する。(厚生労働省「人口動態統計特殊報告」)

[男性]

		全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	老衰	腎不全	糖尿病	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	大動脈瘤及び解離
H12	率	649.3	211.4	99.1	<u>73.3</u>	49.7	43.3	31	17.4	8.6	7.4	7.2		
	順位		1	2	<u>3</u>	4	5	6	7	8	9	10		
H17	率	615.1	190.2	100.0	<u>61.3</u>	53.0	37.7	33.8	6.8	8.3	6.9	12.6	9.4	
	順位		1	2	<u>3</u>	4	5	6	11	9	10	7	8	
H22	率	565.6	185.9	92.6	<u>45.9</u>	45.4	29.7	27.7	7.4	9.9	6.9	11.5	8.1	5.9
	順位		1	2	<u>3</u>	4	5	6	10	8	11	7	9	12
H27	率	516.8	169.0	80.3	<u>38.6</u>	40.3	26.1	24.9	11.7	8.6	6.1	10.5	7.9	6.1
	順位		1	2	<u>4</u>	3	5	6	7	9	11	8	10	11

[女性]

		全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	老衰	腎不全	糖尿病	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	大動脈瘤及び解離
H12	率	323	101.5	51.6	<u>42.9</u>	21.6	16.6	9.5	8	5.5	5.4	4.6		
	順位		1	2	<u>3</u>	4	5	6	7	8	9	10		
H17	率	305.6	95.1	55.5	<u>32.4</u>	21.6	13.1	11.3	7.6	6.4	3.8	4.5	1.9	
	順位		1	2	<u>3</u>	4	5	6	7	8	10	9	11	
H22	率	272.1	87.4	49.4	<u>23.9</u>	17.5	11.9	9.9	9.6	4.5	2.7	3.2	1.1	2.4
	順位		1	2	<u>3</u>	4	5	6	7	8	10	9	12	11
H27	率	254.2	80.8	42.8	<u>20.0</u>	15.4	9.3	9.4	14.7	4.3	1.8	2.8	0.8	2.6
	順位		1	2	<u>3</u>	4	7	6	5	8	11	9	12	10

○10万人あたりの脳血管疾患に係る受療率（＝推計患者数÷推計人口×100,000）をみると、平成26年の男性で316（全国191）、女性で311（全国208）となっている。（厚生労働省「患者調査」）

	H17	H20	H23	H26
全国（男）	408	231	212	191
全国（女）	448	268	239	208
愛媛（男）	468	344	257	316
愛媛（女）	445	428	296	311

(2) 医療提供体制

○平成26年の10万人あたりの神経内科医数（医療施設従事者数）は全国3.7人に対し愛媛県は2.2人で、脳神経外科医数（医療施設従事者数）は全国5.6人に対し愛媛県は7.3人となっている。（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

○全国平均を上回る脳神経外科医にあっても、県内で偏在が見られる。（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

	10万人あたり		実数						
	全国	愛媛県	県計	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
神経内科	3.7	2.2	30	1	0	0	29	0	0
脳神経外科	5.6	7.3	102	2	13	10	64	8	5

○脳卒中の治療においては、発症後4.5時間以内にt-PAの静脈内投与を実施することや、発症後8時間以内に血栓除去術を実施するなど、専門的な治療を行う必要があるが、CT撮影やMRI撮影等を含め各種機能を有する医療機関の設置状況は、地域によって異なっている。（別表「機能別医療機関例」を参照。愛媛県「えひめ医療情報ネット」）

○レセプトデータ（NDB）を活用した提供状況の分析をみると、急性期治療やリハビリテーションに関する提供状況に地域差が見られる。（厚生労働省「医療提供体制（CSR）」（医療計画作成支援データブック収録））

○特にt-PAや経皮的脳血管形成術等の提供状況では、八幡浜・大洲圏域が最も少なく、地域に差が生じている。（厚生労働省「医療提供体制（CSR）」（医療計画作成支援データブック収録））

項目	区分	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
脳血管障害患者（全体）	入院	98.5	114.1	120.3	118.6	111.6	106.5
	外来	80.9	91.5	104.3	129.5	133.5	112.6
脳血管障害患者（全体）（主傷病）	入院	90.6	97.5	98.4	120.5	100.3	86.3
	外来	76.8	97.0	139.8	173.9	189.3	124.1
超急性期脳卒中加算	入院		94.8	70.8	59.2		
脳卒中ケアユニット入院医療管理料（SCU）（再掲）	入院				40.8		
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者	入院	111.9	100.4	129.4	121.4	130.8	87.8
	外来	73.0	88.7	111.2	133.5	143.1	95.3
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者（主病名）	入院	102.4	86.8	97.6	120.2	112.4	78.3
	外来	75.1	87.9	145.0	194.0	222.5	94.3
脳卒中のt-PA	入院	132.0	112.0	137.6	75.3	26.8	46.4

脳卒中の t-PA 以外の薬物療法	入院	93.9	138.0	103.2	115.4	143.6	117.1
脳卒中の経皮的血脳管形成術等	入院	<u>77.9</u>	<u>21.4</u>	<u>59.6</u>	<u>79.5</u>	<u>38.9</u>	<u>28.3</u>
脳卒中の動脈形成術等	入院		<u>61.1</u>	<u>77.3</u>	132.7	<u>82.4</u>	<u>59.4</u>
脳卒中に対する急性期リハビリテーション	入院	92.3	98.6	140.2	115.6	119.3	104.7
脳卒中に対するリハビリテーション	入院	<u>72.3</u>	103.3	104.7	121.4	<u>81.1</u>	<u>79.4</u>
	外来	<u>67.5</u>	180.9	247.5	120.4	<u>60.2</u>	159.6
	全体	<u>71.2</u>	120.7	136.6	121.2	<u>76.7</u>	96.4
脳梗塞の摂食機能療法	入院	<u>68.9</u>	137.2	<u>47.9</u>	111.6	<u>52.0</u>	103.5
	外来	<u>16.1</u>	147.6		309.8	176.8	
	全体	<u>68.1</u>	137.3	<u>47.2</u>	114.5	<u>53.8</u>	102.0
脳卒中患者の連携パス利用者（第1入院機関）	入院	<u>23.2</u>	<u>30.3</u>	124.6	166.8		108.8
脳卒中患者の連携パス利用者（第2入院機関）	入院	92.4		132.4	187.3	<u>4.1</u>	<u>55.2</u>
脳出血患者	入院	102.7	95.9	98.3	129.1	108.4	<u>77.9</u>
	外来	97.1	107.8	169.4	106.4	102.0	<u>86.4</u>
脳出血患者（主病名）	入院	101.8	<u>86.0</u>	<u>88.2</u>	129.1	95.6	<u>86.6</u>
	外来	109.7	105.8	225.9	108.2	122.5	102.7
脳出血の脳室ドレナージ等	入院	163.9	<u>50.5</u>	<u>65.0</u>	<u>83.1</u>	101.7	107.2
脳出血の脳血管内手術等	入院	<u>54.7</u>	111.1	150.4	91.6	114.7	144.7
くも膜下出血患者	入院	<u>59.5</u>	<u>69.6</u>	95.5	109.4	108.7	<u>85.8</u>
	外来	<u>83.4</u>	95.4	154.0	113.5	102.9	98.1
くも膜下出血患者（主病名）	入院	<u>74.7</u>	<u>46.5</u>	<u>61.5</u>	99.9	102.6	<u>74.6</u>
	外来	93.9	<u>76.0</u>	200.8	110.9	124.6	117.8
くも膜下出血の脳血管内手術	入院		<u>22.2</u>	<u>43.2</u>	<u>84.0</u>	<u>15.3</u>	
くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等	入院	<u>72.7</u>	<u>66.8</u>	114.7	<u>78.6</u>	121.3	<u>47.3</u>
くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	<u>68.4</u>	<u>62.9</u>	121.9	98.5	117.1	99.6

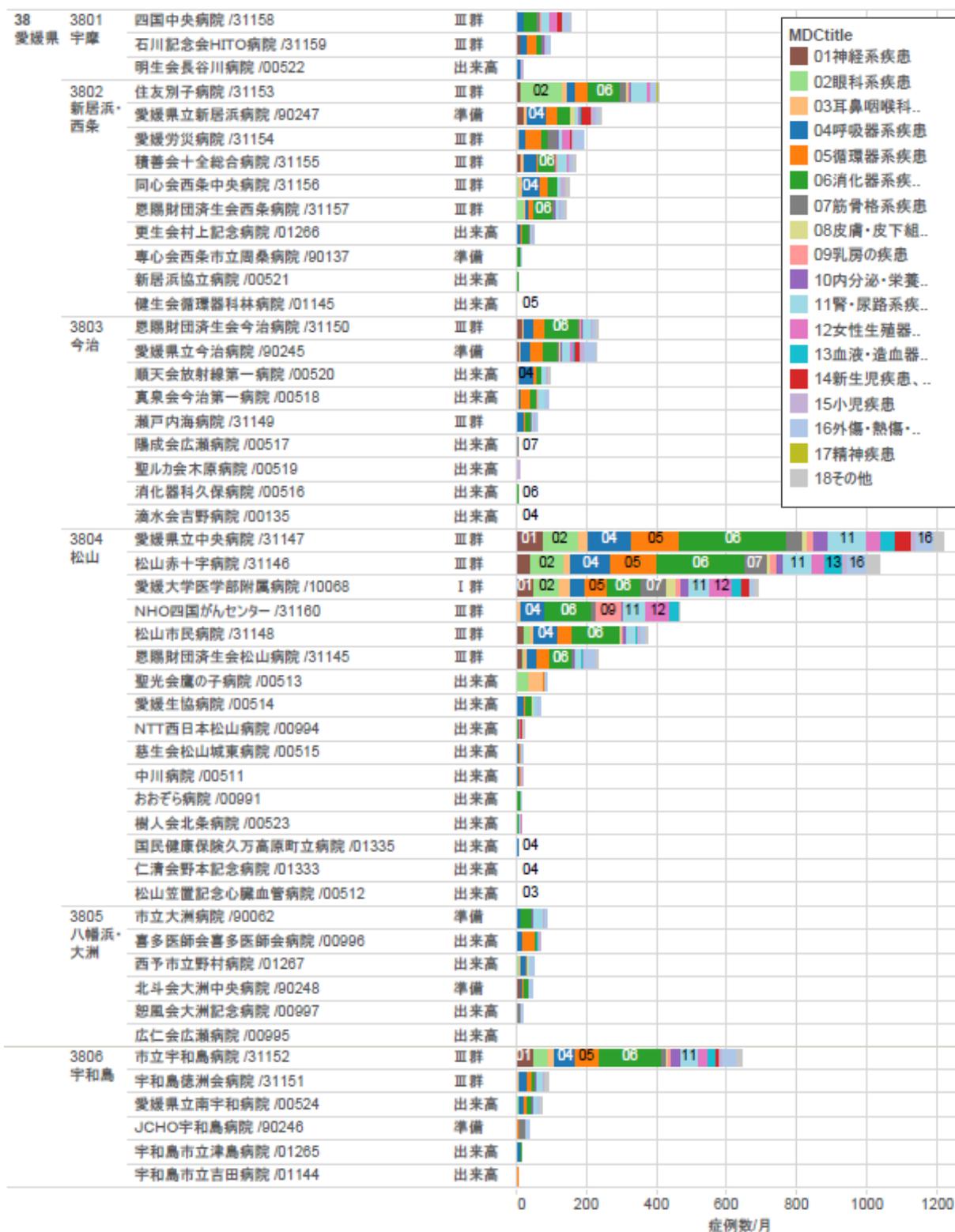
※SCRは、高齢化の影響を排するため、性・年齢調整を行ったレセプト件数を指標化したもの。

医療機関所在地で集計し、100が全国平均を示す。

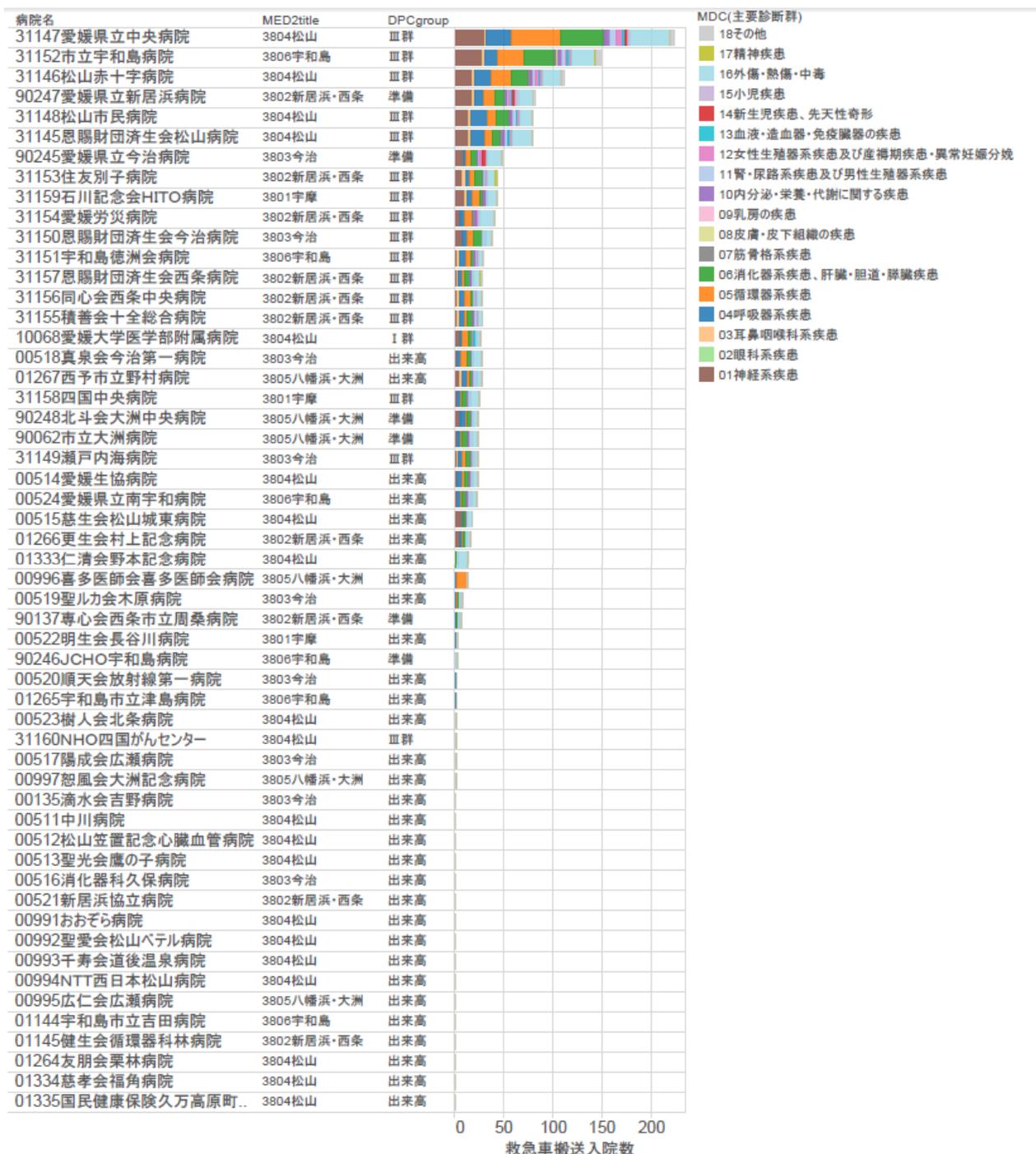
- DCPデータを活用した循環器系疾患の対応状況をみると、患者数にバラツキはあるものの、6圏域である程度対応できている状況が分かる。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック掲載））
- 同様に救急搬送患者の受入状況をみると、6圏域の主な医療機関において循環器系疾患の救急患者に対応できている。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック掲載））
- DPCデータから、循環器系疾患のうち脳血管疾患への対応状況をみると、脳梗塞はどの圏域でも対応できているが、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤は救命救急センター等の限られた医療機

関が対応している状況である。(厚生労働省「DPC調査(国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一)」(医療計画作成支援データブック収載))

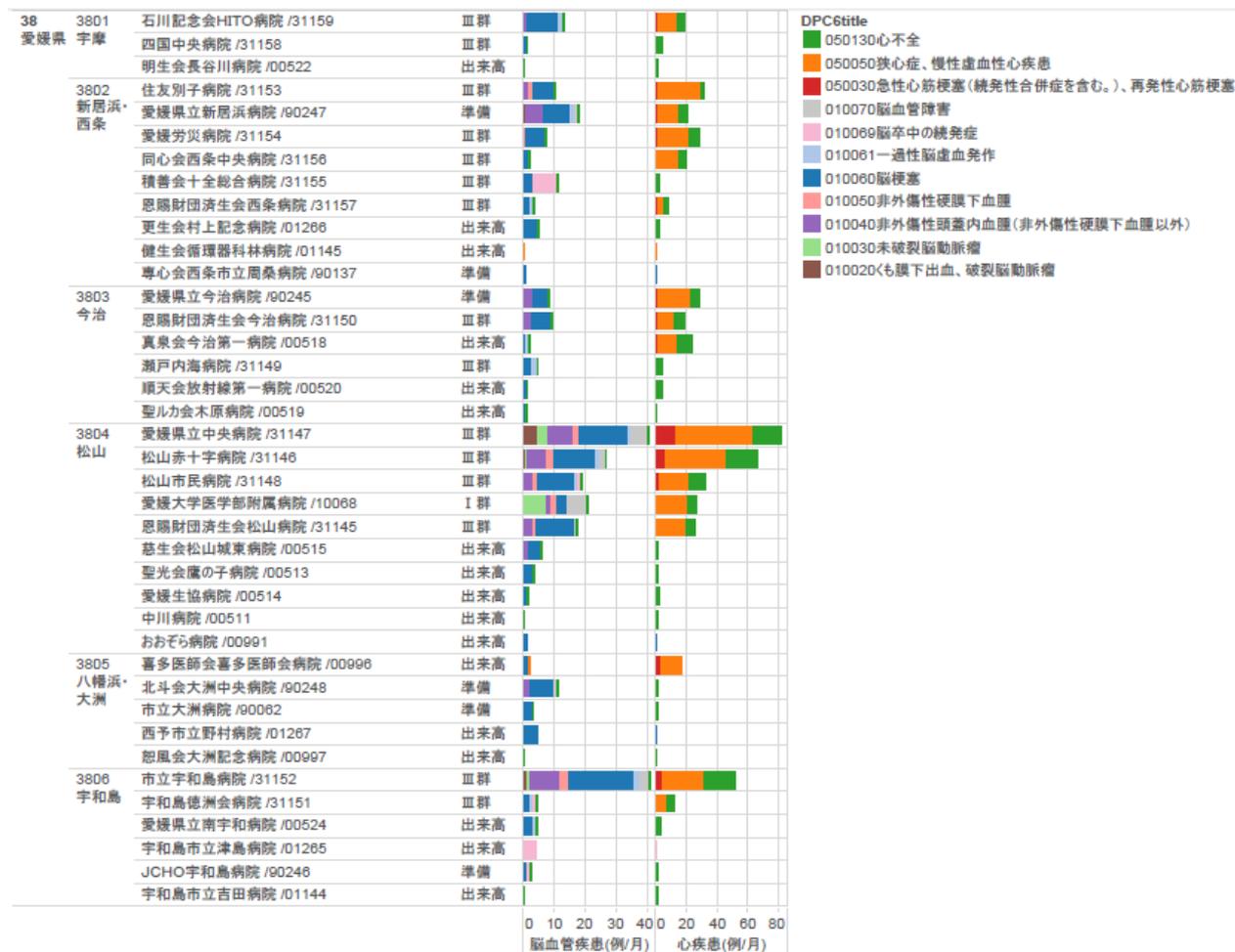
・MDC別患者数(全疾患)



・MDC別救急搬送患者数（全疾患）



・患者数（脳血管疾患・心疾患）



(3) 受療動向

○レセプトデータ（NDB）を活用した受療動向（患者の流出入）の状況を見ると、概ね約80%の患者が自圏域で対応できているが、一部の患者は県外を含めて他圏域に流出している。（厚生労働省「受療動向可視化ツール」（医療計画作成支援データブック収載））

○特にリハビリテーションに関する状況を見ると、宇摩圏域や八幡浜・大洲圏域の流出が多く、地域によって完結率に差が生じている。

・脳血管障害患者（全体）（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	82.83%	10.09%		0.95%		0.24%		5.60%		0.29%	
新居浜・西条	1.09%	91.21%	2.52%	4.32%		0.14%				0.16%	0.56%
今治		0.90%	90.60%	3.38%			4.99%				0.12%
松山		0.16%	0.20%	98.98%	0.29%	0.04%	0.05%		0.08%	0.06%	0.15%
八幡浜・大洲				9.66%	86.72%	3.05%					0.57%
宇和島				5.55%	0.95%	91.90%				1.43%	0.16%

・脳血管障害患者（全体）（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他 県外
宇摩	87.01%	7.33%	0.06%	0.99%	0.03%			4.01%	0.12%	0.03%	0.42%
新居浜・西条	0.25%	94.40%	2.17%	2.74%		0.01%	0.02%	0.06%	0.03%	0.04%	0.27%
今治	0.02%	0.42%	93.17%	2.33%	0.03%		3.53%	0.05%			0.47%
松山		0.04%	0.09%	99.40%	0.20%	0.04%	0.03%	0.02%	0.00%	0.02%	0.15%
八幡浜・大洲		0.02%	0.02%	4.48%	93.52%	1.63%	0.03%	0.02%		0.01%	0.26%
宇和島		0.02%	0.02%	1.52%	2.97%	94.57%	0.02%	0.01%		0.68%	0.20%

・脳梗塞、一過性脳虚血発作患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他 県外	
宇摩	84.30%	8.47%		1.37%				5.30%	0.56%		
新居浜・西条	0.93%	91.31%	2.26%	4.28%		0.20%				1.03%	
今治		0.23%	92.92%	3.33%			3.52%				
松山		0.11%	0.29%	99.36%	0.24%						
八幡浜・大洲				9.01%	88.79%	1.75%				0.45%	
宇和島				5.55%	1.20%	90.95%			2.30%		

・脳梗塞、一過性脳虚血発作患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他 県外
宇摩	84.95%	8.58%		0.82%	0.08%			4.99%	0.08%		0.50%
新居浜・西条	0.21%	94.45%	2.72%	2.34%			0.02%	0.04%		0.03%	0.20%
今治		0.27%	95.49%	2.03%			1.90%	0.03%			0.28%
松山		0.04%	0.09%	99.50%	0.18%	0.02%	0.04%	0.02%		0.03%	0.08%
八幡浜・大洲				4.05%	94.35%	1.30%	0.01%	0.03%			0.25%
宇和島			0.05%	1.52%	2.73%	94.57%				0.91%	0.21%

・脳卒中のt-PA（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	100.00%					
新居浜・西条		100.00%				
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲						
宇和島						

・脳卒中の t-PA 以外の薬物療法（区分：入院）

		医療機関所在地						
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県
宇摩	78.51%	11.16%						10.33%
新居浜・西条		95.70%	2.48%	1.83%				
今治			93.62%	2.13%			4.26%	
松山				100.00%				
八幡浜・大洲				4.17%	91.79%	4.04%		
宇和島						100.00%		

・脳卒中に対する急性期リハビリテーション（区分：入院）

		医療機関所在地							
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県
宇摩	81.36%	11.30%						7.33%	
新居浜・西条	0.92%	91.40%	3.78%	3.90%					
今治		0.89%	93.42%	2.04%			3.64%		
松山			0.20%	99.80%					
八幡浜・大洲				8.11%	87.45%	4.45%			
宇和島				4.19%		94.39%			1.42%

・脳卒中に対するリハビリテーション（区分：入院）

		医療機関所在地									
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	81.66%	9.36%		0.95%				8.03%			
新居浜・西条	0.73%	88.30%	2.66%	7.18%						0.45%	0.68%
今治		0.51%	93.43%	3.03%			3.03%				
松山		0.13%	0.13%	99.08%	0.16%				0.20%	0.14%	0.16%
八幡浜・大洲				16.73%	77.85%	5.02%					0.39%
宇和島				11.92%	1.34%	83.33%				3.41%	

・脳卒中に対するリハビリテーション（区分：外来）

		医療機関所在地						
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	その他県外
宇摩	95.00%							5.00%
新居浜・西条		94.84%	3.06%	2.10%				
今治		1.23%	93.59%				4.57%	0.62%
松山				100.00%				
八幡浜・大洲				8.89%	91.11%			
宇和島						100.00%		

・脳梗塞の摂食機能療法（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地								
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県
宇摩	83.12%	12.66%						4.22%	
新居浜・西条		93.94%	1.38%	3.89%					0.79%
今治			78.41%	8.15%			13.44%		
松山		0.44%		99.56%					
八幡浜・大洲				15.76%	77.97%	6.27%			
宇和島				6.05%		91.98%			1.97%

・脳梗塞の摂食機能療法（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条		100.00%				
今治						
松山				100.00%		
八幡浜・大洲					100.00%	
宇和島						

・脳卒中患者の連携パス利用者（第1入院機関）（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条		100.00%				
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				50.00%		50.00%
宇和島						100.00%

・脳出血患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他 県外
宇摩	88.94%	8.11%						2.95%		
新居浜・西条		86.65%	3.65%	8.45%					1.25%	
今治			96.40%	1.87%			1.73%			
松山				99.54%	0.46%					
八幡浜・大洲				12.23%	81.14%	5.50%				1.14%
宇和島				18.00%		82.00%				

・脳出血患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	90.85%	3.74%						3.42%		1.99%
新居浜・西条	0.34%	93.27%	4.75%	1.30%					0.34%	
今治		0.32%	97.98%	0.57%			0.84%			0.29%
松山			0.54%	99.04%	0.28%					0.14%
八幡浜・大洲				4.43%	92.37%	2.76%				0.44%
宇和島				1.40%		95.61%			2.34%	0.64%

・くも膜下出血患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県
宇摩	82.81%	17.19%					
新居浜・西条		91.43%		8.57%			
今治			93.78%				6.22%
松山				100.00%			
八幡浜・大洲				12.50%	81.41%	6.09%	
宇和島				8.87%		91.13%	

・くも膜下出血患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	
宇摩	85.94%	6.37%						7.69%		
新居浜・西条		94.61%	5.39%							
今治			96.81%	0.80%			2.39%			
松山				100.00%						
八幡浜・大洲				6.14%	89.02%	4.83%				
宇和島				1.63%		93.97%			4.40%	

・未破裂動脈瘤患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	徳島県
宇摩	100.00%						
新居浜・西条		84.82%		15.18%			
今治			88.08%	11.92%			
松山				97.70%			2.30%
八幡浜・大洲				22.83%	77.17%		
宇和島				30.43%		69.57%	

・未破裂動脈瘤患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	77.76%	14.77%		1.50%				5.98%		
新居浜・西条	0.32%	87.83%	6.14%	5.42%						0.29%
今治		0.32%	95.75%	2.66%			0.98%			0.29%
松山			0.12%	99.64%	0.11%					0.13%
八幡浜・大洲				16.86%	76.73%	5.96%				0.45%
宇和島				7.09%	1.60%	89.37%			1.94%	

※受療動向で対象となるレセプトは、国保、退職国保及び後期高齢者のみ。（カバー率：全体で約55%、65歳以上で約90%、75歳以上で100%）

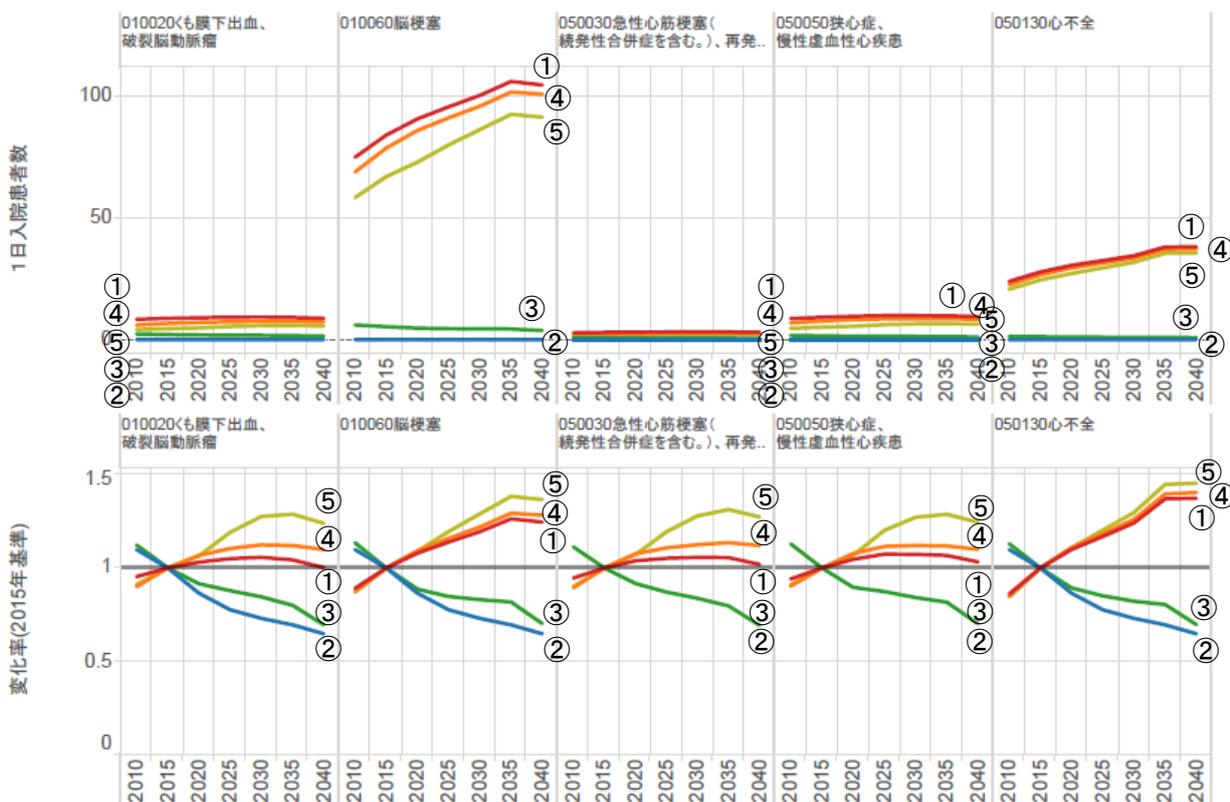
(4) 患者推計

○DPCデータを活用した患者推計をみると、脳梗塞やくも膜下出血・破裂脳動脈瘤は、すべての圏域で65歳以上を中心に増加する結果となっている。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック収載））

[平成26年患者調査・受療率（全国）及び国立社会保障・人口問題研究所人口推計に基づく患者推計]（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一（医療計画作成支援データブック収載））

【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

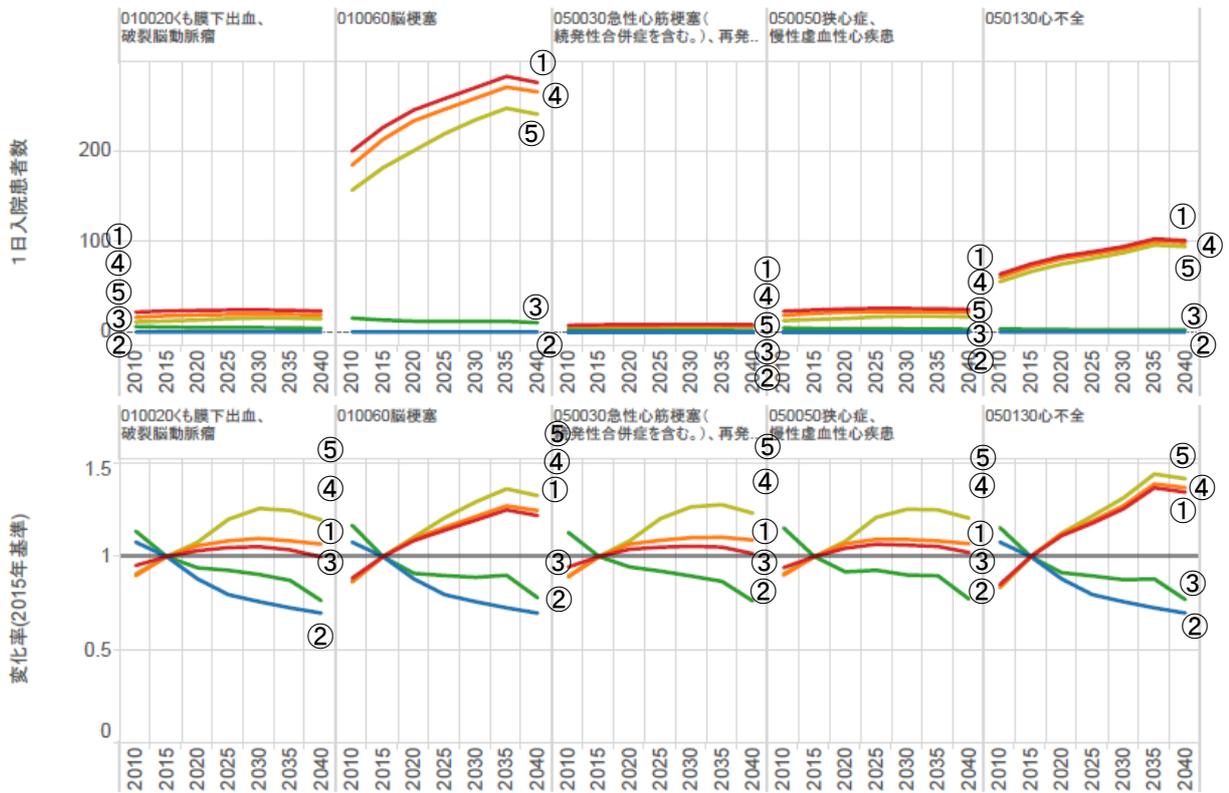
・宇摩圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

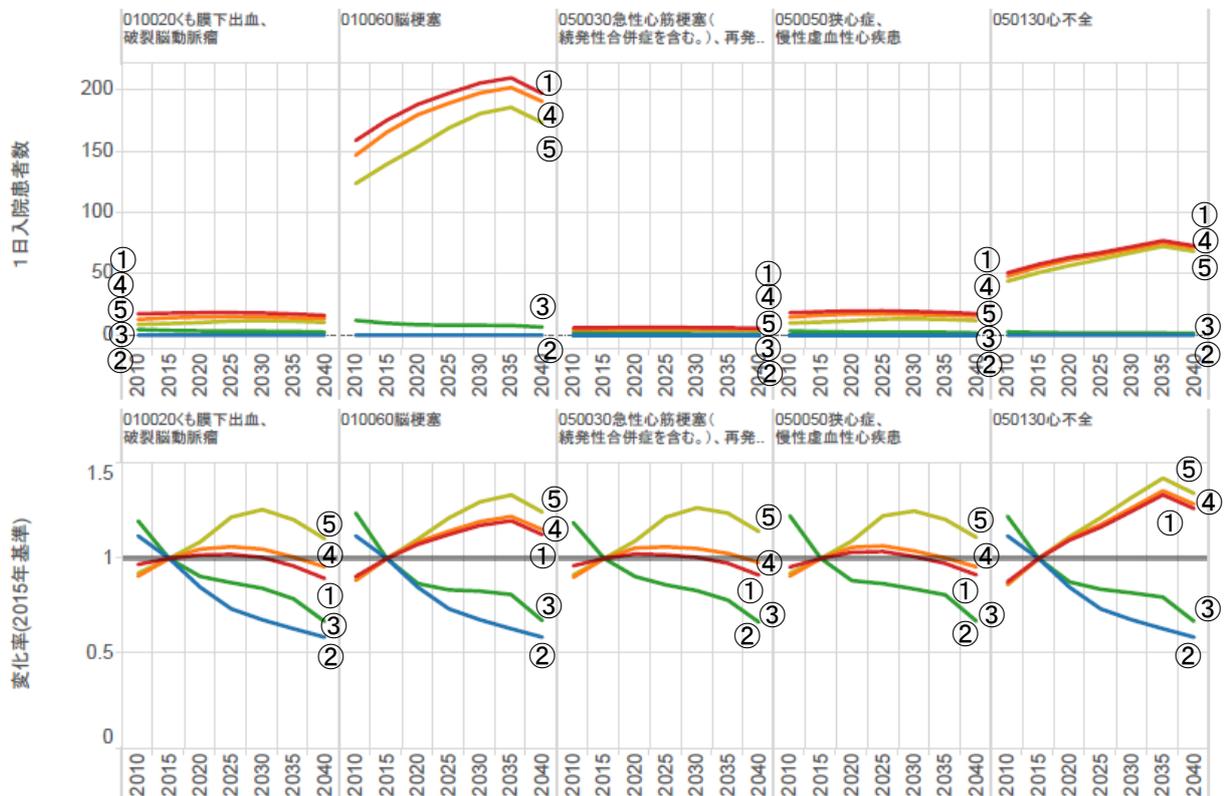
【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・新居浜・西条圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

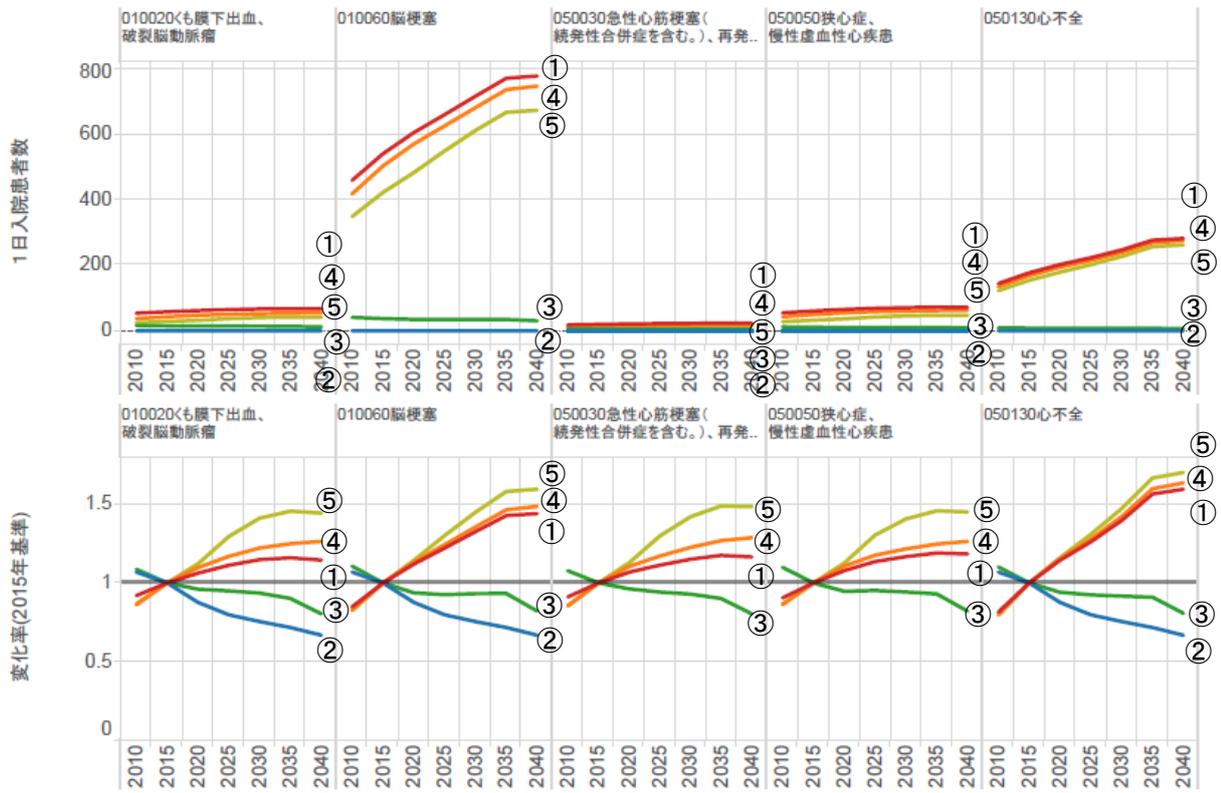
・今治圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

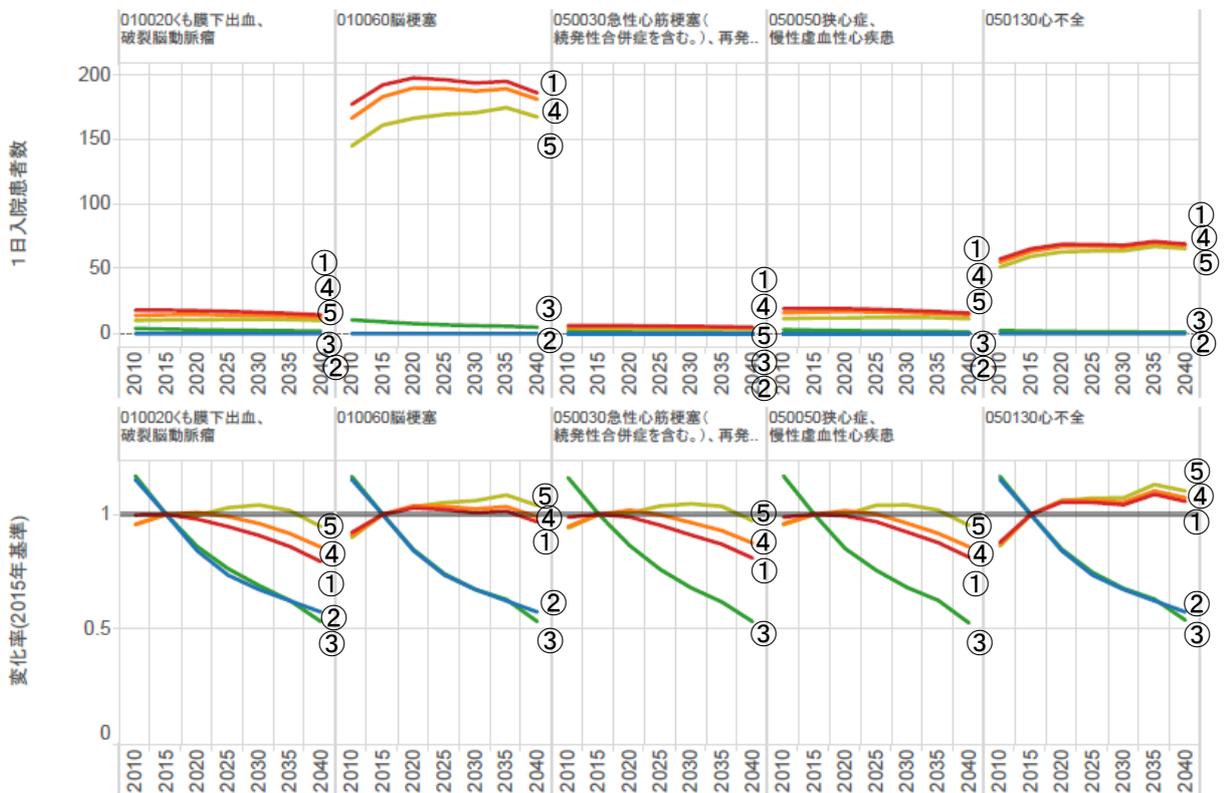
【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・松山圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

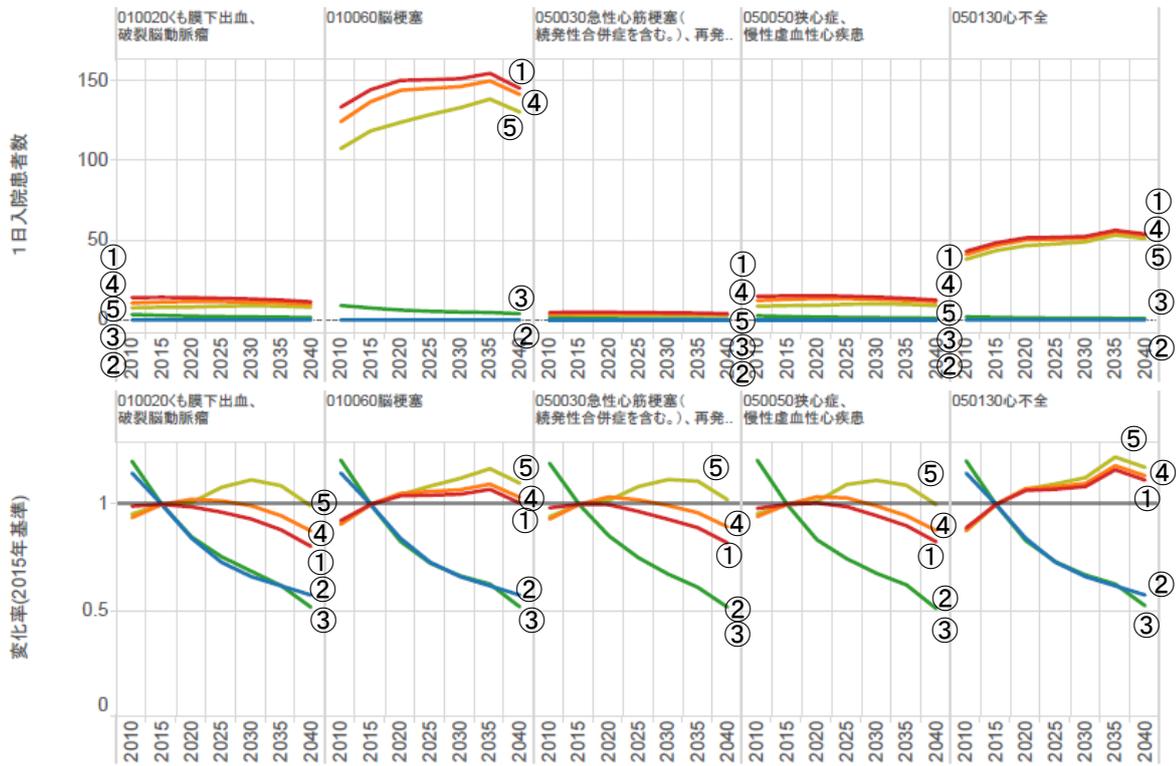
・八幡浜・大洲圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・宇和島圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

機能別医療機関例（えひめ医療情報ネットから検索）

病期	機能	再掲	所在地	医療機関名		
予防	禁煙指導（ニコチン依存症管理）		四国中央市	長谷川病院、HITO病院、ふじえだファミリークリニック、真鍋医院、三島医療センター、みよし循環器クリニック、矢部内科、山口クリニック		
		新居浜市	井石内科医院、愛媛医療生活協同組合泉川診療所、岩崎病院、愛媛労災病院、えもり内科クリニック、加藤医院、かとうクリニック、新居浜協立病院、県立新居浜病院、こんどう心療内科、十全総合病院、住友別子病院、たねがわ心の相談室、はびねす内科クリニック、医療法人胃腸科内科松村クリニック			
		西条市	共立病院、済生会西条病院、坂根医院、西条市立周桑病院、田淵外科、村上記念病院、横山病院、渡部病院、和田内科・皮膚科			
		今治市	1クリニック内科・呼吸器内科、相原内科クリニック、いまおか内科クリニック、今治市医師会市民病院、大三島中央病院、かいほらクリニック、かとう内科、喜多嶋診療所、木原病院、済生会今治病院、さとう内科クリニック、瀬戸内海病院、高山内科病院、武田脳神経外科、近松内科、Dクリニック、内科・消化器科羽鳥病院、広瀬クリニック、広瀬病院、藤田医院、放射線第一病院、山内病院、吉野病院			
		松山市	石手まつもと内科循環器クリニック、いずみ診療所、今在家クリニック、N T T西日本松山病院、愛媛県厚生連健診センター、愛媛生協病院、遠藤内科医院、おおしろ外科こもれび診療所、大城外科胃腸科、おおぞら病院、おおつか循環器・内科クリニック、大手町クリニック、梶浦病院、門田内科循環器科医院、かどた脳神経外科、カメラア内科・糖尿病内科クリニック、河田外科脳神経外科医院、きい麻酔科クリニック、北吉田診療所、木村クリニック、桐山医院、久慈クリニック、桑原内科麻酔科、県立中央病院、小松内科循環器科クリニック、済生会松山病院、産婦人科ばらのいずみクリニック、しげまつ内科クリニック、四国がんセンター、城内科循環器科クリニック、城北診療所、須賀医院、菅井内科、鈴木耳鼻咽喉科医院、鷹ノ子病院、高橋医院、竹内内科胃腸科、立花クリニック、田辺医院、たんぼぼクリニック、東村内科医院、徳山内科、富永ベインクリニック、中田胃腸科放射線科、ながと脳神経外科・心療内科クリニック、七色診療クリニック、新谷内科クリニック、野村胃腸科内科医院、原循環器科内科クリニック、久野内科、福岡内科クリニック、福田循環器科内科クリニック、藤原胃腸科、船津内科胃腸科クリニック、ふるかわ内科クリニック、松村内科クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、みねおい内科・循環器内科医院、みやぎクリニック、三宅内科胃腸科、みやもとクリニック、村上循環器科、山形耳鼻咽喉科、山中内科・消化器内科クリニック、よしだ内科クリニック、渡辺泌尿器科内科、渡辺病院			
		伊予市	佐礼谷診療所、中村脳神経外科、中山クリニック			
		東温市	こばやし内科クリニック、愛媛十全医療学院附属病院			
		久万高原町	久万高原町立病院、西本医院、みかわクリニック			
		松前町	おひさまファミリークリニック、武智ひ尿器科・内科、松野内科クリニック			
		砥部町	かどた内科、山本クリニック			
		八幡浜市	旭町内科クリニック、柳田脳神経外科			
		大洲市	おち内科クリニック、喜多医師会病院、こじま内科、東若宮中川脳神経外科クリニック			
		西予市	あじき医院、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院、三瓶病院、若宮診療所			
		伊方町	伊方町国民健康保険九町診療所			
		宇和島市	鎌野病院、市立宇和島病院、J C H O宇和島病院、宇和島市立津島病院			
		鬼北町	鬼北町国民健康保険日吉診療所			
		愛南町	愛南町国保一本松病院、県立南宇和病院、粉川ファミリークリニック、松本クリニック			
		急性期	脳卒中専用集中治療室（SCU）を有する医療機関		東温市	愛媛大学医学部附属病院
				四国中央市	HITO病院、愛媛精神衛生研究所附属豊岡台病院、	
				新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、さいとう脳神経外科、十全総合病院、住友別子病院、立花病院	
西条市	共立病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、西条道前病院、村上記念病院、					
今治市	今治セントラル病院、今治第一病院、大三島中央病院、片木脳神経外科、木原病院、県立今治病院、済生会今治病院、武田脳神経外科、波方中央病院、美須賀病院					
松山市	浦屋病院、おおぞら病院、奥島病院、梶浦病院、かどた脳神経外科、河田外科脳神経外科医院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、鷹ノ子病院、ながと脳神経外科・心療内科クリニック、はしもと脳神経外科、はらだ脳神経外科、平成脳神経外科、ペテル三番町クリニック、北条フェニックス脳神経外科、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山ペテル病院、南松山病院、山下脳神経外科					
伊予市	中村脳神経外科					
東温市	池川内科・神経内科、愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター、中野クリニック					
松前町	くろだ病院					
砥部町	砥部病院					
八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院、市立八幡浜総合病院、柳田脳神経外科、矢野脳神経外科					
大洲市	大洲中央病院、喜多医師会病院、東若宮中川脳神経外科クリニック、本条脳神経外科・外科					
西予市	西予市西予市民病院、樋口脳神経外科					
内子町	加戸病院、土居内科外科医院					
宇和島市	市立宇和島病院、J C H O宇和島病院、宇和島市立津島病院					
愛南町	県立南宇和病院、西本病院					

病期	機能	再掲	所在地	医療機関名	
急性期	MRI撮影(神経内科及び脳神経外科を標榜するものに限る)		四国中央市	HITO病院	
			新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、さいとう脳神経外科、十全総合病院、住友別子病院、立花病院	
			西条市	済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、米田脳神経外科	
			今治市	今治第一病院、片木脳神経外科、木原病院、県立今治病院、済生会今治病院、武田脳神経外科、美須賀病院	
			松山市	浦屋病院、奥島病院、梶浦病院、かどた脳神経外科、河田外科脳神経外科医院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、鷹ノ子病院、ながと脳神経外科・心療内科クリニック、はしもと脳神経外科、はらだ脳神経外科、平成脳神経外科、北条フェニックス脳神経外科、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、南松山病院、山下脳神経外科	
				伊予市	中村脳神経外科
				東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター、中野クリニック
				砥部町	砥部病院
			八幡浜市	市立八幡浜総合病院、柳田脳神経外科、矢野脳神経外科	
			大洲市	大洲中央病院、喜多医師会病院	
	西予市	西予市西予市民病院、樋口脳神経外科			
	内子町	加戸病院、土居内科外科医院			
	宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、善家脳神経クリニック、宇和島市立津島病院			
	愛南町	県立南宇和病院、西本病院			
	救命救急センター		新居浜市	県立新居浜病院東予救命救急センター	
			松山市	県立中央病院救命救急センター	
			宇和島市	市立宇和島病院南予救命救急センター	
	超急性期血栓溶解療法(t-PA静注療法)(終日対応することができるものに限る)		四国中央市	HITO病院	
			新居浜市	県立新居浜病院	
			西条市	済生会西条病院、村上記念病院	
今治市			片木脳神経外科、県立今治病院		
松山市			松山赤十字病院		
東温市			愛媛大学医学部附属病院		
八幡浜市			市立八幡浜総合病院		
超急性期血栓溶解療法(t-PA静注療法)(終日対応以外)		新居浜市	愛媛労災病院、十全総合病院、住友別子病院		
		西条市	済生会西条病院、西条市立周桑病院		
		今治市	済生会今治病院、美須賀病院		
		松山市	梶浦病院、済生会松山病院、貞本病院、平成脳神経外科、松山市民病院		
		東温市	愛媛大学医学部附属病院		
		大洲市	大洲中央病院		
経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術(24時間対応)		四国中央市	恵康病院		
		新居浜市	住友別子病院		
		西条市	済生会西条病院、村上記念病院		
		今治市	片木脳神経外科、県立今治病院		
		松山市	県立中央病院、松山赤十字病院		
		東温市	愛媛大学医学部附属病院		
経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術(24時間対応以外)		四国中央市	恵康病院		
		新居浜市	十全総合病院、住友別子病院		
		西条市	済生会西条病院		
		今治市	済生会今治病院		
		松山市	梶浦病院、済生会松山病院、貞本病院、平成脳神経外科		
		東温市	愛媛大学医学部附属病院		
抗血栓療法		四国中央市	岸田メディカルクリニック、恵康病院、四国中央病院		
		新居浜市	河本医院、愛媛労災病院、かとうクリニック、県立新居浜病院、こんどう外科内科胃腸科クリニック、新田診療所、十全総合病院、住友別子病院、はびねす内科クリニック		
			西条市	あおのクリニック、共立病院、西条愛寿会病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、田淵外科、平田クリニック、松田循環器科内科、村上記念病院、和田内科・皮膚科	
		今治市	あおのクリニック、有津むらかみクリニック、今治セントラル病院、今治第一病院、片木脳神経外科、木原病院、県立今治病院、済生会今治病院、白石病院、瀬戸内海病院、武田脳神経外科、波方中央病院、放射線第一病院、美須賀病院		
			松山市	天山病院、石手まつもと内科循環器クリニック、今村循環器科内科、若崎内科、N T T西日本松山病院、愛媛生協病院、梶浦病院、河田外科脳神経外科医院、木村クリニック、窪田クリニック消化器科・外科・肛門科、くぼた内科循環器科呼吸器科、桑原内科麻酔科、県立中央病院、貞本病院、佐藤実病院、清水医院、鷹ノ子病院、田淵内科医院、たんげ内科クリニック、松山第一病院、東村内科医院、はらだ脳神経外科、福角病院、ふくだ循環器科内科クリニック、平成脳神経外科病院、北条フェニックス脳神経外科、松山市民病院、松山赤十字病院、松山ペテル病院、村上循環器科、矢野内科、山中内科・消化器内科クリニック、友愛医院、和田医院	
		伊予市		愛媛医療生活協同組合伊予診療所、橋医院、中山クリニック	
		東温市		池川内科・神経内科、愛媛大学医学部附属病院	
		久万高原町		久万高原町立病院、西本医院	
		松前町	おひさまファミリークリニック、高瀬内科胃腸科、たけだ内科クリニック、Dr. 盛次診療所		
		砥部町	山本クリニック		
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院、チヨダクリニック、中野医院、永松内科医院、矢野脳神経外科医院		
		大洲市	井関クリニック、浦岡医院、大洲中央病院、上須戒診療所、菊原医院		

病期	機能	再掲	所在地	医療機関名
急性期			西予市	笹田循環器科内科医院、西予市立野村病院
			内子町	堀川外科胃腸科医院
			宇和島市	宇和島市国民健康保険嘉島診療所、市立宇和島病院、善家脳神経クリニック、宇和島市国民健康保険戸島診療所、橋本内科クリニック、三瀬内科
			愛南町	愛南町国保一本松病院附属内海診療所、愛南町国保一本松病院附属内海診療所家串出張所、愛南町国保一本松病院附属内海診療所魚神山出張所、県立南宇和病院
	頭蓋内血腫除去術（24時間対応）		四国中央市	HITO病院
			新居浜市	県立新居浜病院、住友別子病院
			西条市	済生会西条病院、村上記念病院
			今治市	片木脳神経外科、県立今治病院
			松山市	梶浦病院、県立中央病院、松山赤十字病院
			東温市	愛媛大学医学部附属病院
			八幡浜市	市立八幡浜総合病院
			大洲市	大洲中央病院
	頭蓋内血腫除去術（24時間対応以外）		新居浜市	愛媛労災病院、十全総合病院、住友別子病院
			西条市	済生会西条病院
			今治市	済生会今治病院、美須賀病院
			松山市	梶浦病院、済生会松山病院、貞本病院、鷹ノ子病院、平成脳神経外科病院、松山市民病院、松山城東病院
			東温市	愛媛大学医学部附属病院
			宇和島市	市立宇和島病院
	脳動脈瘤根治術（被包術、クリッピング）（24時間対応）		四国中央市	HITO病院
			新居浜市	県立新居浜病院、住友別子病院
		西条市	済生会西条病院、村上記念病院	
		今治市	片木脳神経外科、県立今治病院	
		松山市	梶浦病院、県立中央病院、松山赤十字病院	
		東温市	愛媛大学医学部附属病院	
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院	
		大洲市	大洲中央病院	
脳動脈瘤根治術（被包術、クリッピング）（24時間対応以外）		新居浜市	愛媛労災病院、十全総合病院、住友別子病院	
		西条市	済生会西条病院	
		今治市	済生会今治病院	
		松山市	梶浦病院、済生会松山病院、貞本病院、平成脳神経外科病院、松山市民病院	
		東温市	愛媛大学医学部附属病院	
		宇和島市	市立宇和島病院	
脳血管内手術		四国中央市	HITO病院	
		新居浜市	十全総合病院、住友別子病院	
		西条市	村上記念病院	
		今治市	片木脳神経外科、県立今治病院、済生会今治病院	
		松山市	梶浦病院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、松山赤十字病院	
		東温市	愛媛大学医学部附属病院	
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院	
		大洲市	大洲中央病院	
	宇和島市	市立宇和島病院		

病期	機能	再掲	所在地	医療機関名
	小児脳外科手術		新居浜市	十全総合病院、住友別子病院
			今治市	片木脳神経外科、県立今治病院
急性期	脳卒中地域クリティカルパスを導入している医療機関		松山市	梶浦病院、県立中央病院、松山赤十字病院
			東温市	愛媛大学医学部附属病院
			八幡浜市	市立八幡浜総合病院
			宇和島市	市立宇和島病院
			四国中央市	西岡病院、長谷川病院、HITO病院、山口クリニック
			新居浜市	県立新居浜病院、はびねす内科クリニック
			西条市	西条市民病院
			今治市	あおのクリニック、県立今治病院、済生会今治第二病院、済生会今治病院、広瀬病院、美須賀病院、吉野病院
			松山市	岩崎内科、おおぞら病院、大野内科循環器科消化器科、奥島病院、北吉田診療所、県立中央病院、済生会松山病院、鷹ノ子病院、道後温泉病院、福角病院、松山市民病院、松山赤十字病院、松山ペテル病院、みねおい内科・循環器内科医局、立命クリニック
			伊予市	稲田内科医院、伊予病院
	東温市	愛媛十全医療学院附属病院		
	松前町	高瀬内科胃腸科		
	八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院		
	宇和島市	徳洲会宇和島病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院		
回復期	回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関		四国中央市	西岡病院、HITO病院
			新居浜市	住友別子病院
			西条市	西条市民病院、済生会西条病院、村上記念病院
			今治市	済生会今治病院、美須賀病院
			松山市	おおぞら病院、道後温泉病院、福角病院、平成脳神経外科病院、松山リハビリテーション病院
			伊予市	伊予病院
			東温市	愛媛十全医療学院附属病院
			八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院
			大洲市	大洲記念病院、大洲中央病院
			宇和島市	宇和島徳洲会病院、JCHO宇和島病院
回復期	脳血管疾患等リハビリテーション		四国中央市	西岡医院、恵康病院、四国中央病院、長谷川病院、HITO病院、新居浜精神衛生研究所附属豊岡台病院、三島医療センター
			新居浜市	岩崎病院、愛媛労災病院、新居浜協立病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院、立花病院、新居浜徳洲会病院、宮下整形外科内科
			西条市	共立病院、西条愛寿会病院、西条市民病院、西条中央病院、済生会西条病院、西条市周桑病院、村上記念病院、横山病院、渡部病院
			今治市	今治セントラル病院、今治第一病院、今治南病院、片木脳神経外科、木原病院、消化器科久保病院、県立今治病院、光生病院、済生会今治第二病院、済生会今治病院、しのざき整形外科、白石病院、瀬戸内海病院、波形中央病院、広瀬クリニック、広瀬病院、放射線第一病院、三木病院、美須賀病院、村上病院、山内病院、吉野病院
			松山市	天山病院、栗林病院、浦屋病院、NTT西日本松山病院、愛媛生協病院、おおぞら病院、奥島病院、梶浦病院、川谷整形外科、松山協和病院、県立中央病院、済生会松山病院、真本病院、佐藤実病院、四国がんセンター、上甲整形外科、鷹ノ子病院、たんぼぼクリニック、松山第一病院、東明病院、道後温泉病院、中川病院、なかじま中央病院、野本記念病院、ひろ整形外科、福井整形外科麻酔科医局、福角病院、平成脳神経外科、北条病院、増田病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、松山ペテル病院、松山リハビリテーション病院、南高井病院、南松山病院、明星クリニック、渡辺病院
			伊予市	伊予病院
			東温市	池川内科・神経内科、愛媛大学医学部附属病院、県立子ども療育センター、愛媛十全医療学院附属病院、愛媛医療センター
			久万高原町	久万高原町立病院
			松前町	松前病院
			砥部町	砥部病院
			八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院、宇都宮病院、市立八幡浜病院、広瀬病院
			大洲市	石村病院、大洲記念病院、大洲中央病院、喜多医師会病院、市立大洲病院
			西予市	整形外科井関医院、笹田循環器科内科医局、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院、三瓶病院
			内子町	加戸病院、土居内科外科医院
			伊方町	伊方町国民健康保険瀬戸診療所
			宇和島市	徳洲会宇和島病院、宇和島市国民健康保険嘉島診療所、加藤整形外科、市立宇和島病院、宇和島市立吉田病院、JCHO宇和島病院、鈴木整形外科・外科、宇和島市立津島病院
			松野町	松野国民健康保険中央診療所
			鬼北町	旭川荘南愛媛病院、鬼北町立北宇和病院
			愛南町	愛南町国保一本松病院、県立南宇和病院、西本病院

病期	機能	再掲	所在地	医療機関名
回復期	脳卒中地域クリティカルパスを導入している医療機関	✓	四国中央市	西岡病院、長谷川病院、HITO病院、山ロクリニック
			新居浜市	県立新居浜病院、はびねす内科クリニック
			西条市	西条市民病院（西条市）
			今治市	あおのクリニック、県立今治病院、済生会今治第二病院、済生会今治病院、広瀬病院、美須賀病院、吉野病院
			松山市	岩崎内科、おおぞら病院、大野内科循環器科消化器科、奥島病院、北吉田診療所、県立中央病院、済生会松山病院、鷹ノ子病院、道後温泉病院、福角病院、松山市民病院、松山赤十字病院、松山ペテル病院、みねおい内科・循環器内科医院、立命クリニック
			伊予市	稲田内科医院、伊予病院
			東温市	愛媛十全医療学院附属病院
			松前町	高瀬内科胃腸科
			八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院
			宇和島市	徳洲会宇和島病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院
維持期	禁煙指導（ニコチン依存症管理）	✓	四国中央市	長谷川病院、HITO病院、ふじえだファミリークリニック、真鍋医院、三島医療センター、みよし循環器クリニック、矢部内科、山ロクリニック
			新居浜市	井石内科医院、愛媛医療生活協同組合泉川診療所、岩崎病院、愛媛労災病院、えもり内科クリニック、加藤医院、かとうクリニック、新居浜協立病院、県立新居浜病院、こんどう心療内科、十全総合病院、住友別子病院、たねがわ心の相談室、はびねす内科クリニック、医療法人胃腸科内科松村クリニック
			西条市	共立病院、済生会西条病院、坂根医院、西条市立周桑病院、田淵外科、村上記念病院、横山病院、渡部病院、和田内科・皮膚科
			今治市	iクリニック内科・呼吸器内科、相原内科クリニック、いまおか内科クリニック、今治市医師会市民病院、大三島中央病院、かいはらクリニック、かとう内科、喜多嶋診療所、木原病院、済生会今治病院、さとう内科クリニック、瀬戸内海病院、高山内科病院、武田脳神経外科、近松内科、Dクリニック、内科・消化器科羽鳥病院、広瀬クリニック、広瀬病院、藤田医院、放射線第一病院、山内病院、吉野病院
			松山市	石手まつもと内科循環器クリニック、いずみ診療所、今在家クリニック、NTT西日本松山病院、愛媛県厚生連健診センター、愛媛生協病院、遠藤内科医院、おもしろ外科こもれび診療所、大城外科胃腸科、おおぞら病院、おおつか循環器・内科クリニック、大手町クリニック、梶浦病院、門田内科循環器科医院、かどた脳神経外科、カメラ内科・糖尿病内科クリニック、河田外科脳神経外科医院、きい麻酔科クリニック、北吉田診療所、木村クリニック、桐山医院、久慈クリニック、桑原内科麻酔科、県立中央病院、小松内科循環器科クリニック、済生会松山病院、産婦人科ばらのいずみクリニック、しげまつ内科クリニック、四国がんセンター、城内科循環器科クリニック、城北診療所、須賀医院、菅井内科、鈴木耳鼻咽喉科医院、鷹ノ子病院、高橋医院、竹内内科胃腸科、立花クリニック、田辺医院、たんぼぼクリニック、東村内科医院、徳山内科、富永ペインクリニック、中田胃腸科放射線科、ながと脳神経外科・心療内科クリニック、七色診療クリニック、新谷内科クリニック、野村胃腸科内科医院、原循環器科内科クリニック、久野内科、福岡内科クリニック、福田循環器科内科クリニック、藤原胃腸科、船津内科胃腸科クリニック、ふるかわ内科クリニック、松村内科クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、みねおい内科・循環器内科医院、みやぎクリニック、三宅内科胃腸科、みやもとクリニック、村上循環器科、山形耳鼻咽喉科、山中内科・消化器内科クリニック、よしだ内科クリニック、渡辺泌尿器科内科、渡辺病院
			伊予市	佐礼谷診療所、中村脳神経外科、中山クリニック
			東温市	こばやし内科クリニック、愛媛十全医療学院附属病院
			久万高原町	久万高原町立病院、西本医院、みかわクリニック
			松前町	おひさまファミリークリニック、武智泌尿器科・内科、松野内科クリニック
			砥部町	かどた内科、山本クリニック
			八幡浜市	旭町内科クリニック、柳田脳神経外科
			大洲市	おち内科クリニック、喜多医師会病院、こじま内科、東若宮中川脳神経外科クリニック
			西予市	あじき医院、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院、三瓶病院、若宮診療所
	伊方町	伊方町国民健康保険九町診療所		
	宇和島市	鎌野病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院		
	鬼北町	鬼北町国民健康保険日吉診療所		
	愛南町	愛南町国保一本松病院、県立南宇和病院、粉川ファミリークリニック、松本クリニック		
	脳卒中地域クリティカルパスを導入している医療機関	✓	四国中央市	西岡病院、長谷川病院、HITO病院、山ロクリニック
			新居浜市	県立新居浜病院、はびねす内科クリニック
			西条市	西条市民病院（西条市）
			今治市	あおのクリニック、県立今治病院、済生会今治第二病院、済生会今治病院、広瀬病院、美須賀病院、吉野病院
			松山市	岩崎内科、おおぞら病院、大野内科循環器科消化器科、奥島病院、北吉田診療所、県立中央病院、済生会松山病院、鷹ノ子病院、道後温泉病院、福角病院、松山市民病院、松山赤十字病院、松山ペテル病院、みねおい内科・循環器内科医院、立命クリニック
			伊予市	稲田内科医院、伊予病院
			東温市	愛媛十全医療学院附属病院
			松前町	高瀬内科胃腸科
			八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院
			宇和島市	徳洲会宇和島病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院

※えひめ医療情報ネットに登録がある医療機関を抽出したもので、個別の医療機関を推薦するものではない。
 ※えひめ医療情報ネットには医療機関が各種機能を登録するため、統計調査等と合計数が合わない場合がある。

心筋梗塞等の心血管疾患の現状について

1 全国の状況

○平成 27 年中の救急車によって搬送された急病患者の 8.6%（約 30 万人）が心筋梗塞等の心血管疾患である。循環器系でみれば 16.7%で第 1 位となっている。（消防庁「平成 28 年版救急・救助の現況」）

分類		人数	割合
循環器系	脳疾患	281,703	8.1%
	心疾患等	302,081	8.6%
消化器系		341,483	9.8%
呼吸器系		326,964	9.4%
精神系		124,749	3.6%
感覚系		151,392	4.3%
泌尿器系		114,804	3.3%
新生物		58,114	1.6%
その他		620,645	17.8%
症状・徴候・診断名・不明確の状態		1,169,439	33.5%
合計		3,491,374	

○平成 27 年には、死亡数全体の 15.2%の約 20 万人が心疾患を原因として死亡しており、死亡順位の第 2 位と高い順位になっている。（厚生労働省「平成 27 年人口動態統計（確定数）」）

死因（上位 10 位）	死亡数		死亡率	死亡総数に占める割合
	順位	人数		
全死因		1,290,444	1,029.7	100.0
悪性新生物	(1)	370,346	295.5	28.7
心疾患（高血圧性を除く）	(2)	196,113	156.5	15.2
肺炎	(3)	120,953	96.5	9.4
脳血管疾患	(4)	111,973	89.4	8.7
老衰	(5)	84,810	67.7	6.6
不慮の事故	(6)	38,306	30.6	3.0
腎不全	(7)	24,560	19.6	1.9
自殺	(8)	23,152	18.5	1.8
大動脈瘤及び解離	(9)	16,887	13.5	1.3
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	(10)	15,756	12.6	1.2

○介護が必要になった者の 4.6%が心疾患（心臓病）を原因としている。同じ循環器系疾患である脳血管疾患と比較すると低い割合となっている。（厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」）

原因	人数（10 万対）	割合
脳血管疾患（脳卒中）	16,583	16.6%
心疾患（心臓病）	4,633	4.6%
悪性新生物（がん）	2,386	2.4%
呼吸器疾患	2,166	2.2%
関節疾患	10,172	10.2%
認知症	17,988	18.0%
パーキンソン病	3,089	3.1%
糖尿病	2,740	2.7%
視覚・聴覚障害	1,326	1.3%

骨折・転倒	12,075	12.1%
脊髄損傷	2,267	2.3%
高齢による衰弱	13,294	13.3%
その他	8,211	8.2%
わからない	1,058	1.1%
不詳	2,011	2.0%

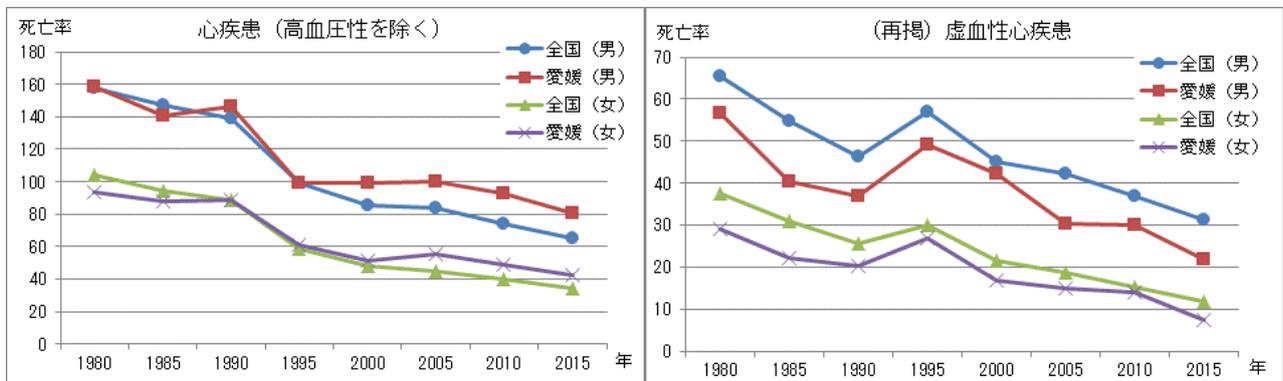
○介護が必要になった者のうち 53.0%が要介護者であり、同じ循環器系疾患の脳卒中と比較すると、適切な治療等を行えば日常生活に復帰することができる。(厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」)

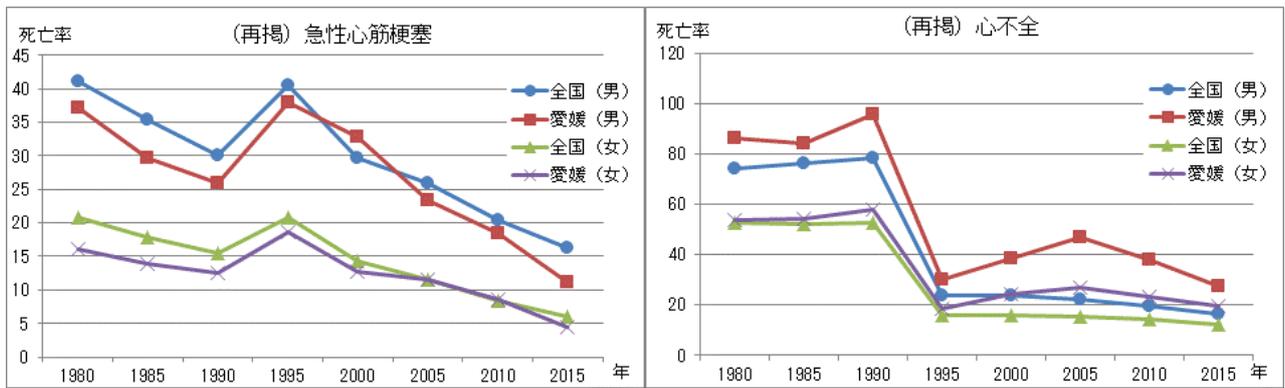
原因	総数 (10 万対) ①	うち要介護者②	割合②/①
脳血管疾患 (脳卒中)	16,583	11,908	71.8%
心疾患 (心臓病)	4,633	2,455	53.0%
悪性新生物 (がん)	2,386	1,738	72.8%
呼吸器疾患	2,166	1,465	67.6%
関節疾患	10,172	4,525	44.5%
認知症	17,988	16,084	89.4%
パーキンソン病	3,089	2,197	71.1%
糖尿病	2,740	1,581	57.7%
視覚・聴覚障害	1,326	672	50.7%
骨折・転倒	12,075	6,979	57.8%
脊髄損傷	2,267	1,399	61.7%
高齢による衰弱	13,294	7,850	59.0%
その他	8,211	4,968	60.5%
わからない	1,058	499	47.2%
不詳	2,011	444	22.1%

2 愛媛県の状況

(1) 患者の状況

○心疾患の年齢調整死亡率 (人口 10 万対) で見ると、昭和 55 年 (1980 年) の男性 158.9、女性 94 から減少傾向にあり、平成 27 年 (2015 年) には男性 80.3、女性 42.8 となっている。また、全国の男性 65.4、女性 34.2 と比較すると本県の方が高い結果となっている。(厚生労働省「平成 27 年人口動態統計特殊報告」)





○平成 27 年の心血管の年齢調整死亡率は、全国の男性 65.4、女性 34.2 と比較して高く、全国順位でも男性が第 3 位 (H12: 第 3 位)、女性が第 1 位 (H12: 第 12 位) と全国的に高い結果となっている。(急性心筋梗塞では、男性が第 41 位、女性が第 41 位であり、心血管疾患の年齢調整死亡率が高いのは急性心筋梗塞以外の心疾患の影響が高い。) (厚生労働省「平成 27 年人口動態統計特殊報告」)

○愛媛県の平成 27 年年齢調整死亡率を主な死亡原因別にみたとき、心疾患は男性第 2 位、女性第 2 位となっており、減少傾向にあるものの死亡原因の上位に位置している。(厚生労働省「人口動態統計特殊報告」)

[男性]

		全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	老衰	腎不全	糖尿病	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	大動脈瘤及び解離
H12	率	649.3	211.4	<u>99.1</u>	73.3	49.7	43.3	31	17.4	8.6	7.4	7.2		
	順位		1	<u>2</u>	3	4	5	6	7	8	9	10		
H17	率	615.1	190.2	<u>100.0</u>	61.3	53.0	37.7	33.8	6.8	8.3	6.9	12.6	9.4	
	順位		1	<u>2</u>	3	4	5	6	11	9	10	7	8	
H22	率	565.6	185.9	<u>92.6</u>	45.9	45.4	29.7	27.7	7.4	9.9	6.9	11.5	8.1	5.9
	順位		1	<u>2</u>	3	4	5	6	10	8	11	7	9	12
H27	率	516.8	169.0	<u>80.3</u>	38.6	40.3	26.1	24.9	11.7	8.6	6.1	10.5	7.9	6.1
	順位		1	<u>2</u>	4	3	5	6	7	9	11	8	10	11

[女性]

		全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	老衰	腎不全	糖尿病	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	大動脈瘤及び解離
H12	率	323	101.5	<u>51.6</u>	42.9	21.6	16.6	9.5	8	5.5	5.4	4.6		
	順位		1	<u>2</u>	3	4	5	6	7	8	9	10		
H17	率	305.6	95.1	<u>55.5</u>	32.4	21.6	13.1	11.3	7.6	6.4	3.8	4.5	1.9	
	順位		1	<u>2</u>	3	4	5	6	7	8	10	9	11	
H22	率	272.1	87.4	<u>49.4</u>	23.9	17.5	11.9	9.9	9.6	4.5	2.7	3.2	1.1	2.4
	順位		1	<u>2</u>	3	4	5	6	7	8	10	9	12	11
H27	率	254.2	80.8	<u>42.8</u>	20.0	15.4	9.3	9.4	14.7	4.3	1.8	2.8	0.8	2.6
	順位		1	<u>2</u>	3	4	7	6	5	8	11	9	12	10

○10万人あたりの心血管疾患に係る受療率（＝推計患者数÷推計人口×100,000）をみると、平成26年の男性で164（全国160）、女性で199（全国145）となっている。（厚生労働省「患者調査」）

	H17	H20	H23	H26
全国（男）	156	150	226	160
全国（女）	161	145	194	145
愛媛（男）	202	209	143	164
愛媛（女）	206	199	187	199

(2) 医療提供体制

○平成26年の10万人あたりの循環器内科医数（医療施設従事者数）は全国9.4人に対し愛媛県は10.3人で、心臓血管外科医数（医療施設従事者数）は全国2.4人に対し愛媛県は2.6人となっている。（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

○循環器内科医・心臓血管外科ともに全国平均を上回っているが、県内で偏在が見られる。（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

	10万人あたり		実数						
	全国	愛媛県	県計	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島
循環器内科	9.4	10.3	143	3	19	16	87	7	11
心臓血管外科	2.4	2.6	36	0	5	6	23	0	2

○心血管疾患の治療においては、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）や冠動脈バイパス術（CABG）などの専門的な治療を早期に行う必要があるが、CT撮影やMRI撮影等を含め各種機能を有する医療機関の設置状況は、地域によって異なっている。（別表「機能別医療機関例」を参照。愛媛県「えひめ医療情報ネット」）

○レセプトデータ（NDB）を活用した提供状況の分析をみると、急性期治療やリハビリテーションに関する提供状況に地域差が見られる。（厚生労働省「医療提供体制（CSR）」（医療計画作成支援データブック収録））

○特にカテーテル治療や心臓血管手術等の提供状況では、宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域が少なく、地域に差が生じている。（厚生労働省「医療提供体制（CSR）」（医療計画作成支援データブック収録））

項目	区分	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
急性心筋梗塞患者	入院	96.6	95.5	176.9	99.5	144.8	101.9
	外来	91.0	136.7	<u>85.7</u>	118.3	<u>77.4</u>	<u>85.7</u>
狭心症患者	入院	103.1	139.8	137.4	136.9	106.4	111.5
	外来	96.3	107.3	102.7	128.9	94.9	112.9
狭心症患者（主病名）	入院	<u>63.0</u>	123.3	<u>79.3</u>	116.4	<u>82.7</u>	96.4
	外来	<u>80.0</u>	121.9	115.0	158.6	107.8	133.1
急性心筋梗塞患者（主病名）	入院	<u>45.2</u>	<u>89.3</u>	110.2	105.2	<u>89.2</u>	127.5
	外来	<u>86.6</u>	107.2	106.8	113.5	<u>72.2</u>	107.7
急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	<u>48.2</u>	105.2	117.3	93.4	<u>71.7</u>	<u>73.8</u>
急性心筋梗塞に対するカテーテル治療1	入院	<u>44.5</u>	103.9	73.3	97.4	<u>84.2</u>	<u>55.0</u>

虚血性心疾患に対するカテーテル治療(全体)	入院	<u>37.0</u>	107.5	<u>81.5</u>	116.0	<u>44.0</u>	<u>69.3</u>
急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院		<u>23.6</u>	<u>29.9</u>	149.4		
虚血性心疾患に対する心臓血管手術(全体)	入院		<u>3.0</u>	<u>60.0</u>	154.6		
狭心症に対するカテーテル治療	入院	<u>36.4</u>	116.6	123.1	129.8	<u>50.0</u>	<u>76.0</u>
	外来	110.2	<u>50.6</u>	<u>67.6</u>	146.8	<u>59.0</u>	<u>34.9</u>
	全体	<u>42.9</u>	110.8	118.2	131.3	<u>50.8</u>	<u>72.4</u>
狭心症に対する心臓血管手術	入院		<u>3.2</u>	<u>64.1</u>	<u>152.6</u>		
冠動脈CT撮影	入院	<u>16.2</u>	105.1	173.8	254.8	189.6	<u>41.6</u>
	外来	<u>8.7</u>	206.3	130.5	302.1	119.1	99.0
	全体	<u>9.8</u>	191.8	136.7	295.5	129.6	90.6
冠動脈造影	入院	<u>40.4</u>	<u>82.5</u>	<u>43.7</u>	109.3	<u>31.7</u>	<u>86.7</u>
	外来	<u>8.3</u>		633.3	562.9		
	全体	<u>39.2</u>	<u>79.6</u>	<u>65.0</u>	125.8	<u>30.6</u>	<u>83.6</u>
心房細動・粗動患者	入院	<u>77.3</u>	103.7	98.7	99.1	100.5	<u>79.2</u>
	外来	<u>73.8</u>	<u>86.4</u>	<u>79.5</u>	91.9	90.9	<u>89.0</u>
心房細動・粗動患者(主傷病)	入院	<u>66.8</u>	153.8	109.7	114.0	115.2	<u>44.1</u>
	外来	<u>68.8</u>	104.0	<u>70.7</u>	94.7	91.1	<u>78.5</u>
心筋焼灼術	入院		<u>23.0</u>	<u>8.8</u>	131.8	<u>1.2</u>	
ペースメーカー	入院	<u>34.2</u>	<u>85.1</u>	<u>74.8</u>	97.4	<u>47.9</u>	<u>42.4</u>
植込型除細動器	入院			<u>25.8</u>	113.7		
大動脈内バルーンパンピング法	入院	<u>34.2</u>	<u>45.1</u>	<u>54.0</u>	103.1	<u>20.7</u>	<u>30.8</u>
心大血管疾患に対するリハビリテーション	入院	<u>20.2</u>	<u>68.3</u>	<u>65.0</u>	108.7	<u>31.5</u>	<u>83.9</u>
	外来		<u>52.7</u>	344.5	180.6	<u>5.2</u>	<u>34.6</u>
	全体	<u>13.9</u>	<u>63.5</u>	151.6	131.4	<u>23.7</u>	<u>69.1</u>

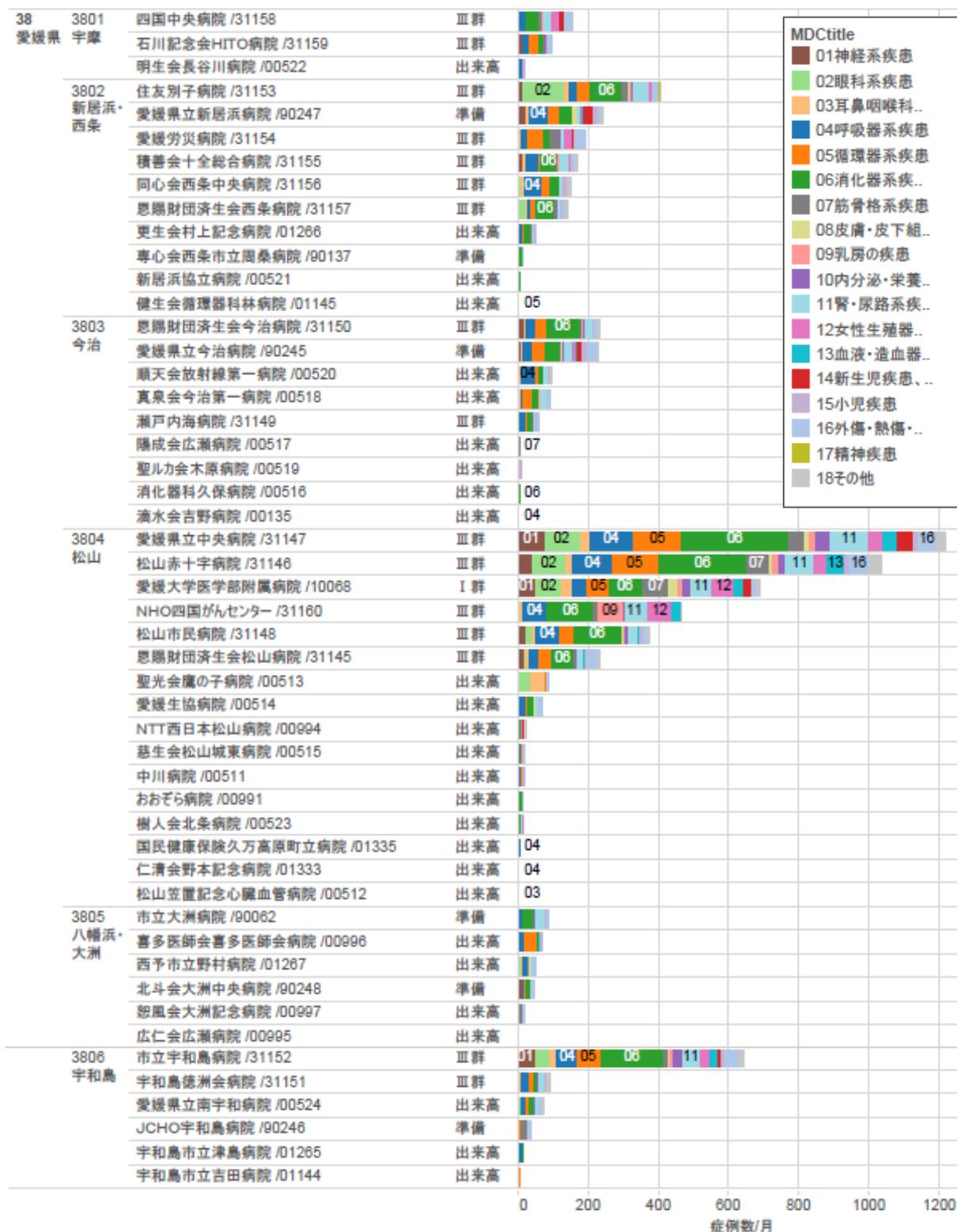
※SCRは、高齢化の影響を排するため、性・年齢調整を行ったレセプト件数を指標化したもの。

医療機関所在地で集計し、100が全国平均を示す。

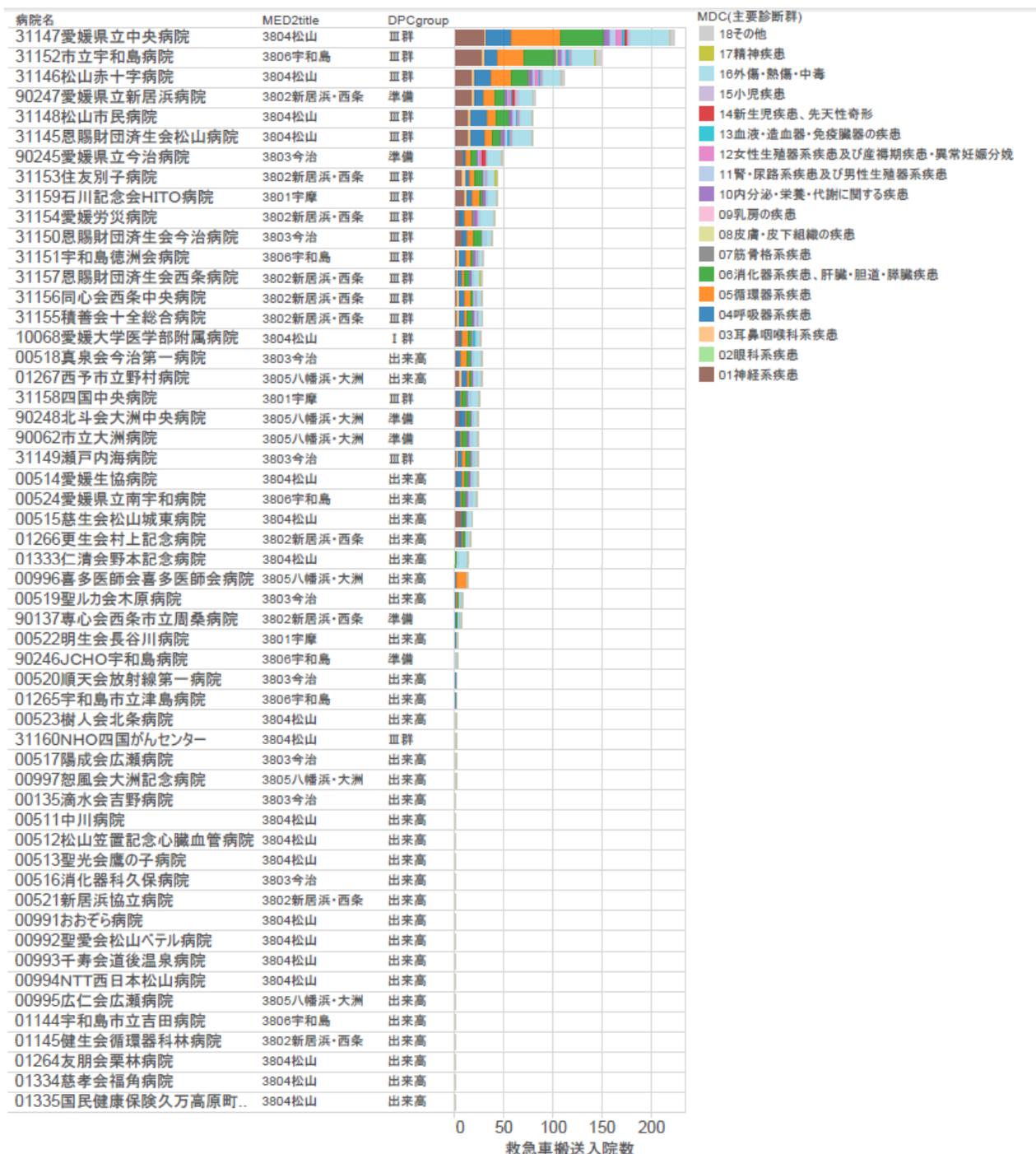
- DPCデータを活用した循環器系疾患の対応状況をみると、患者数にバラツキはあるものの、6圏域である程度対応できている状況が分かる。(厚生労働省「DPC調査(国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一)」(医療計画作成支援データブック収載))
- 同様に救急搬送患者の受入状況をみると、6圏域の主な医療機関において循環器系疾患の救急患者に対応できている。(厚生労働省「DPC調査(国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一)」(医療計画作成支援データブック収載))
- DPCデータから、循環器系疾患のうち心疾患への対応状況をみると、狭心症・慢性虚血性心疾患はどの圏域でも対応できている。急性心筋梗塞についても対応できる医療機関は限られているが概ねすべての圏域で対応できている。(厚生労働省「DPC調査(国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一)」(医療計画作成支援データブック収載))
- 心不全では八幡浜・大洲圏域での対応が他の圏域と比べ少ない状況である。(厚生労働省「D

P C 調査 (国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一) (医療計画作成支援データブック収載)

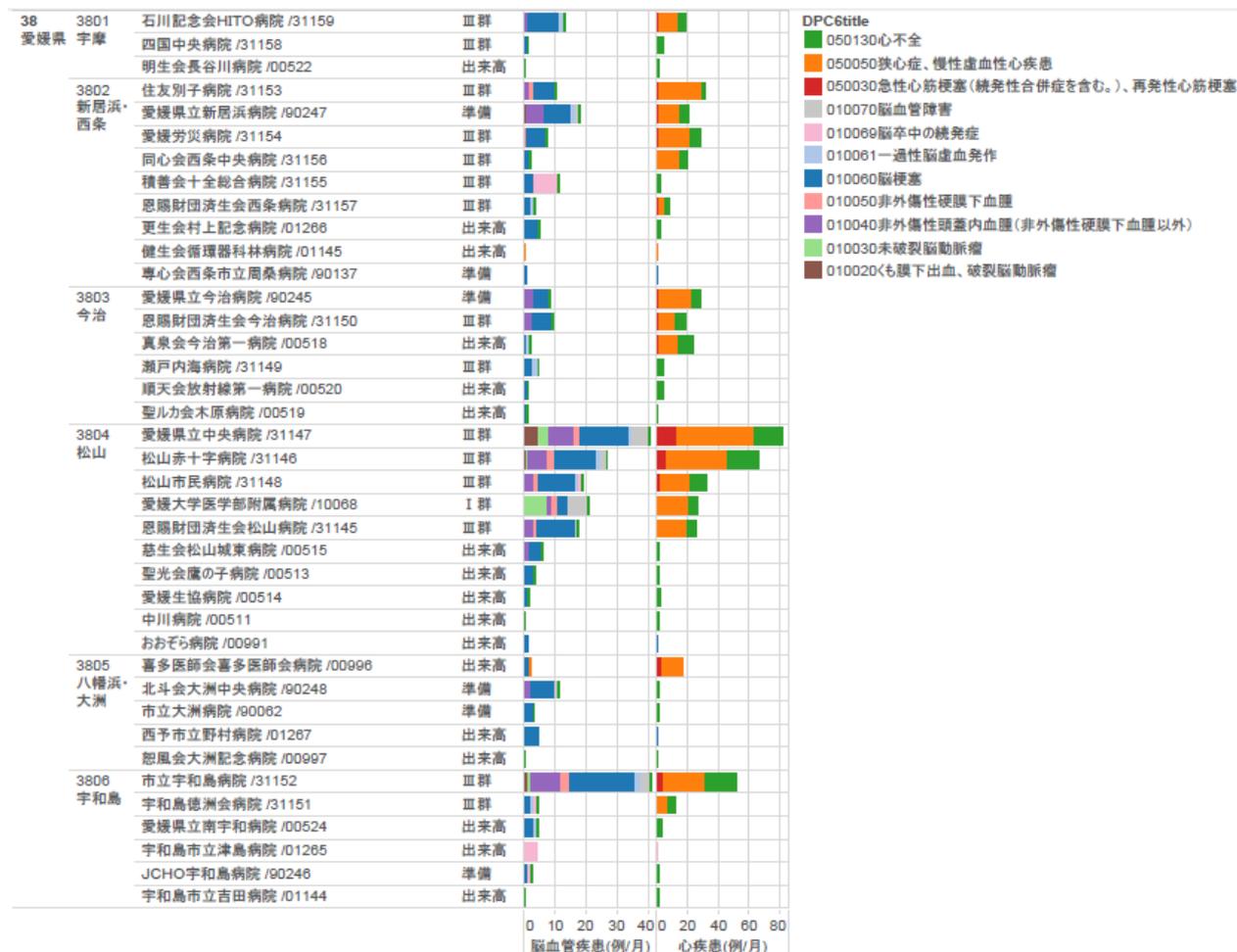
・ MDC 別患者数 (全疾患)



・MDC別救急搬送患者数（全疾患）



・患者数（脳血管疾患・心疾患）



(3) 受療動向

○急性心筋梗塞患者の提供状況SCRをみると概ね全国平均並みの提供状況であるが、受療動向（患者の流入）の状況では宇摩圏域及び八幡浜・大洲圏域で他圏域への流出が見られ、急性期の受入れに地域差が生じている。（厚生労働省「受療動向可視化ツール」（医療計画作成支援データブック掲載））

○特に手術等の治療に関する状況を見ると、宇摩圏域や八幡浜・大洲圏域の流出が多く、地域によって完結率に差が生じている。

・急性心筋梗塞患者（入院）

患者住所地	医療機関二次医療圏名										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	岡山県	広島県	徳島県	香川県	高知県
宇摩	72.22%	9.13%							4.76%	7.94%	5.95%
新居浜・西条	2.91%	91.28%		3.68%			2.13%				
今治			94.50%	1.83%				3.67%			
松山	1.19%			98.81%							
八幡浜・大洲				6.85%	88.72%	4.43%					
宇和島					3.49%	96.51%					

・急性心筋梗塞患者（外来）

		医療機関所在地								
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	78.36%	14.37%		1.12%				4.27%	0.69%	1.19%
新居浜・西条		96.83%	1.23%	1.67%				0.15%		0.12%
今治		1.03%	93.39%	1.99%			2.77%			0.82%
松山		0.15%	0.07%	99.72%						0.06%
八幡浜・大洲				6.19%	89.09%	4.73%				
宇和島				1.04%		98.96%				

・狭心症患者（入院）

		医療機関所在地									
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	徳島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	68.11%	15.80%		3.26%			0.35%	0.35%	11.04%		1.09%
新居浜・西条	1.50%	90.23%	2.41%	5.14%							0.73%
今治		1.71%	85.32%	7.36%			5.62%				
松山		0.07%	0.20%	99.48%	0.11%					0.08%	0.06%
八幡浜・大洲				11.40%	84.15%	4.45%					
宇和島				4.81%	1.28%	93.40%				0.51%	

・狭心症患者（外来）

		医療機関所在地									
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	徳島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	83.31%	9.63%	0.07%	1.30%				0.06%	5.23%	0.05%	0.35%
新居浜・西条	0.42%	93.94%	1.69%	3.53%			0.03%	0.05%	0.05%	0.02%	0.28%
今治		0.76%	91.39%	3.14%		0.02%	4.05%		0.06%	0.01%	0.56%
松山	0.01%	0.03%	0.08%	99.48%	0.13%	0.03%	0.03%	0.01%	0.02%	0.01%	0.17%
八幡浜・大洲		0.07%	0.01%	6.67%	89.78%	3.20%	0.02%		0.01%	0.01%	0.22%
宇和島		0.05%	0.04%	2.19%	1.40%	95.78%			0.02%	0.30%	0.22%

・虚血性心疾患に対するカテーテル治療（全体）（入院）

		医療機関所在地					
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	香川県
宇摩	37.96%	29.20%					32.85%
新居浜・西条		87.92%	3.08%	9.00%			
今治			100.00%				
松山				100.00%			
八幡浜・大洲				23.86%	64.97%	11.17%	
宇和島				7.19%		92.81%	

・虚血性心疾患に対する心臓血管手術（全体）（入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条						
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				100.00%		
宇和島						

・狭心症に対するカテーテル治療（入院）

患者住所地	医療機関所在地							
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県
宇摩	34.31%	27.94%		5.88%				31.86%
新居浜・西条		85.43%	5.43%	9.15%				
今治			91.84%	4.36%			3.80%	
松山				100.00%				
八幡浜・大洲				24.92%	67.27%	7.81%		
宇和島				8.84%		91.16%		

・狭心症に対するカテーテル治療（外来）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	100.00%					
新居浜・西条		100.00%				
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				37.50%	62.50%	
宇和島						100.00%

・心症に対する心臓血管手術（入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条						
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				100.00%		
宇和島						

・冠動脈C T撮影（入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条		69.62%		30.38%		
今治			80.91%	19.09%		
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				20.63%	79.37%	
宇和島				58.82%		41.18%

・冠動脈C T撮影（外来）

患者住所地	医療機関所在地							
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県
宇摩		43.94%						56.06%
新居浜・西条		88.65%	2.30%	9.05%				
今治			84.26%	13.20%			2.54%	
松山				100.00%				
八幡浜・大洲				22.41%	69.10%	8.49%		
宇和島				20.47%		79.53%		

・冠動脈造影（入院）

患者住所地	医療機関所在地								
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	岡山県	広島県	香川県
宇摩	43.65%	22.34%		9.64%					24.37%
新居浜・西条		79.29%	2.72%	16.13%			1.87%		
今治			74.56%	16.38%				9.06%	
松山				100.00%					
八幡浜・大洲				33.00%	52.86%	14.14%			
宇和島				10.23%		89.77%			

・冠動脈造影（外来）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条			100.00%			
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲						
宇和島						

※受療動向で対象となるレセプトは、国保、退職国保及び後期高齢者のみ。(カバー率：全体で約55%、65歳以上で約90%、75歳以上で100%)

(4) 患者推計

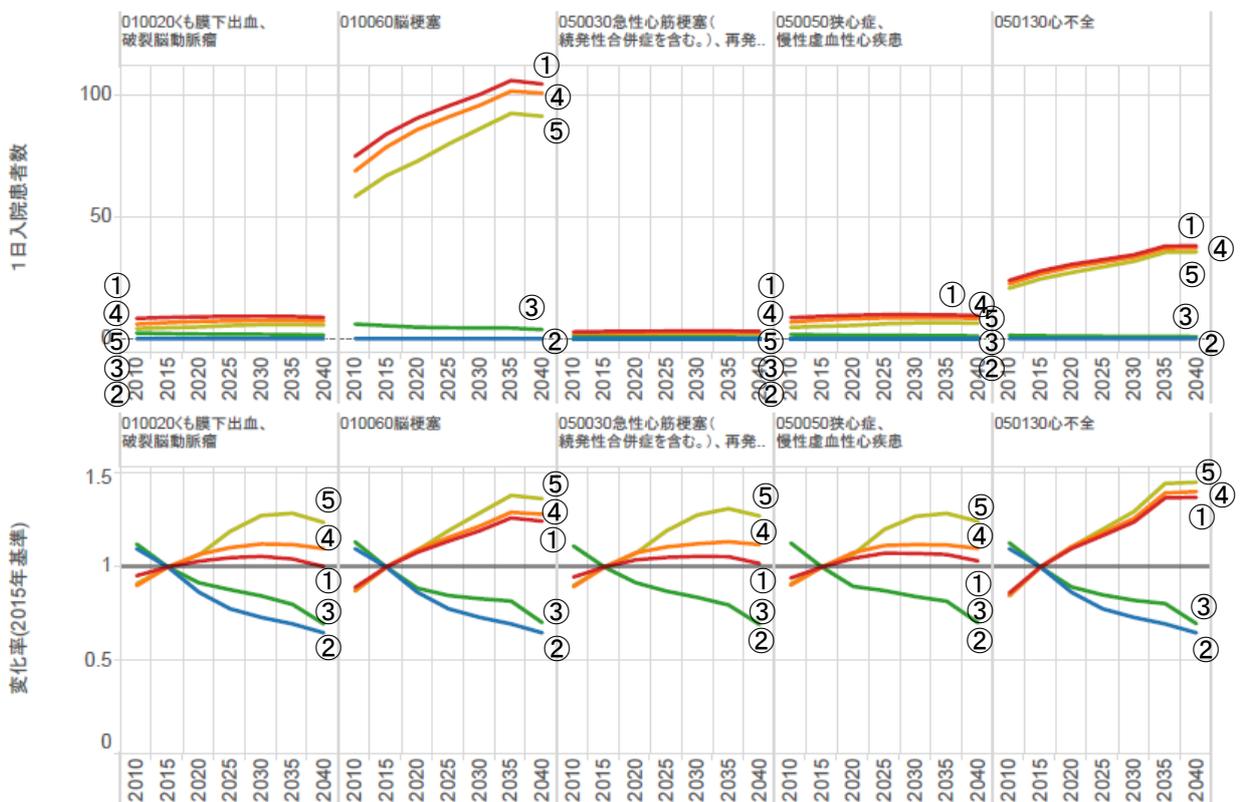
○DPCデータを活用した患者推計をみると、急性心筋梗塞や狭心症・慢性虚血性心疾患、心不全は、すべての圏域で65歳以上を中心に増加する結果となっている。(厚生労働省「DPC調査(国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一)」(医療計画作成支援データブック収載))

○特に心不全は他と比べて増加数及び増加率ともに大きいと予想されている。(厚生労働省「DPC調査(国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一)」(医療計画作成支援データブック収載))

[平成26年患者調査・受療率(全国)及び国立社会保障・人口問題研究所人口推計に基づく患者推計](国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一(医療計画作成支援データブック収載))

【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上(再掲)

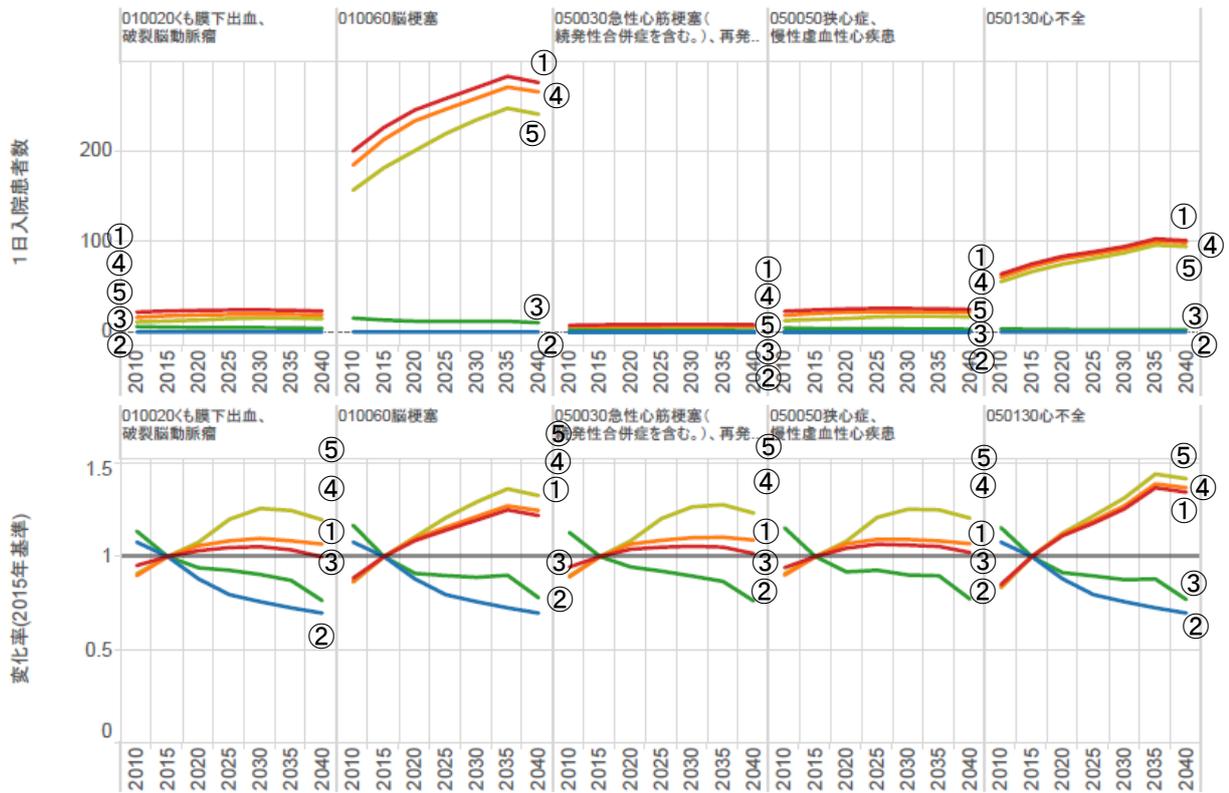
・宇摩圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

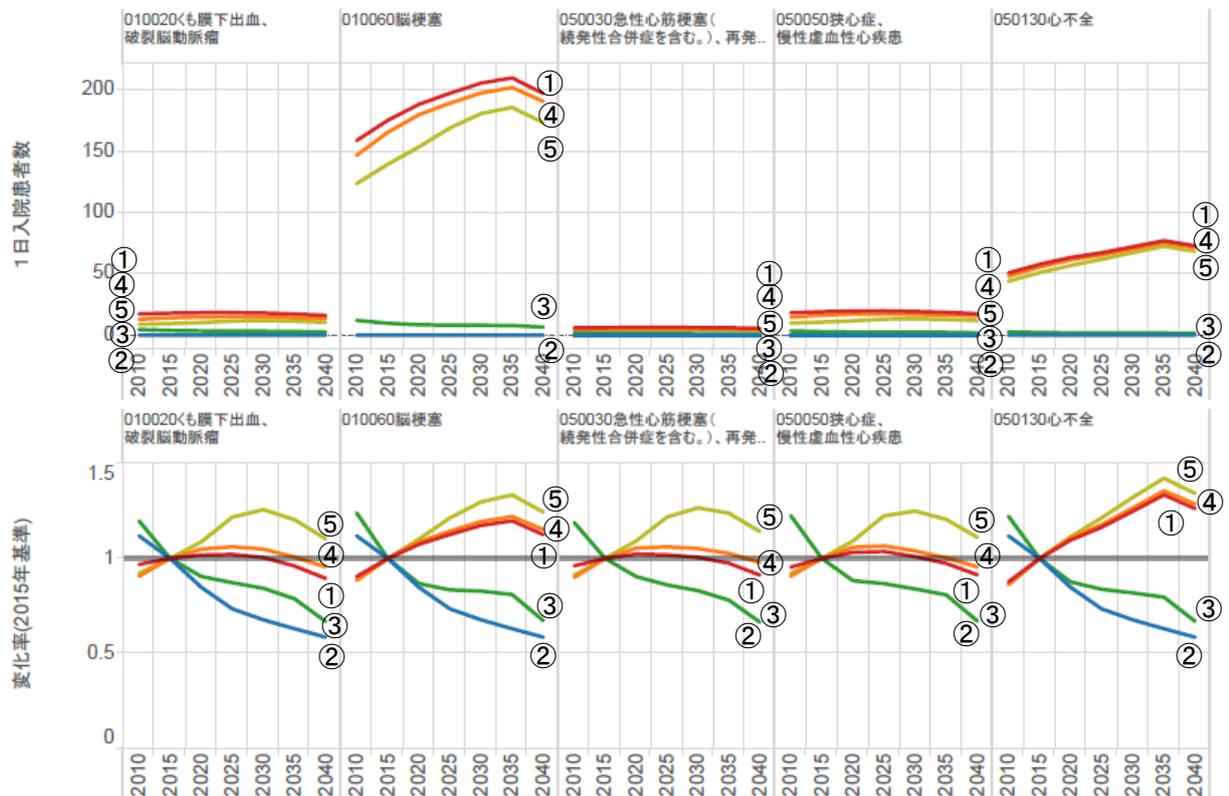
【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・新居浜・西条圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

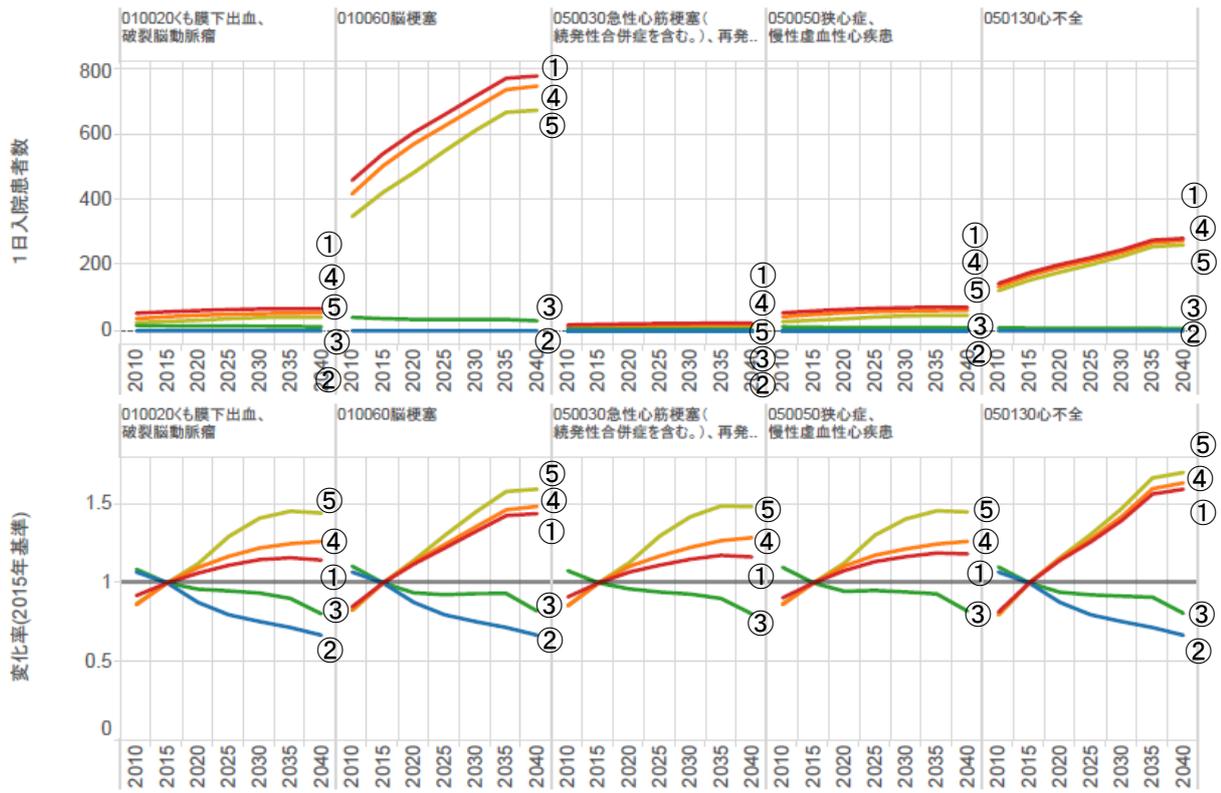
・今治圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

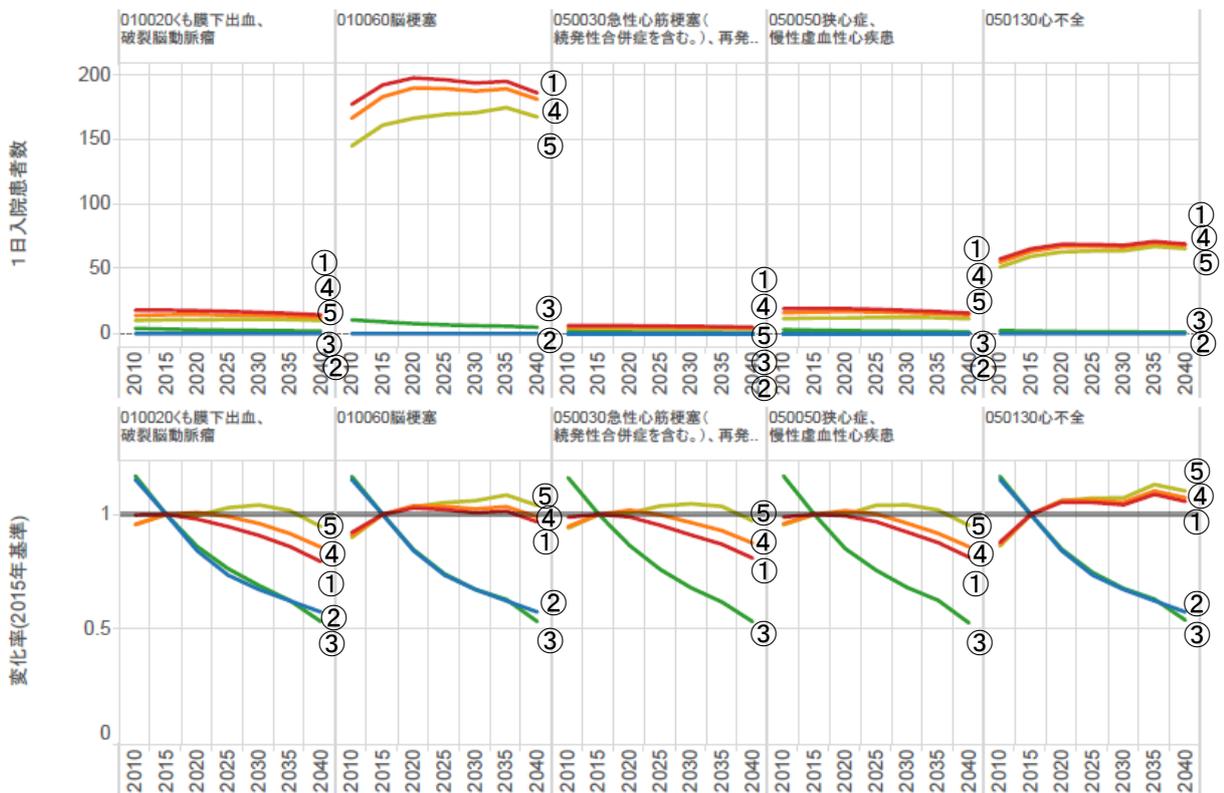
【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・松山圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

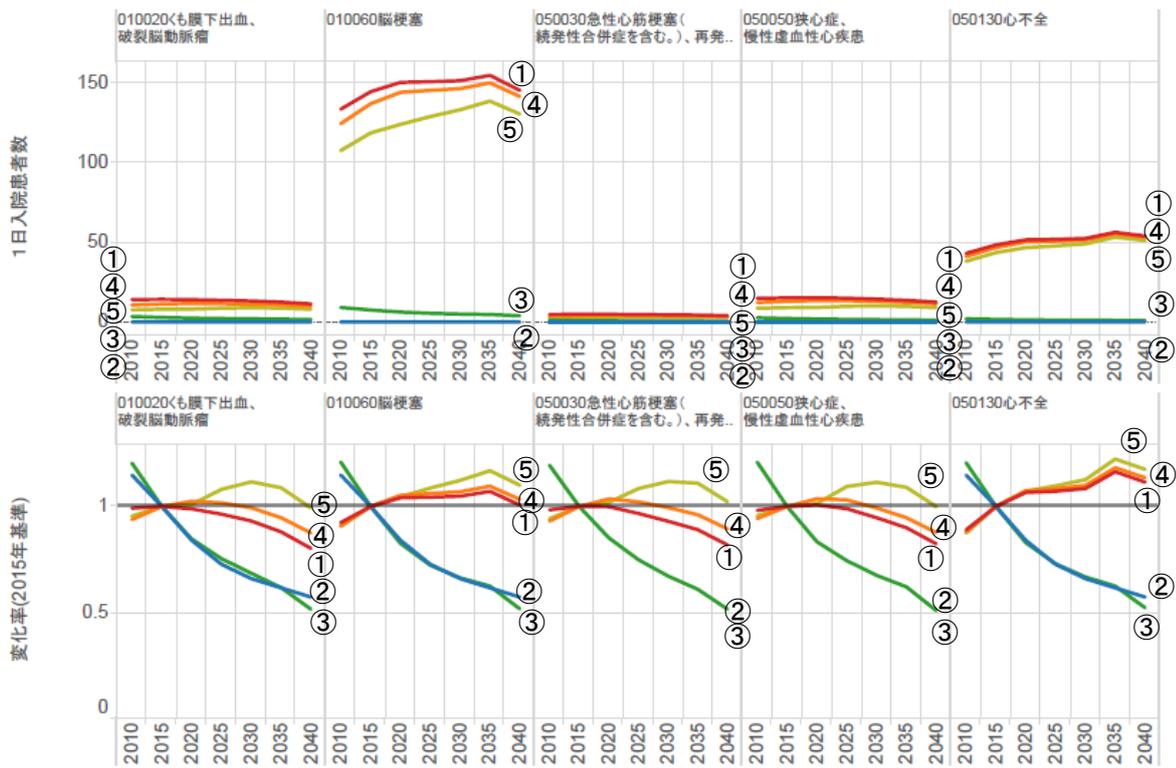
・八幡浜・大洲圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・宇和島圏域



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

心筋梗塞等の心血管疾患医療機関例（えひめ医療情報ネットから検索）

病期	機能	再掲	市町	医療機関名			
予防	禁煙指導（ニコチン依存症管理）		四国中央市	長谷川病院、HITO病院、ふじえだファミリークリニック、眞鍋医院、三島医療センター、みよし循環器クリニック、矢部内科、山口クリニック			
			新居浜市	井石内科医院、愛媛医療生活協同組合泉川診療所、岩崎病院、愛媛労災病院、えもり内科クリニック、加藤医院、かとうクリニック、新居浜協立病院、県立新居浜病院、こんどう心療内科、十全総合病院、住友別子病院、たねがわ心の相談室、はびねす内科クリニック、医療法人胃腸科内科松村クリニック			
			西条市	共立病院、済生会西条病院、坂根医院、西条市立周桑病院、田淵外科、村上記念病院、横山病院、渡部病院、和田内科・皮膚科			
			今治市	いクリニック内科・呼吸器内科、相原内科クリニック、いまおか内科クリニック、今治市医師会市民病院、大三島中央病院、かいはらクリニック、かとう内科、喜多嶋診療所、木原病院、済生会今治病院、さとう内科クリニック、瀬戸内海病院、高山内科病院、武田脳神経外科、近松内科、Dクリニック、内科・消化器科羽鳥病院、広瀬クリニック、広瀬病院、藤田医院、放射線第一病院、山内病院、吉野病院			
			松山市	石手まつもと内科循環器クリニック、いずみ診療所、今在家クリニック、NTT西日本松山病院、愛媛県厚生連健診センター、愛媛生協病院、遠藤内科医院、おもしろ外科こもれび診療所、大城外科胃腸科、おおぞら病院、おおつか循環器・内科クリニック、大手町クリニック、梶浦病院、門田内科循環器科医院、かどた脳神経外科、カメラア内科・糖尿病内科クリニック、河田外科脳神経外科医院、きい麻酔科クリニック、北吉田診療所、木村クリニック、桐山医院、久慈クリニック、桑原内科麻酔科、県立中央病院、小松内科循環器科クリニック、済生会松山病院、産婦人科ばらのいずみクリニック、しげまつ内科クリニック、四国がんセンター、城北内科循環器科クリニック、城北診療所、須賀医院、菅井内科、鈴木耳鼻咽喉科医院、鷹ノ子病院、高橋医院、竹内内科胃腸科、立花クリニック、田辺医院、たんぼぼクリニック、東村内科医院、徳山内科、富永ペインクリニック、中田胃腸科放射線科、ながと脳神経外科・心療内科クリニック、七色診療クリニック、新谷内科クリニック、野村胃腸科内科医院、原循環器科内科クリニック、久野内科、福岡内科クリニック、福田循環器科内科クリニック、藤原胃腸科、船津内科胃腸科クリニック、ふるかわ内科クリニック、松村内科クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、みねおい内科・循環器内科医院、みやぎクリニック、三宅内科胃腸科、みやもとクリニック、村上循環器科、山形耳鼻咽喉科、山中内科・消化器内科クリニック、よしだ内科クリニック、渡辺泌尿器科内科、渡辺病院			
			伊予市	佐礼谷診療所、中村脳神経外科、中山クリニック			
			東温市	こばやし内科クリニック、愛媛十全医療学院附属病院			
			久万高原町	久万高原町立病院、西本医院、みかわクリニック			
			松前町	おひさまファミリークリニック、武智泌尿器科・内科、松野内科クリニック			
			砥部町	かどた内科、山本クリニック			
			八幡浜市	旭町内科クリニック、柳田脳神経外科			
			大洲市	おち内科クリニック、喜多医師会病院、こじま内科、東若宮中川脳神経外科クリニック			
			西予市	あじき医院、西予市立西予市市民病院、西予市立野村病院、三瓶病院、若宮診療所			
			伊方町	伊方町国民健康保険九町診療所			
			宇和島市	鎌野病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院			
			鬼北町	鬼北町国民健康保険日吉診療所			
			愛南町	愛南町国保一本松病院、県立南宇和病院、粉川ファミリークリニック、松本クリニック			
			急性期	冠状動脈疾患専用集中治療室（CCU）を有		今治市	済生会今治病院、山内病院
						松山市	松山市民病院、松山赤十字病院
						宇和島市	市立宇和島病院
四国中央市	西岡病院、恵康病院、長谷川病院、HITO病院、新居浜精神衛生研究所附属豊岡台病院						
新居浜市	岩崎病院、愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院						
西条市	共立病院、近藤クリニック、西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、横山病院、渡部病院						
今治市	今治市医師会市民病院、今治第一病院、県立今治病院、光生病院、済生会今治病院、菅病院、瀬戸内海病院、高山内科病院、波形中央病院、放射線第一病院、美須賀病院、吉野病院						
松山市	天山病院、石手まつもと内科循環器クリニック、栗林病院、愛媛県厚生連健診センター、奥島病院、梶浦病院、河田外科脳神経外科医院、松山協和病院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、関谷循環器科、鷹ノ子病院、田辺医院、松山第一病院、東村内科医院、中川病院、なかじま中央病院、野本記念病院f、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、よつば循環器科クリニック、立命クリニック、渡辺病院						
伊予市	伊予病院、中村脳神経外科						
東温市	愛媛大学医学部附属病院、辻井循環器科内科、愛媛医療センター						
八幡浜市	市立八幡浜総合病院						
大洲市	大洲記念病院、大洲中央病院、喜多医師会病院						
内子町	加戸病院						
伊方町	門田医院						
宇和島市	宇和島徳洲会病院、市立宇和島病院、宇和島市立吉田病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院						
愛南町	県立南宇和病院						

急性期

MRI撮影(循環器科及び心臓血管外科を標榜するものに限る)	四国中央市	西岡病院、恵康病院、HITO病院、三島医療センター
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院
	西条市	西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、渡部病院
	今治市	今治第一病院、県立今治病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院、放射線第一病院、美須賀病院
	松山市	愛媛県厚生連健診センター、奥島病院、梶浦病院、河田外科脳神経外科医院、松山協和病院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、鷹ノ子病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、渡辺病院
	伊予市	中村脳神経外科
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	大洲市	大洲記念病院、大洲中央病院、喜多医師会病院
	内子町	加戸病院
	宇和島市	宇和島徳洲会病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院
	愛南町	県立南宇和病院
	救命救急センター	新居浜市
松山市		県立中央病院救命救急センター
宇和島市		市立宇和島病院南予救命救急センター
心臓カテーテル法による諸検査(24時間対応)	四国中央市	HITO病院
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、住友別子病院、循環器科林病院
	西条市	西条中央病院、済生会西条病院
	今治市	県立今治病院、済生会今治病院
	松山市	県立中央病院、貞本病院、関谷循環器科、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	大洲市	喜多医師会病院
	宇和島市	宇和島徳洲会病院、市立宇和島病院
	心臓カテーテル法による諸検査(24時間対応以外)	四国中央市
新居浜市		愛媛労災病院、十全総合病院
今治市		今治第一病院、済生会今治病院
松山市		門田内科循環器科医院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、よつば循環器科クリニック
東温市		藤石医院
宇和島市		JCHO宇和島病院
愛南町		県立南宇和病院
心臓カテーテル法による血管内視鏡検査	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院
	西条市	西条中央病院
	今治市	県立今治病院、済生会今治病院
	松山市	県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、関谷循環器科、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	宇和島市	市立宇和島病院
冠動脈バイパス術	新居浜市	県立新居浜病院
	西条市	済生会西条病院
	今治市	今治第一病院、済生会今治病院
	松山市	県立中央病院、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
	東温市	愛媛大学医学部附属病院
	宇和島市	市立宇和島病院
経皮的冠動脈形成術(PTCA)	四国中央市	HITO病院
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、住友別子病院、循環器科林病院
	西条市	西条中央病院、済生会西条病院
	今治市	今治第一病院、県立今治病院、済生会今治病院
	松山市	県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、関谷循環器科、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	大洲市	喜多医師会病院
	宇和島市	宇和島徳洲会病院、JCHO宇和島病院
	愛南町	県立南宇和病院
経皮的冠動脈血栓吸引術	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、循環器科林病院
	西条市	西条中央病院、済生会西条病院
	今治市	今治第一病院、県立今治病院、済生会今治病院
	松山市	県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、関谷循環器科、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	大洲市	喜多医師会病院
	宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院
愛南町	県立南宇和病院	

急性期	経皮的冠動脈ステント留置術	四国中央市	HITO病院
		新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、住友別子病院、循環器科林病院
		西条市	西条中央病院、済生会西条病院
		今治市	今治第一病院、県立今治病院、済生会今治病院
		松山市	県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、関谷循環器科、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
		東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院
		大洲市	喜多医師会病院
		宇和島市	宇和島徳洲会病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院
	愛南町	県立南宇和病院	
	弁膜症手術	新居浜市	県立新居浜病院
		今治市	今治第一病院、済生会今治病院
		松山市	県立中央病院、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
		東温市	愛媛大学医学部附属病院
	開心術	宇和島市	市立宇和島病院
		新居浜市	県立新居浜病院
		今治市	今治第一病院、済生会今治病院
		松山市	県立中央病院、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック
	大動脈瘤手術	東温市	愛媛大学医学部附属病院
宇和島市		市立宇和島病院	
新居浜市		愛媛労災病院、県立新居浜病院、住友別子病院	
今治市		今治第一病院、済生会今治病院	
下肢静脈瘤手術	松山市	N T T西日本松山病院、県立中央病院、松山市民病院、松山赤十字病院、よつば循環器科クリニック	
	東温市	愛媛大学医学部附属病院	
	四国中央市	岸田メディカルクリニック、四国中央病院	
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院	
	西条市	済生会西条病院、村上記念病院	
	今治市	今治市医師会市民病院、今治第一病院、済生会今治病院	
	松山市	N T T西日本松山病院、県立中央病院、J O Eクリニック、松山笠置心臓血管病院、松山市民病院、松山赤十字病院、南松山病院、よつば循環器科クリニック、渡辺病院	
	東温市	愛媛大学医学部附属病院	
	砥部町	二光クリニック	
ペースメーカー移植術	西予市	西予市立西予市民病院	
	宇和島市	宇和島徳洲会病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院	
	四国中央市	HITO病院	
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、住友別子病院、循環器科林病院	
	西条市	西条中央病院、済生会西条病院	
	今治市	今治第一病院、小澤外科循環器科医院、県立今治病院、済生会今治病院、放射線第一病院	
	松山市	N T T西日本松山病院、愛媛生協病院、梶浦病院、門田内科循環器科医院、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、関谷循環器科、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山赤十字病院、南松山病院、よつば循環器科クリニック	
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター	
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院	
急性心筋梗塞地域連携クリティカルパスを有する医療機関	大洲市	喜多医師会病院	
	宇和島市	宇和島徳洲会病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院	
	愛南町	県立南宇和病院	
	四国中央市	川崎会中央クリニック	
循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を設置する医療機関	新居浜市	はびねす内科クリニック	
	松山市	石手まつもと内科循環器クリニック、岩崎内科、大野内科循環器科消化器科、北吉田診療所、みねおい内科・循環器内科医院、立命クリニック	
	伊予市	稲田内科医院	
	松前町	高瀬内科胃腸科	
	四国中央市	西岡病院、患康病院、長谷川病院、HITO病院、三島医療センター	
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院、循環器科林病院	
	西条市	共立病院、西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、横山病院、渡部病院	
	今治市	今治市医師会市民病院、今治第一病院、県立今治病院、光生病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院、放射線第一病院、吉野病院	
	松山市	天山病院、今村循環器科内科、栗林病院、奥島病院、梶浦病院、県立中央病院、済生会松山病院、鷹ノ子病院、松山第一病院、中川病院、野本記念病院、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、渡辺病院	
	伊予市	伊予病院	
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター	
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院、山本医院	
	大洲市	大洲中央病院、喜多医師会病院	
内子町	加戸病院		
宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院		
愛南町	県立南宇和病院		

	心大血管疾患リハビリテーション	四国中央市	HITO病院
		新居浜市	県立新居浜病院、住友別子病院
		今治市	今治第一病院、県立今治病院、済生会今治病院
		松山市	県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、そよかぜ循環器内科・糖尿病内科、鷹ノ子病院、道後温泉病院、ノエルクリニック心臓血管外科歯科、星の岡心臓・血管クリニック、松山市民病院、松山赤十字病院、みねおい内科・循環器内科医院
	回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関	東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院
		大洲市	喜多医師会病院
		西予市	笹田循環器科内科医院
	急性心筋梗塞地域連携クリティカルパスを有する医療機関	宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院
		四国中央市	西岡病院、HITO病院
		新居浜市	住友別子病院
		松山市	西条市民病院、済生会西条病院、村上記念病院
	循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を設置する医療機関	今治市	済生会今治病院、美須賀病院
		松山市	おおぞら病院、道後温泉病院、福角病院、平成脳神経外科病院、松山リハビリテーション病院
		伊予市	伊予病院
		東温市	愛媛十全医療学院附属病院
	慢性期・再発予防	八幡浜市	真網代くじらリハビリテーション病院
		大洲市	大洲記念病院、大洲中央病院
		宇和島市	宇和島徳洲会病院、JCHO宇和島病院
		四国中央市	川崎会中央クリニック
	ペースメーカー管理	新居浜市	はびねす内科クリニック
		松山市	石手まつもと内科循環器クリニック、岩崎内科、大野内科循環器科消化器科、北吉田診療所、みねおい内科・循環器内科医院、立命クリニック
		伊予市	稲田内科医院
		松前町	高瀬内科胃腸科
	慢性期・再発予防	四国中央市	西岡病院、患康病院、長谷川病院、HITO病院、三島医療センター
		新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院、循環器科林病院
		西条市	共立病院、西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、横山病院、渡部病院
		今治市	今治市医師会市民病院、今治第一病院、県立今治病院、光生病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院、放射線第一病院、吉野病院
	慢性期・再発予防	松山市	天山病院、今村循環器科内科、栗林病院、奥島病院、梶浦病院、県立中央病院、済生会松山病院、鷹ノ子病院、松山第一病院、中川病院、野本記念病院、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、渡辺病院
		伊予市	伊予病院
		東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院、山本医院
	慢性期・再発予防	大洲市	大洲中央病院、喜多医師会病院
		内子町	加戸病院
		宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院
		愛南町	県立南宇和病院
	慢性期・再発予防	四国中央市	岸田メディカルクリニック、四国中央市国民健康保険新宮診療所、四国中央病院、川崎会中央クリニック、長谷川病院、HITO病院、三島医療センター、みよし循環器科クリニック
		新居浜市	愛媛労災病院、加藤医院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院、はびねす内科クリニック、循環器科林病院、在宅専門みどりクリニック
		西条市	あおの循環器科、西条愛寿会病院、西条市民病院、西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、松田循環器科内科、村上記念病院、渡部病院、和田内科・皮膚科
		今治市	有津むらかみクリニック、今治第一病院、小澤外科循環器科医院、県立今治病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院、広瀬クリニック、広瀬病院、放射線第一病院、吉野病院
	慢性期・再発予防	松山市	あかりクリニック、天山病院、石手まつもと内科循環器クリニック、今村循環器科内科、岩崎内科、NTT西日本松山病院、愛媛生協病院、おおつか循環器・内科クリニック、大野内科循環器科消化器科、奥島病院、梶浦病院、門田内科循環器科医院、久慈クリニック、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、城内科循環器科クリニック、関谷循環器科、そよかぜ循環器内科・糖尿病内科、田辺医院、千舟町クリニック、戸梶内科医院、とみの心臓血管クリニック、にしもり内科医院、ノエルクリニック心臓血管外科歯科、野本記念病院、原循環器科内科クリニック、平松循環器科内科、ふくだ循環器科内科クリニック、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、松山ベテル病院、南松山病院、みねおい内科・循環器内科医院、よつば循環器科クリニック
		伊予市	愛媛医療生活協同組合伊予診療所、伊予病院
		東温市	愛媛大学医学部附属病院、こばやし内科クリニック、愛媛医療センター、藤石医院
		久万高原町	うつのみや内科
	慢性期・再発予防	松前町	おひさまファミリークリニック、たけだ内科クリニック、松野内科クリニック
		砥部町	かどた内科、砥部病院
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院、たかはし医院、チヨダクリニック、山本医院
		大洲市	大洲記念病院、大洲中央病院、神南診療所、喜多医師会病院、市立大洲病院
	慢性期・再発予防	内子町	堀川外科胃腸科医院

慢性
期・再
発予防

		伊方町	伊方町国民健康保険瀬戸診療所
		宇和島市	石川循環器科・内科、宇和島徳洲会病院、沖内科クリニック、市立宇和島病院、宇和島市立吉田病院、JCHO宇和島病院、山本内科医院、わたなべハートクリニック
		愛南町	県立南宇和病院
急性心筋梗塞地域連携クリティカルパスを有する医療機関	✓	四国中央市	川崎会中央クリニック
		新居浜市	はびねす内科クリニック
		松山市	石手まつもと内科循環器クリニック、岩崎内科、大野内科循環器科消化器科、北吉田診療所、みねおい内科・循環器内科医院、立命クリニック
		伊予市	稲田内科医院
		松前町	高瀬内科胃腸科
循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を設置する医療機関	✓	四国中央市	西岡病院、恵康病院、長谷川病院、HITO病院、三島医療センター
		新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院、循環器科林病院
		西条市	共立病院、西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、横山病院、渡部病院
		今治市	今治市医師会市民病院、今治第一病院、県立今治病院、光生病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院、放射線第一病院、吉野病院
		松山市	天山病院、今村循環器科内科、栗林病院、奥島病院、梶浦病院、県立中央病院、済生会松山病院、鷹ノ子病院、松山第一病院、中川病院、野本記念病院、星の岡心臓・血管クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、渡辺病院
		伊予市	伊予病院
		東温市	愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院、山本医院
		大洲市	大洲中央病院、喜多医師会病院
		内子町	加戸病院
		宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院
愛南町	県立南宇和病院		
循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に関する窓口を有する医療機関		四国中央市	西岡病院、恵康病院、長谷川病院、HITO病院、新居浜精神衛生研究所附属豊岡台病院、三島医療センター
		新居浜市	愛媛労災病院、かとうクリニック、県立新居浜病院、十全総合病院、知元医院、循環器科林病院、在宅専門みどりクリニック
		西条市	共立病院、西条中央病院、済生会西条病院、西条市立周桑病院、村上記念病院、横山病院、渡部病院
		今治市	朝倉内科循環器科クリニック、今治市医師会市民病院、今治第一病院、県立今治病院、光生病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院、放射線第一病院、美須賀病院、吉野病院
		松山市	天山病院、内田クリニック、愛媛県総合保健協会診療所、岡本医院、奥島病院、梶浦病院、門田内科循環器科医院、河田外科脳神経外科医院、北吉田診療所、県立中央病院、済生会松山病院、貞本病院、鷹ノ子病院、竹内内科胃腸科、田辺医院、松山第一病院、戸梶内科医院、中川病院、野本記念病院、星の岡心臓・血管クリニック、松山市民病院、松山城東病院、松山赤十字病院、松山西病院、みねおい内科・循環器内科医院、よつば循環器科クリニック、渡辺病院
		東温市	愛媛大学医学部附属病院、こばやし内科クリニック、辻井循環器科内科、愛媛医療センター
		八幡浜市	市立八幡浜総合病院、中野医院、山本医院
		大洲市	浦岡医院、大洲記念病院、大洲中央病院、喜多医師会病院
		内子町	加戸病院
		伊方町	わとう医院
		宇和島市	市立宇和島病院、JCHO宇和島病院
		愛南町	県立南宇和病院

慢性 期・再 発予防	禁煙指導（ニコ チン依存症管 理）	✓	四国中央市	長谷川病院、HITO病院、ふじえだファミリークリニック、真鍋医院、三島医療センター、みよし循環器クリニック、矢部内科、山口クリニック
			新居浜市	井石内科医院、愛媛医療生活協同組合泉川診療所、岩崎病院、愛媛労災病院、えもり内科クリニック、加藤医院、かとうクリニック、新居浜協立病院、県立新居浜病院、こんどう心療内科、十全総合病院、住友別子病院、たねがわ心の相談室、はびねす内科クリニック、医療法人胃腸科内科松村クリニック
			西条市	共立病院、済生会西条病院、坂根医院、西条市立周桑病院、田淵外科、村上記念病院、横山病院、渡部病院、和田内科・皮膚科
			今治市	1クリニック内科・呼吸器内科、相原内科クリニック、いまおか内科クリニック、今治市医師会市民病院、大三島中央病院、かいはらクリニック、かとう内科、喜多嶋診療所、木原病院、済生会今治病院、さとう内科クリニック、瀬戸内海病院、高山内科病院、武田脳神経外科、近松内科、Dクリニック、内科・消化器科羽鳥病院、広瀬クリニック、広瀬病院、藤田医院、放射線第一病院、山内病院、吉野病院
			松山市	右手まつもと内科循環器クリニック、いずみ診療所、今在家クリニック、NTT西日本松山病院、愛媛県厚生連健診センター、愛媛生協病院、遠藤内科医院、おもしろ外科こもれび診療所、大城外科胃腸科、おおぞら病院、おおつか循環器・内科クリニック、大手町クリニック、梶浦病院、門田内科循環器科医院、かどた脳神経外科、カメラア内科・糖尿病内科クリニック、河田外科脳神経外科医院、きい麻酔科クリニック、北吉田診療所、木村クリニック、桐山医院、久慈クリニック、桑原内科麻酔科、県立中央病院、小松内科循環器科クリニック、済生会松山病院、産婦人科ばらのいずみクリニック、しげまつ内科クリニック、四国がんセンター、城内科循環器科クリニック、城北診療所、須賀医院、菅井内科、鈴木耳鼻咽喉科医院、鷹ノ子病院、高橋医院、竹内内科胃腸科、立花クリニック、田辺医院、たんぼぼクリニック、東村内科医院、徳山内科、富永ペインクリニック、中田胃腸科放射線科、ながと脳神経外科・心療内科クリニック、七色診療クリニック、新谷内科クリニック、野村胃腸科内科医院、原循環器科内科クリニック、久野内科、福岡内科クリニック、福田循環器科内科クリニック、藤原胃腸科、船津内科胃腸科クリニック、ふるかわ内科クリニック、松村内科クリニック、松山笠置記念心臓血管病院、みねおい内科・循環器内科医院、みやぎクリニック、三宅内科胃腸科、みやもとクリニック、村上循環器科、山形耳鼻咽喉科、山中内科・消化器内科クリニック、よしだ内科クリニック、渡辺泌尿器科内科、渡辺病院
			伊予市	佐礼谷診療所、中村脳神経外科、中山クリニック
			東温市	こばやし内科クリニック、愛媛十全医療学院附属病院
			久万高原町	久万高原町立病院、西本医院、みかわクリニック
			松前町	おひさまファミリークリニック、武智ひ尿器科・内科、松野内科クリニック
			砥部町	かどた内科、山本クリニック
			八幡浜市	旭町内科クリニック、柳田脳神経外科
			大洲市	おち内科クリニック、喜多医師会病院、こじま内科、東若宮中川脳神経外科クリニック
			西予市	あじき医院、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院、三瓶病院、若宮診療所
			伊方町	伊方町国民健康保険九町診療所
			宇和島市	鎌野病院、市立宇和島病院、JCHO宇和島病院、宇和島市立津島病院
			鬼北町	鬼北町国民健康保険日吉診療所
愛南町	愛南町国保一本松病院、県立南宇和病院、粉川ファミリークリニック、松本クリニック			

※えひめ医療情報ネットに登録がある医療機関を抽出したもので、個別の医療機関を推薦するものではない。
 ※えひめ医療情報ネットには医療機関が各種機能を登録するため、統計調査等と合計数が合わない場合がある。

糖尿病の現状について

1 全国状況

○糖尿病が強く疑われる者は約 1,000 万人と推計され、平成 9 年以降増加している。また、糖尿病の可能性を否定できない者も約 1,000 万人と推計され、平成 9 年以降増加していたが、平成 19 年以降減少している。(厚生労働省「平成 28 年国民健康・栄養調査」) (単位：万人)

	H 9 年	H14 年	H19 年	H24 年	H28 年
糖尿病が強く疑われる者	690	740	890	950	1,000
糖尿病の可能性を否定できない者	680	880	1,320	1,100	1,000
合計	1,370	1,620	2,210	2,050	2,000

○糖尿病を主な傷病として継続的に医療を受けている患者数は約 317 万人と推計され、平成 17 年以降増加傾向にある。(厚生労働省「平成 26 年患者調査」)

(単位：千人)

主な傷病	H17 年	H20 年	H23 年	H26 年
糖尿病	2,469	2,371	2,700	3,166
結核	39	27	26	20
ウイルス肝炎	410	313	206	184
悪性新生物	1,423	1,518	1,526	1,626
高脂血症	1,530	1,433	1,886	2,062
高血圧性疾患	7,809	7,967	9,067	10,108
心疾患（高血圧性除く）	1,658	1,542	1,612	1,729
脳血管疾患	1,365	1,339	1,235	1,179
肝疾患	312	247	276	251
慢性腎不全	257	331	343	296

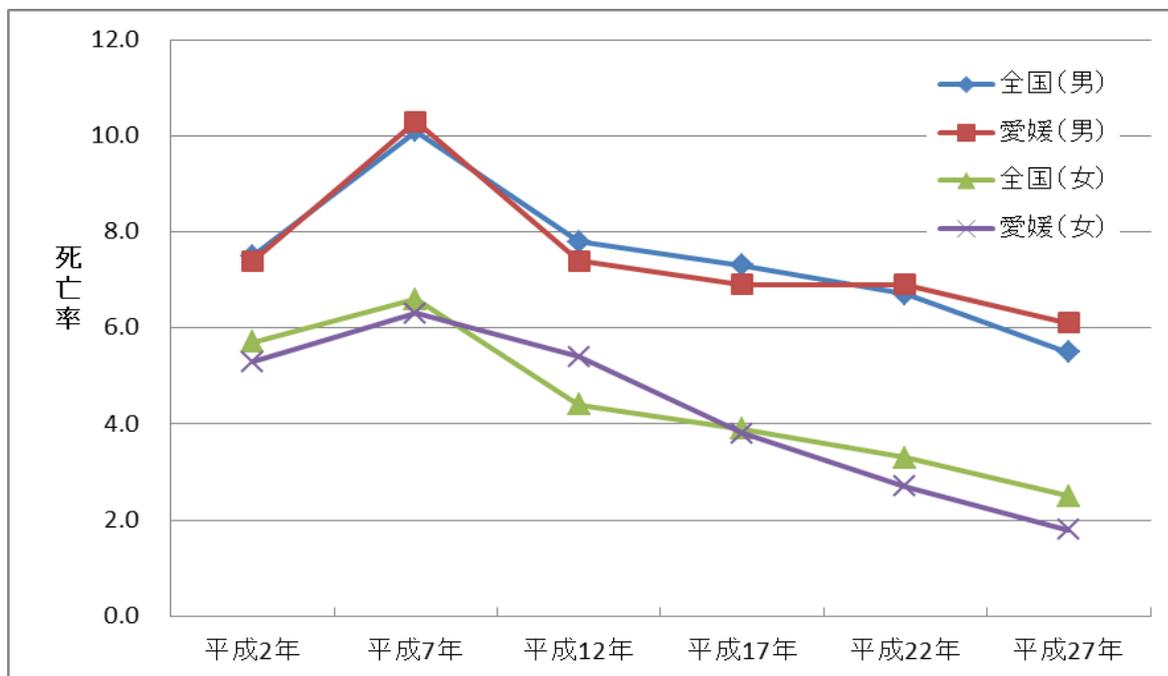
○新規の人工透析導入患者は、約 3 万 7 千人であり、そのうち、糖尿病腎症が原疾患である者は約 1 万 6 千人 (43.7%) となっている。(社)日本透析医学会「我が国の慢性透析療法の現状」(平成 25 年末))

○年間約 1 万 3 千人が糖尿病が原因で死亡し、死亡数全体の 1.0% を占めている。(厚生労働省「平成 27 年人口動態統計 (確定数)」)

2 愛媛県の状況

(1) 患者の状況

○糖尿病の年齢調整死亡率（人口10万対）で見ると、平成7年の男性10.3、女性6.3から減少傾向にあり、平成27年には男性6.1（全国16位）、女性1.8（全国42位）となっている。全国と比較すると、男性は平成22年以降全国平均より高くなっている一方、女性は平成17年以降全国平均より低くなっている。（厚生労働省「平成27年人口動態統計特殊報告」）



○10万人あたりの糖尿病患者の受療率（＝推計患者数÷推計人口×100,000）をみると、平成26年の男性で235（全国213）、女性で228（全国171）となっている。（厚生労働省「患者調査」）

	H17年	H20年	H23年	H26年
全国（男）	194	183	203	213
全国（女）	171	153	168	171
愛媛（男）	270	225	240	235
愛媛（女）	218	195	214	228

(2) 医療提供体制

○平成26年の10万人あたりの糖尿病内科（代謝内科）の医師数（医療施設従事者数）は、主たる診療科のものが全国3.5人に対し愛媛県は2.7人、他の診療科も含むものが全国6.3人に対し愛媛県は5.0人となっている。（厚生労働省「平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査」）

	10万人あたり		実数（人）						
	全国	愛媛県	県計	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
主たる診療科が糖尿病内科医数	3.5	2.7	37	1	6	4	24	0	2
他の診療科を含む糖尿病内科医数	6.3	5.0	70	2	7	8	42	7	4

○人口 10 万人あたりの糖尿病内科（代謝内科）を標榜する一般診療所及び病院数は、松山圏域で比較的 low、八幡浜・大洲圏域はゼロとなっている。（平成 26 年医療施設調査）

	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	県計
一般診療所施設数	0	1	0	4	0	0	5
一般診療所 人口 10 万人あたり	0	0.4	0	0.6	0	0	0.3
病院施設数	1	3	2	4	0	3	13
一般診療所 人口 10 万人あたり	1.1	1.3	1.1	0.6	0	2.4	0.9

○レセプトデータ（NDB）を活用した提供状況の分析をみると、糖尿病内科（代謝内科）の医師数に概ね連動しており、特に糖尿病を起因とする合併症に関して、提供状況に地域差が見られる。（厚生労働省「医療提供体制（SCR）」（医療計画作成支援データブック収載））

項目	区分	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
糖尿病患者	入院	81.5	130.8	127.3	131.5	115.4	91.3
	外来	79.8	104.5	108.2	115.8	100.5	93.5
糖尿病患者（主傷病）	入院	96.1	138.9	146.2	124.1	138.0	117.3
	外来	92.0	103.0	104.3	104.1	113.7	90.0
I 型糖尿病患者	入院	42.6	76.7	111.3	121.6	72.7	110.2
	外来	43.5	88.1	90.0	124.6	52.1	82.5
I 型糖尿病患者（主傷病）	入院	88.8	52.2	105.3	122.9	84.7	206.3
	外来	38.9	74.2	79.8	107.0	53.0	55.8
II 型糖尿病患者	入院	77.4	107.4	68.1	113.8	41.7	96.1
	外来	72.1	106.9	75.4	98.1	70.6	98.8
II 型糖尿病患者（主傷病）	入院	99.2	140.8	92.2	108.6	29.1	140.1
	外来	78.6	102.6	87.4	85.3	74.1	93.5
糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡、低血糖症患者	入院	66.0	84.0	96.8	106.8	63.1	96.9
	外来	54.6	120.2	81.1	110.8	79.6	122.2
糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡、低血糖症患者（主病名）	入院	114.1	79.0	92.1	101.4	27.9	132.6
	外来	68.2	181.9	80.9	137.9	62.6	145.7
糖尿病性網膜症患者	入院	56.3	159.9	92.2	147.3	52.4	90.8
	外来	72.8	99.2	81.0	124.4	89.3	70.9
糖尿病の総合的な管理体制	外来	99.1	17.8	20.0	50.3	86.4	1.4
外来栄養食事指導	外来	97.8	54.5	116.2	90.3	77.6	98.8
血糖自己測定	入院	37.9	156.0	94.8	146.6	90.5	130.3
	外来	79.2	122.9	101.2	114.8	104.8	91.7
	全体	78.4	123.6	101.0	115.5	104.5	92.5
在宅インスリン治療	外来	90.1	119.3	109.0	112.5	98.7	88.0
糖尿病足病変に対する管理	外来	48.6	317.7	102.2	222.7	261.1	29.7

糖尿病透析予防指導管理	外来	11.9	49.4	5.3	4.4	550.9	15.6
糖尿病網膜症手術	入院	4.2	175.0	96.9	203.8	9.2	73.8
	外来	58.1	111.1	124.3	117.8	74.2	48.1
	全体	43.4	128.5	116.9	141.3	56.7	55.0
糖尿病の人工透析	入院	99.7	94.9	128.8	126.9	114.8	91.5
	外来	123.5	102.4	100.8	91.1	82.6	97.7
	全体	119.4	101.1	105.7	97.2	88.4	96.6
人工透析の導入	入院	52.2	79.0	114.6	128.2	124.9	85.6
	外来	113.5	80.1	130.6	88.9	82.1	51.7
	全体	76.8	79.4	121.0	112.4	108.1	72.2
血糖自己測定	外来	79.2	122.9	101.2	114.8	104.8	91.7
HbA1c 検査	入院	106.5	126.3	132.4	132.1	104.5	120.0
	外来	92.5	113.3	109.5	121.8	108.0	98.7
	全体	93.1	113.9	110.6	122.3	107.8	99.8
内服薬	入院	89.7	111.4	106.6	122.8	84.7	103.0
	外来	101.2	97.0	98.6	99.5	100.9	93.1
	全体	100.9	97.4	98.8	100.1	100.4	93.4
インシュリン	入院	70.3	89.8	89.5	119.4	63.5	98.3
	外来	96.9	115.7	109.3	109.7	102.9	91.0
	全体	92.8	111.7	106.3	111.1	96.5	92.1

※SCRは、高齢化の影響を排するため、性・年齢調整を行ったレセプト件数を指標化したもの。

医療機関所在地で集計し、100が全国平均を示す。

(3) 受療動向

○レセプトデータ（NDB）を活用した受療動向（患者の流出入）の状況をみると、宇摩圏域を除く概ね約80%の患者を自圏域で対応できている。宇摩圏域においては、外来等を中心に概ね約70%の患者を自圏域で対応できているが、入院や重篤な患者等は約50%の患者を自圏域で対応できるに留まっている。（厚生労働省「受療動向可視化ツール」（医療計画作成支援データブック掲載））

・糖尿病患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	66.74%	13.62%		4.72%				13.01%	1.13%		0.78%
新居浜・西条	0.69%	88.33%	2.19%	7.66%		0.08%		0.18%	0.09%		0.78%
今治		0.68%	85.93%	7.72%			4.89%	0.13%	0.11%	0.14%	0.40%
松山		0.10%	0.15%	98.85%	0.31%	0.15%			0.24%	0.06%	0.14%
八幡浜・大洲		0.10%		14.61%	81.76%	3.26%	0.10%				0.17%
宇和島				7.47%	1.67%	88.94%			0.48%	1.22%	0.22%

・糖尿病患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	82.26%	8.68%	0.01%	2.06%		0.02%		6.35%	0.11%	0.05%	0.46%
新居浜・西条	0.22%	93.65%	1.48%	4.17%	0.01%	0.01%	0.03%	0.09%	0.02%	0.01%	0.31%
今治	0.01%	0.57%	91.02%	3.80%	0.02%	0.02%	4.05%	0.06%			0.45%
松山	0.00%	0.05%	0.08%	99.38%	0.15%	0.04%	0.04%	0.03%	0.01%	0.03%	0.19%
八幡浜・大洲	0.02%	0.04%	0.02%	7.38%	89.89%	2.39%		0.01%	0.01%	0.01%	0.23%
宇和島		0.03%	0.03%	2.54%	1.12%	95.52%	0.03%	0.04%	0.01%	0.04%	0.64%

・Ⅰ型糖尿病患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	100.00%					
新居浜・西条		100.00%				
今治			87.50%	12.50%		
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				23.08%	76.92%	
宇和島						100.00%

・Ⅰ型糖尿病患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地								
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	その他県外
宇摩	56.06%	9.16%		2.70%				32.08%	
新居浜・西条		88.09%	2.68%	9.23%					
今治			87.81%	6.95%			5.24%		
松山				99.73%					0.27%
八幡浜・大洲				20.85%	72.45%	6.70%			
宇和島				2.30%	1.69%	96.01%			

・Ⅱ型糖尿病患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	57.40%	15.84%		5.66%				20.10%		1.00%
新居浜・西条	1.03%	85.13%	1.91%	11.03%		0.18%				0.72%
今治		0.68%	74.25%	13.84%			10.08%		0.35%	0.80%
松山				99.59%		0.21%				0.20%
八幡浜・大洲				29.14%	62.60%	8.26%				
宇和島				8.92%	1.05%	88.69%			0.90%	0.44%

・Ⅱ型糖尿病患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	70.65%	11.24%		2.79%		0.05%		14.64%	0.12%		0.51%
新居浜・西条	0.24%	92.63%	1.68%	4.85%		0.03%	0.07%	0.15%			0.35%
今治		0.66%	85.83%	6.20%		0.06%	6.28%	0.05%			0.92%
松山		0.05%	0.10%	99.23%	0.20%	0.07%	0.06%	0.05%	0.01%	0.04%	0.19%
八幡浜・大洲		0.04%		10.91%	84.02%	4.73%					0.30%
宇和島		0.07%	0.03%	2.81%	1.33%	94.98%		0.07%	0.03%	0.58%	0.10%

・糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡、低血糖症患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	香川県
宇摩	51.85%						48.15%
新居浜・西条		100.00%					
今治			100.00%				
松山				100.00%			
八幡浜・大洲					100.00%		
宇和島						100.00%	

・糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡、低血糖症患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	香川県
宇摩	52.69%						47.31%
新居浜・西条		93.89%		6.11%			
今治			100.00%				
松山				100.00%			
八幡浜・大洲					82.73%	17.27%	
宇和島						100.00%	

・糖尿病性網膜症患者（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	香川県
宇摩	71.15%	18.27%					10.58%
新居浜・西条		95.52%		4.48%			
今治			91.85%	8.15%			
松山				100.00%			
八幡浜・大洲				43.63%	56.37%		
宇和島				5.05%	6.06%	88.89%	

・糖尿病性網膜症患者（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他 県外
宇摩	79.06%	12.55%		1.24%				7.15%		
新居浜・西条	0.09%	93.79%	2.34%	3.47%				0.12%		0.19%
今治		0.84%	89.47%	5.70%			3.58%			0.41%
松山				99.65%	0.09%	0.04%				0.22%
八幡浜・大洲				13.21%	83.83%	2.87%				0.09%
宇和島			0.18%	3.46%	4.02%	90.61%			1.73%	

・糖尿病の総合的な治療管理体制（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地							
	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	徳島県	その他 県外
宇摩	100.00%							
新居浜・西条		94.95%						5.05%
今治			94.71%					5.29%
松山				99.31%				0.69%
八幡浜・大洲				1.77%	98.23%			
宇和島							100.00%	

・外来栄養食事指導（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県	その他 県外	
宇摩	66.35%	6.79%		0.96%				25.91%		
新居浜・西条	1.37%	86.55%	5.88%	6.20%						
今治			94.76%	2.24%			2.49%		0.50%	
松山				99.71%		0.29%				
八幡浜・大洲				7.49%	88.93%	3.58%				
宇和島				1.47%		98.53%				

・血糖自己測定（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地							
	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県
宇摩	43.24%	35.14%						21.62%
新居浜・西条		92.38%		7.62%				
今治			87.43%	5.46%			7.10%	
松山				100.00%				
八幡浜・大洲				19.52%	74.29%	6.19%		
宇和島						100.00%		

・血糖自己測定（区分：外来）

		医療機関所在地								
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県	その他 県外	
宇摩	69.28%	15.61%		1.99%				13.12%		
新居浜・西条		94.23%	1.65%	3.79%				0.22%	0.11%	
今治		0.35%	88.65%	3.59%			6.32%		1.09%	
松山		0.05%		99.49%	0.23%	0.08%			0.15%	
八幡浜・大洲		0.12%		7.73%	88.50%	3.66%				
宇和島				1.71%	0.40%	97.89%				

・在宅インスリン治療（区分：外来）

		医療機関所在地										
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他 県外	
宇摩	73.09%	12.95%		1.97%				12.00%				
新居浜・西条	0.14%	93.96%	1.63%	3.87%				0.22%				0.18%
今治		0.45%	89.90%	3.45%			5.43%					0.77%
松山		0.04%	0.04%	99.36%	0.22%	0.08%	0.04%		0.03%			0.19%
八幡浜・大洲	0.19%	0.10%		8.39%	87.85%	3.48%						
宇和島				2.06%	0.96%	96.80%					0.19%	

・内服薬（区分：入院）

		医療機関所在地									
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他 県外	
宇摩	69.80%	11.73%		6.18%				11.41%			0.88%
新居浜・西条	1.30%	87.47%	2.05%	8.78%							0.40%
今治		0.79%	84.67%	10.27%			3.86%				0.41%
松山				99.39%	0.15%	0.25%					0.22%
八幡浜・大洲				19.12%	75.98%	4.90%					
宇和島				7.41%		91.57%			1.02%		

・内服薬（区分：外来）

		医療機関所在地										
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他 県外	
宇摩	90.55%	5.48%		0.54%				3.22%	0.06%			0.15%
新居浜・西条	0.22%	96.46%	1.19%	1.78%	0.02%			0.06%		0.01%		0.26%
今治		0.57%	92.10%	1.93%			4.87%	0.08%				0.45%
松山	0.01%	0.07%	0.09%	99.31%	0.20%	0.03%	0.03%	0.03%	0.01%	0.04%		0.18%
八幡浜・大洲		0.02%	0.01%	3.86%	94.15%	1.70%			0.02%			0.24%
宇和島		0.02%	0.05%	1.02%	1.20%	97.05%	0.05%		0.02%	0.33%		0.26%

・インシュリン（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	59.54%	13.60%		6.27%				17.93%	1.50%		1.15%
新居浜・西条	0.91%	82.09%	2.13%	13.78%							1.10%
今治			83.15%	11.31%			5.54%				
松山				99.51%	0.31%	0.18%					
八幡浜・大洲				25.49%	66.52%	7.99%					
宇和島				6.42%		91.84%				1.74%	

・インシュリン（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	80.02%	10.30%		1.23%				8.45%			
新居浜・西条	0.13%	95.38%	1.54%	2.52%				0.24%			0.19%
今治		0.29%	90.92%	2.37%			5.63%				0.79%
松山		0.04%	0.09%	99.32%	0.23%	0.05%	0.04%		0.04%		0.19%
八幡浜・大洲	0.19%	0.10%		6.19%	90.30%	3.10%					0.12%
宇和島				1.24%	0.75%	97.71%				0.30%	

※受療動向で対象となるレセプトは、国保、退職国保及び後期高齢者のみ。（カバー率：全体で約 55%、65 歳以上で約 90%、75 歳以上で 100%）

精神保健医療の本県の現状について

1 統合失調症及びうつ病

(1) 統合失調症

平成 26 年に医療機関を継続的に受療している統合失調症の外来患者数は全国 1,488 千人、本県 17 千人となっている。また、全国の入院患者数は 341 千人、本県 4,644 人となっている。なお、統合失調症患者における治療抵抗性統合失調症治療薬の使用率は、全国 0.11%に対して、0.02 ポイント高い 0.13%となっている。

項目	愛媛県	全国
統合失調症を入院診療している精神病床を持つ病院数	22	1,599
統合失調症を外来診療している医療機関数	85	7,605
治療抵抗性統合失調症治療薬を精神病床の入院で使用した病院数	0-2	155
治療抵抗性統合失調症治療薬を外来で使用した医療機関数	0-2	132
統合失調症の精神病床での入院患者数 …(A)	4,644	341,456
統合失調症外来患者数(1回以上) …(B)	18,353	1,577,275
統合失調症外来患者数(継続)	17,115	1,488,006
治療抵抗性統合失調症治療薬を使用した入院患者数(精神病床) …(C)	20	1,176
治療抵抗性統合失調症治療薬を使用した外来患者数(1回以上) …(D)	0-9	937
治療抵抗性統合失調症治療薬を使用した外来患者数(継続)	0-9	924
統合失調症患者における治療抵抗性統合失調症治療薬の使用率(C+D)/(A+B)	0.13%	0.11%

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(2) うつ病・躁うつ病

平成 26 年に医療機関を継続的に受療しているうつ病・躁うつ病の外来患者数は全国 2,744 千人、本県 32 千人となっており、近年は増加にある。本県における 10 万人当たりの自殺者数は全国で高いほうから 14 位の 18.3 人となっている。自殺の背景にうつ病が潜んでいることがあるが、本人が受診を望まないことも少なくない。特に高齢者の場合では認知症など他の精神疾患と混同しやすいため、家族や地域の人、かかりつけ医が確実に精神科医療機関への受診へとつなぐ必要がある。

項目	愛媛県	全国
うつ・躁うつ病を入院診療している精神病床を持つ病院数	22	1,597
うつ・躁うつ病を外来診療している医療機関数	92	8,385
閉鎖循環式全身麻酔の精神科電気痙攣療法を実施する病院数	0-2	271
認知行動療法を外来で実施した医療機関数	4	250
うつ・躁うつ病の精神病床での入院患者数	2,179	189,955
うつ・躁うつ病外来患者数(1回以上)	36,144	3,051,073
うつ・躁うつ病外来患者数(継続)	32,210	2,744,150
閉鎖循環式全身麻酔の精神科電気痙攣療法を受けた患者数	0-9	3,638
認知行動療法を外来で実施した患者数(1回以上)	110	10,184
認知行動療法を外来で実施した患者数(継続)	96	6,602

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

2 認知症

全国における認知症高齢者の推計は平成 24 年で 462 万人と 65 歳以上高齢者の約 7 人に 1 人が該当すると推計されている。また、高齢化の進展に伴い平成 37 年には、675 万人と約 5 人に 1 人に上昇すると見込まれている。本県における認知症

患者の推計は、平成 29 年で 5.4 万人、平成 37 年で 6.5 万人である。なお、平成 26 年に医療機関で継続的に精神療法を受療している認知症の外来患者数は全国 41 万人、本県 6 千人となっている。

認知症の専門的医療の提供体制を強化するため、平成 25 年から認知症疾患医療センター運営事業を開始し、愛媛大学医学部附属病院を中核センターとし、6つの地域拠点センター、合わせて7つの地域型のセンターを設置し、医療相談、鑑別診断、治療方針の選定、関係機関との連携及び専門医療関係者を対象とした研修を開催している。

このほか市町に設置される認知症初期集中支援チームにより、認知症の人が早期の診断や周辺症状への対応を含む治療等を受け、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう重層的な支援が展開されている。

【認知症患者の推計】

(万人)

	H24	-	H27	-	-	H32	H37
全 国	462	-	517	-	-	602	675
	15.0%	-	15.7%	-	-	17.2%	19.0%

(日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究 (H26年度))

(人)

	-	H26	H27	H28	H29	H32	H37
愛媛県	-	50,470	52,833	53,302	54,047	61,200	64,800
	-	12.3%	12.6%	12.5%	12.5%	13.9%	14.7%

(県長寿介護課作成)

項目	愛媛県	全国
認知症を入院診療している精神病床を持つ病院数	22	1,585
認知症を外来診療している医療機関数(精神療法に限定)	80	6,554
認知症を外来診療している医療機関数(精神療法に限定しない)	769	58,164
認知症外来患者数(1回以上)(精神療法に限定)	6,712	475,552
認知症外来患者数(継続)(精神療法に限定)	5,687	410,101
認知症外来患者数(1回以上)(精神療法に限定しない)	34,685	2,318,621
認知症外来患者数(継続)(精神療法に限定しない)	30,102	2,020,665

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

3 専門医療（児童・思春期、発達障害、心的外傷後ストレス障害、摂食障害、てんかん）

(1) 児童・思春期精神疾患

平成 26 年に医療機関を継続的に受療している 20 歳未満の精神疾患を有する外来患者数は 225 千人であり、本県は 2 千人となっている。

本県における児童・思春期の精神科医療に対する専門医療機関・専門医が極めて少ないことから今後は児童・思春期精神疾患に対応できる専門職の養成や多職種連携・多施設連携の推進を図る必要がある。

項目	愛媛県	全国
20歳未満の精神疾患を入院診療している精神病床を持つ病院数	15	994
20歳未満の精神疾患を外来診療している医療機関数	75	6,915
知的障害を入院診療している精神病床を持つ病院数	10	361
知的障害を外来診療している医療機関数	28	2,262
児童・思春期精神科入院医療管理料を算定された精神病床を持つ病院数	0-2	32
20歳未満の精神疾患の精神病床での入院患者数	66	6,796
20歳未満の精神疾患外来患者数(1回以上)	3,088	370,864
20歳未満の精神疾患外来患者数(継続)	1,937	225,398
知的障害の精神病床での入院患者数	13	808
知的障害外来患者数(1回以上)	174	47,910
知的障害外来患者数(継続)	120	34,924
児童・思春期精神科入院医療管理料を算定された患者数	0-9	2,241

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(2) 発達障害

平成 26 年に医療機関を継続的に精神療法を受療している発達障害の外来患者数は全国 227 千人、本県 2 千人となっている。発達障害については、近年研究が進められているところであるが、不明な点も多く、潜在的な患者が存在する可能性もあるため、県民への普及啓発にも努め、医療につなげることが求められる。

項目	愛媛県	全国
発達障害を入院診療している精神病床を持つ病院数	17	1,171
発達障害を外来診療している医療機関数(精神療法に限定)	71	5,763
発達障害を外来診療している医療機関数(精神療法に限定しない)	326	25,454
発達障害の精神病床での入院患者数	85	7,661
発達障害外来患者数(1回以上)(精神療法に限定)	2,092	278,066
発達障害外来患者数(継続)(精神療法に限定)	1,791	227,642
発達障害外来患者数(1回以上)(精神療法に限定しない)	7,352	711,972
発達障害外来患者数(継続)(精神療法に限定しない)	5,837	577,912

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(3) 心的外傷後ストレス障害 (PTSD)

平成 26 年に医療機関を継続的に受療している PTSD の外来患者数は、全国 8,541 人、本県 85 人であり、全国的に増加傾向にある。本県でも平成 13 (2001) 年に起きたえひめ丸事故の生還者にも心的外傷後ストレス障害を発症した事例が知られている。また、災害や事故、犯罪のような生命の危機に遭遇する状況だけでなく、広義ではいじめや虐待等でも生じ得るとされており、もっと身近なものとして考える必要がある。

項目	愛媛県	全国
PTSDを入院診療している精神病床を持つ病院数	0-2	216
PTSDを外来診療している医療機関数	28	2,458
PTSDの精神病床での入院患者数	0-9	381
PTSD外来患者数(1回以上)	107	10,325
PTSD外来患者数(継続)	85	8,541

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(4) 摂食障害

平成 26 年に医療機関を継続的に精神療法を受療している摂食障害の外来患者数は全国 36 千人、本県 414 人である。比較的、若年層に多くみられ、医療機関の受療の有無にかかわらず、摂食障害患者は、女子中学生の 100 人に 1～2 人、男子中学生の 1,000 人に 2～5 人いると推計されている(厚生労働科学研究調べ)。

項目	愛媛県	全国
摂食障害を入院診療している精神病床を持つ病院数	17	1,174
摂食障害を外来診療している医療機関数(精神療法に限定)	57	4,965
摂食障害を外来診療している医療機関数(精神療法に限定しない)	283	20,280
摂食障害入院医療管理加算を算定された病院数	0-2	54
摂食障害の精神病床での入院患者数	198	10,087
摂食障害外来患者数(1回以上)(精神療法に限定)	485	42,680
摂食障害外来患者数(継続)(精神療法に限定)	414	36,387
摂食障害外来患者数(1回以上)(精神療法に限定しない)	4,040	228,943
摂食障害外来患者数(継続)(精神療法に限定しない)	3,228	176,749
摂食障害入院医療管理加算を算定された患者数	0-9	488

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(5) てんかん

平成 26 年に医療機関を継続的に精神療法により受療しているてんかんの外来患者数は全国 472 千人、本県 6 千人である。また、厚生労働科学研究では、医療機関の受療の有無にかかわらず、てんかん患者は 1,000 人あたり 7.71 人いると推計しており、珍しい疾患ではない。

項目	愛媛県	全国
てんかんを入院診療している精神病床を持つ病院数	22	1,593
てんかんを外来診療している医療機関数(精神療法に限定)	83	7,074
てんかんを外来診療している医療機関数(精神療法に限定しない)	668	52,255
てんかんの精神病床での入院患者数	1,967	115,685
てんかん外来患者数(1回以上)(精神療法に限定)	6,054	511,749
てんかん外来患者数(継続)(精神療法に限定)	5,582	472,965
てんかん外来患者数(1回以上)(精神療法に限定しない)	24,423	1,872,649
てんかん外来患者数(継続)(精神療法に限定しない)	21,776	1,676,664

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

4 依存症

(1) アルコール依存症

平成 26 年に医療機関を継続的に精神療法により受療しているアルコール依存症の外来患者数は全国 79 千人、本県 870 人である。他方、厚生労働科学研究班は、医療機関の受療の有無にかかわらず、アルコール依存症者は全国で約 58 万人いると推計（平成 25 年）している。アルコール依存症は、本人や家族にとって疾患であるとの認識がもちにくいことが指摘されており、普及啓発も課題である。

なお、本県では平成 29 年 3 月を目途に県アルコール健康障害対策計画を策定し、関係機関の連携により各種施策を展開していく予定としている。

項目	愛媛県	全国
アルコール依存症を入院診療している精神病床を持つ病院数	21	1,466
アルコール依存症を外来診療している医療機関数	66	5,236
重度アルコール依存症入院医療管理加算を算定された精神病床を持つ病院数	7	203
アルコール依存症の精神病床での入院患者数	318	25,548
アルコール依存症外来患者数(1回以上)	1,012	92,054
アルコール依存症外来患者数(継続)	870	78,681
重度アルコール依存症入院医療管理加算を算定された患者数	105	9,189

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(2) 薬物依存症

平成 26 年に医療機関を継続的に受療している薬物依存症の外来患者数は全国 5,197 人、本県 31 人である。薬物依存症については、疾患であるという認識が希薄であること、社会的な差別・偏見が強いこと、刑事事件の対象となり得ることから極めて医療につながりにくい特殊な側面を有している。このため、適切な保健医療サービス等が提供されるよう、地域の医療を充実させるとともに、保健・福祉機関及び民間支援団体、保護観察所との緊密な連携体制の強化が求められる。

項目	愛媛県	全国
薬物依存症を入院診療している精神病床を持つ病院数	8	494
薬物依存症を外来診療している医療機関数	17	1,719
薬物依存症の精神病床での入院患者数	10	1,689
薬物依存症外来患者数(1回以上)	33	6,636
薬物依存症外来患者数(継続)	31	5,197

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(3) ギャンブル等依存症

平成 26 年に医療機関を継続的に受療しているギャンブル等依存症患者の外来患者数は全国 1,241 人、本県 11 人であり、患者数は極めて少ないものの、平成 29 年 9 月に厚生労働省が公表した全国調査では、過去 1 年以内で「ギャンブル等依存症が疑われる」とされた者が 70 万人（0.8%）、生涯を通じてギャンブル等依存症が疑われる者の割合は、320 万人（3.6%）と推計しており、医療機関を受診していない潜在的な患者が一定数存在するとみられる。

項目	愛媛県	全国
ギャンブル等依存症を入院診療している精神病床を持つ病院数	0-2	66
ギャンブル等依存症を外来診療している医療機関数	4	416
ギャンブル等依存症の精神病床での入院患者数	0-9	205
ギャンブル等依存症外来患者数(1回以上)	16	2,019
ギャンブル等依存症外来患者数(継続)	11	1,241

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

5 高次脳機能障害

高次脳機能障害者は、医療機関の受領の有無は問わず全国に 27 万人いると推計されている（厚生労働省調べ。）。本県では、平成 19 年 3 月の調査で、3,686 人との推計結果を算出している（愛媛県「高次脳機能障害実態調査」）。病気や事故による脳の損傷により記憶障害、注意障害、遂行機能障害等を起こす障害であるが、的確な診断が難しいことが高次脳機能障害者の実態把握の困難さに結びついている。

県では、平成 20 年度から支援拠点機関 1 箇所に加えて、6 つの医療圏域ごとに相談支援協力機関を指定したほか、保健所による訪問相談、関係機関で構成される支援連絡協議会を設置し、効果的な支援に向けた取組みを実施している。

項目	愛媛県	全国
高次脳機能障害支援拠点機関数	1	H30.3月に算出予定

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

6 精神科救急及び身体合併症

(1) 精神科救急

全国の精神科救急医療体制整備事業報告に基づく平成 27 年度の夜間・休日の受診件数は約 4.5 万件、入院件数は約 2 万件となっており、平成 22 年度の約 3.6 万件、約 1.5 万件と比較して増加傾向にある。本県においては、精神科救急医療情報センター（心と体の健康センター）を整備し、中予圏域において 7 つの精神科病院による輪番体制で救急対応を行っているが、平日は 17～22 時まで、休日は 9～17 時までと時間限定で、24 時間体制となっていないこと、中予地域だけでの実施であることが課題である。相談対応件数としては、近年は年間 200～350 件程度で推移している。

なお、救急ではないが、中予圏域の身体科二次救急病院を受診した患者のうち精神疾患を併せもつ者については、上記の救急時間帯が経過した後も一定の条件下、24 時間体制で精神科の当番病院が対応する仕組みを構築し、平成 29 年 10 月に事業を開始した。将来的には、精神科救急 24 時間 365 日体制の整備が課題である。

項目	愛媛県	全国
深夜・休日に精神科入院した病院数	H30.3月に算出予定	H30.3月に算出予定
深夜・休日に精神科入院した患者数	H30.3月に算出予定	H30.3月に算出予定
精神疾患の救急車平均搬送時間	H30.3月に算出予定	H30.3月に算出予定

(出典：平成 26 年版精神保健福祉資料)

(2) 身体合併症

救命救急センターの入院患者を対象とした厚生労働科学研究では、12%の入院患者は何らかの精神科医療を必要とし、2.2%の入院患者は身体疾患と精神疾患ともに入院による治療を必要とするとの報告がある。また、消防庁の調査では、平成26年中の救急出動件数において、入電から帰署までに2時間以上を要した事案のうち「精神疾患を背景に有する患者」が12,105件あり、「在宅独居・施設入所の高齢者」の13,007件に次いで搬送時間を延伸する要因となっている。

本県では前述のとおり、夜間及び休日の一部時間帯で二次救急精神科医療支援体制整備事業を開始しており、身体合併症患者で精神科の診療が必要な患者への適切な医療提供体制の確保に向けた体制の構築を前進させたところである。

7 自殺対策

わが国の自殺者数は、平成10年以降、14年連続して3万人を超える状態が続いていたが、24年に3万人を下回り、28年は2万1,897人と5年連続で3万人を下回っている（警察庁統計）。本県でも、平成15年の450人をピークに、概ね減少傾向にあり、平成28年は268人にまで減少している。しかしながら、10万人当たりの自殺者数は、全国で高いほうから14番目となる18.3人であり、依然として高い水準にある。

このため、本県では平成29年3月に自殺対策計画を策定し、自殺対策を総合的に推進しているところである。高齢者対策として、かかりつけ医療機関と精神科医療機関の連携強化、自殺未遂者対策として保健所等と救急医療機関等との連携強化などについて今後整備を図っていくこととしている。

指 標	愛媛県	全国	出 典
自殺による死亡数（人）	268	21,897	平成28年警察庁統計
自殺死亡率（人口10万対）	18.3	16.8	平成28年人口動態統計月報年計

8 災害精神医療

災害派遣精神医療チーム（DPAT）は、県心と体の健康センター等による計6チームが編成され、このほかにも精神科病院を中心に、登録者164人を擁する状況となっている（平成29年7月末現在）。平成28年4～5月にかけては、熊本地震への応援として約1か月にわたり計4班を派遣し、被災地における精神科患者の訪問診療、避難所の巡回相談等を実施した。今後は登録者の確保、被害想定訓練や資器材の整備など平常時からの対応、本県が被災した場合に備え、各地域におけるDPAT活動が円滑に行えるよう体制の強化・拡充を進めることとしている。

救急医療の現状等について

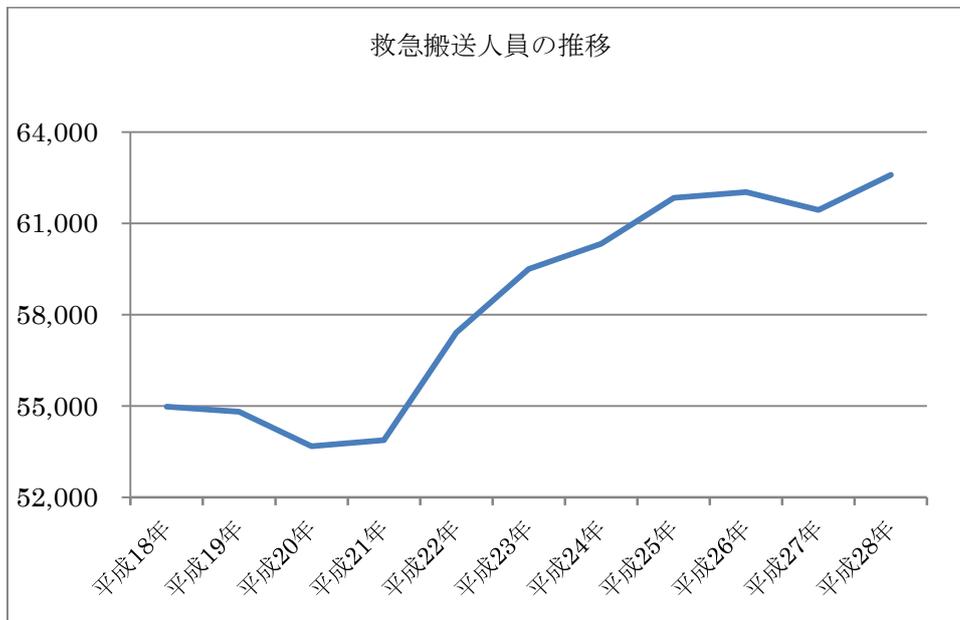
- ・ 本県の救急医療体制は、救急患者の増加や医師不足等により極めて厳しい状況が継続
- ・ 病院前救護体制の充実や限られた医療資源の活用を図り、効率的・効果的な救急医療体制の整備が必要

1 病院前救護体制

- 県内の14消防機関では、平成28年4月時点で、救急隊員704人、救急車94台を配置し、救急患者を救急医療機関へ搬送しています。
このうち、救急救命士は345人、高規格救急自動車は85台で、救急隊の救急救命士の常時運用率は89.3%となっており、全国と同水準（89.3%）となっている。

項目	平成25年4月1日時点	平成28年4月1日時点
救急隊員数	730人	704人
うち救急救命士有資格者	300人	345人
救急救命士の常時運用率	77.3%	89.3%

- 救命救急士の救命処置については、消防や救急医療機関等の連携のもと、愛媛県メディカルコントロール協議会及び東・中・南予に設置されている地域メディカルコントロール協議会において、医学的な見地からその質が管理（メディカルコントロール）されている。
- 近年、救急医療の需要は増加傾向にあり、本県の救急搬送人員は、平成17年の54,746人から平成27年の61,449人へと10年間で約1.1倍に増加している。



- 平成27年の搬送人員（61,449人）のうち、軽症が49.5%を占めており、全国平均と同程度の水準（49.4%）となっている。

【傷病程度別搬送人員及び構成比（平成27年）】

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
人数	1,247	8,574	21,169	30,439	20	61,449
割合	2.0%	14.0%	34.4%	49.5%	0.0%	100.0%

- 県内の消防機関と連携して、住民等に対する救命講習会等の受講促進を図っているところであり、一般市民が心肺蘇生を実施した件数は増加傾向、一般市民により除細動が実施された件数は横ばいで推移している。

年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
一般市民が心肺蘇生を実施した件数	120	123	150	135	149	160	130	178	194	187
一般市民により除細動が実施された件数	3	5	11	7	14	6	17	14	11	15

- 県では、平成 29 年 2 月から、県立中央病院を基地病院（運航主体）、愛媛大学医学部附属病院を基幹連携病院（搭乗医療スタッフの派遣等）として、ドクターヘリの運航を開始し、平成 29 年 9 月末現在で、159 件の出動があった。

なお、より効果的・効率的な運航体制の構築に向け、出動要請を行う消防機関等との訓練を重ねるとともに、運航調整委員会や症例検討会を開催し、関係者との連携強化を図っている。

【愛媛県ドクターヘリの運航体制】

- ・ 基 地 病 院：県立中央病院
- ・ 基 幹 連 携 病 院：愛媛大学医学部附属病院（搭乗医療スタッフの協力）
- ・ 運 航 委 託 業 者：中日本航空㈱・愛媛航空㈱共同事業体
- ・ 使 用 機 種：EC135型（エアバスヘリコプターズ社製造）
運航委託業者保有機を使用
パイロット、整備士等の確保と併せて委託
- ・ 出 動 範 囲：県内全域
- ・ 運 航 時 間：365日、原則、午前8時30分から午後5時15分まで

○愛媛県ドクターヘリ運航状況(月別)【速報値】

平成29年	要請 件数	出動 件数	出動件数内訳			未出動 件数	未出動件数内訳				
			現場 救急	施設間 搬送	出動後 キャンセル		待機 時間外	天候 不良	重複 要請	出動前 キャンセル	その他
2月【運航開始】	10	5	3	2		5		3		1	1
3月	31	28	15	12	1	3		1	1	1	
4月	27	23	16	6	1	4	1	1		2	
5月	31	27	16	9	2	4	1	1	1	1	
6月	20	15	8	5	2	5	1	3		1	
7月	26	21	15	6		5	1	3		1	
8月	24	21	12	8	1	3		1	2		
9月	23	19	7	9	3	4		3		1	
計	192	159	92	57	10	33	4	16	4	8	1



2 救急医療体制

- 救急医療は、県民が安心して生活するうえで欠くことのできない医療分野であり、県及び市町では、傷病の程度に応じて適切な医療を受けることができるよう、初期、二次、三次の重層的な救急医療体制を整備している。

しかしながら、近年の救急患者の増加や医師不足等により、救急医療機関の負担も大きく、地域によっては、救急医療体制の維持・確保が困難になりつつある。

【初期救急医療体制】

本県では、8か所の休日夜間急患センターで、主に休日又は夜間の初期救急患者に対して、内科を中心とした診療を行っているほか、郡市医師会を単位に13地区で在宅当番制を実施しており、主に休日日中に初期救急患者の外来診療を行っている。

なお、今治地区では、平成27年度から、病院群輪番制参加医療機関（当番病院）に休日夜間急患センターを併設し、初期救急患者にも対応している。

【二次救急医療体制】

県内の6医療圏全てで病院群輪番制を実施しており、現在、47病院が病院群輪番制に参加している。

宇摩圏域及び今治圏域では、平成27年度に、病院群輪番制参加医療機関が減少している。

一方で、松山圏域では、平成28年度から、愛媛医療センターが新たに参加するとともに、県立中央病院が輪番病院の後方支援を行う体制に変更している。

また、宇和島圏域では、平成29年1月から、宇和島徳洲会病院を追加した3病院体制（従来は2病院体制）で輪番制を実施している。

なお、今治圏域等においては、脳梗塞患者を迅速に搬送するため「t-PAホットライン」を実施するなど、病院群輪番制を支援・補完するシステムを別途構築している。

【三次救急医療体制】

本県では、東・中・南予に1か所ずつ整備している救命救急センターと、愛媛大学医学部附属病院を、県医療計画において三次救急医療施設として位置付けている。

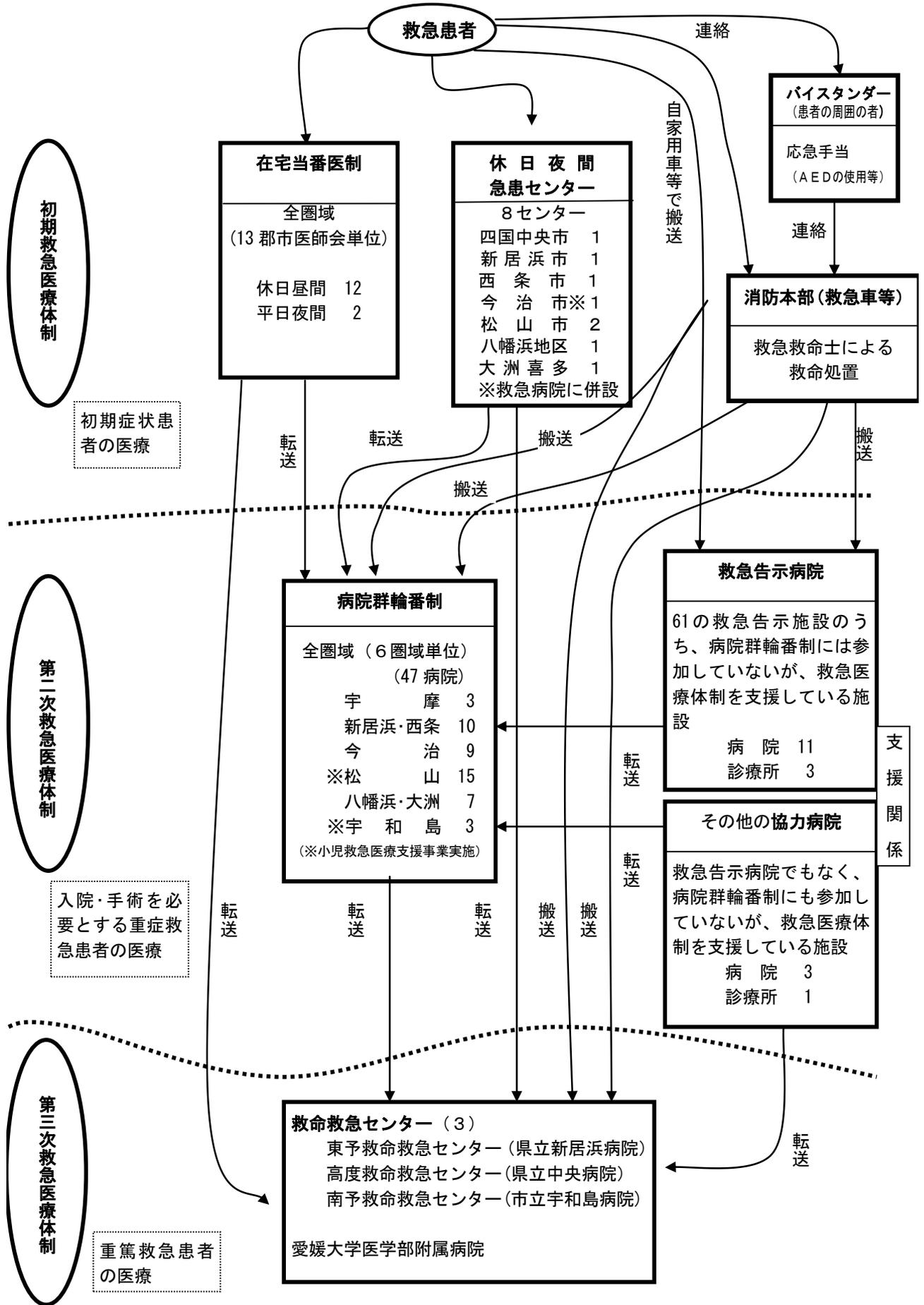
平成25年度には、県立中央病院救命救急センターを特殊疾病患者（広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等）に対応する高度救命救急センターに指定している。

〔参考〕 救急医療機関の状況

区分	平成25年度 (第6次計画初年度)	平成29年度
初期救急医療施設数 (休日夜間急患センター)	8	8
二次救急医療機関数	47	47
三次救急医療機関数	4	4

愛媛県救急医療体制の概要

(平成29年4月1日現在)



初期及び二次救急医療体制

平成29年4月1日現在 [NO. 1]

圏域	初期救急医療体制		二次救急医療体制		三次救急医療体制	
	在宅当番医制	休日夜間急患センター	病院群輪番制参加医療機関			その他の施設
			参加医療機関名 (※は救急告示施設)	実施体制		施設名 (※は救急告示施設)
宇摩地区 (四国中央市)	宇摩医師会	四国中央市 急患医療センター	※ HITO病院 ※ 長谷川病院 ※ 四国中央病院	3病院で輪番		
			計3病院 (その他3)			
新居浜・西条地区 (新居浜市) (西条市)	新居浜市医師会	新居浜市医師会内科 小児科急患センター	※ 住友別子病院 ※ 十全総合病院 ※ 県立新居浜病院 ※ 愛媛労災病院	地区内を 新居浜、西条の 2地区に分け、 2班で輪番	※ 立花病院 ※ 循環器科林病院	
			西条市医師会		西条市休日夜間 急患センター	※ 済生会西条病院 ※ 西条中央病院 ※ 村上記念病院 ※ 横山病院 ※ 西条市立周桑病院 ※ 西条市民病院
	計10病院 (旧国1、公立2、その他7)	救急告示施設 2 (その他2)				
今治地区 (今治市) (越智郡)	今治市医師会	今治市医師会市民病院 休日夜間急患センター ※H27.4.1から、急患セン ターを病院群輪番制参加 医療機関に併設	※ 県立今治病院 ※ 済生会今治病院 ※ 白石病院 ※ 木原病院 ※ 今治第一病院 ※ 今治セントラル病院 ※ 広瀬病院 ※ 瀬戸内海病院 ※ 今治市医師会市民病院	9病院で輪番	※ 三木病院 ※ 放射線第一病院 ※ 片木脳神経外科 ※ 光生病院	
			計9病院 (公立1、その他8)		救急告示施設 4 (その他4)	

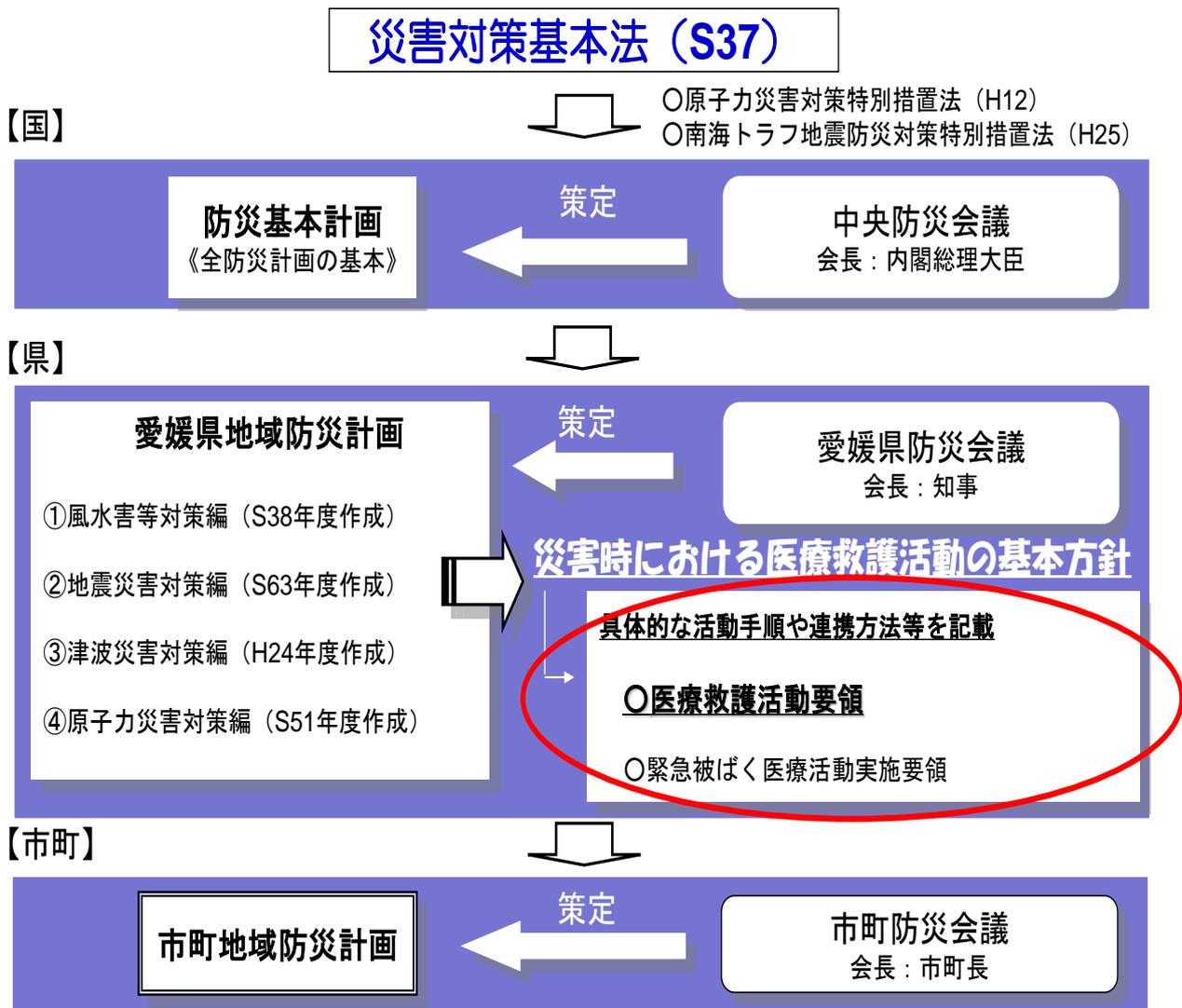
圏 域	初期救急医療体制		二 次 救 急 医 療 体 制			三次救急医療体制
	在宅当番医制	休日夜間急患センター	病院群輪番制参加医療機関		その他の施設	
			参加医療機関名 (※は救急告示施設)	実施体制	施設名 (※は救急告示施設)	
松山地区 (松山市) (伊予市) (東温市) (上浮穴郡) (伊予郡)	東温市医師会	松山市急患医療センター			※ 愛媛大学医学部附属病院	県立中央病院 高度救命救急センター 愛媛大学医学部 附属病院
	松山市医師会	松山市医師会休日 診療所	※ 松山赤十字病院 ※ 松山市民病院 ※ 奥島病院 ※ 南松山病院 ※ 野本記念病院 ※ 松山城東病院 ※ 済生会松山病院 ※ 浦屋病院 ※ 平成脳神経外科病院 ※ 梶浦病院 ※ 松山笠置記念心臓血管病院 ※ 渡辺病院 ※ 愛媛生協病院 ※ 愛媛医療センター ※ 県立中央病院	14病院で輪番 (1日1～3病院) に加えて、 県立中央病院が 後方支援	なかじま中央病院	
		伊予医師会				
		上浮穴郡医師会			※ 久万高原町立病院 ※ 西本医院	
			計15病院 (旧国1、公立1、その他13)		救急告示施設 3 (旧国1、公立1、その他1) 救急協力施設 1 (その他1)	
八幡浜・大洲地区 (八幡浜市) (大洲市) (西予市) (喜多郡) (西宇和郡)	喜多医師会	大洲喜多休日夜間急患 センター	※ 大洲中央病院 ※ 加戸病院 ※ 市立大洲病院 ※ 大洲記念病院	当地区を八幡浜、 大洲・喜多、西予 の3地区に分け、 3班で輪番	※ 喜多医師会病院 ※ 神南診療所	南予救命救急 センター (市立宇和島病院)
	八幡浜医師会	八幡浜地区施設事務組合 一次救急休日・夜間診療所	※ 市立八幡浜総合病院			
	西予市医師会		※ 西予市立野村病院 ※ 西予市立西予市民病院			
			計7病院 (公立4、その他3)		救急告示施設 2 (その他2)	
宇和島地区 (宇和島市) (北宇和郡) (南宇和郡)	宇和島医師会		※ 市立宇和島病院 ※ JCHO宇和島病院 ※ 宇和島徳洲会病院	3病院で輪番	加藤整形外科 ※ 宇和島市立吉田病院 ※ 宇和島市立津島病院 鬼北町立北宇和病院	愛媛県立南宇和病院 愛南町国保一本松病院
	南宇和郡医師会				※ 愛媛県立南宇和病院 愛南町国保一本松病院	
			計3病院 (公立1、その他2)		救急告示施設 3 (公立3) 救急協力施設 3 (公立2、その他1)	
計6地区	13郡市医師会	急患センター 8 (うち1は併設)	参加病院47 (旧国2、公立9、その他36)		救急告示施設 14 (旧国1、公立4、その他9) 救急協力施設 4 (公立2、その他2)	

災害医療及び原子力災害医療の現状等について

1 災害時医療について

○災害時における医療救護活動は、原則として市町が実施し、県は「愛媛県地域防災計画」に基づき、市町を補完して次の活動を行うこととされている。

- ・救護班の派遣（編成：医師1～2人、保健師・看護師4～5人、事務職員1～2人）
- ・救護病院・災害拠点病院等への患者収容の調整
- ・他の都道府県や国に対する患者受入の要請
- ・広域災害・救急医療情報システム（EMIS）による情報収集・発信 等

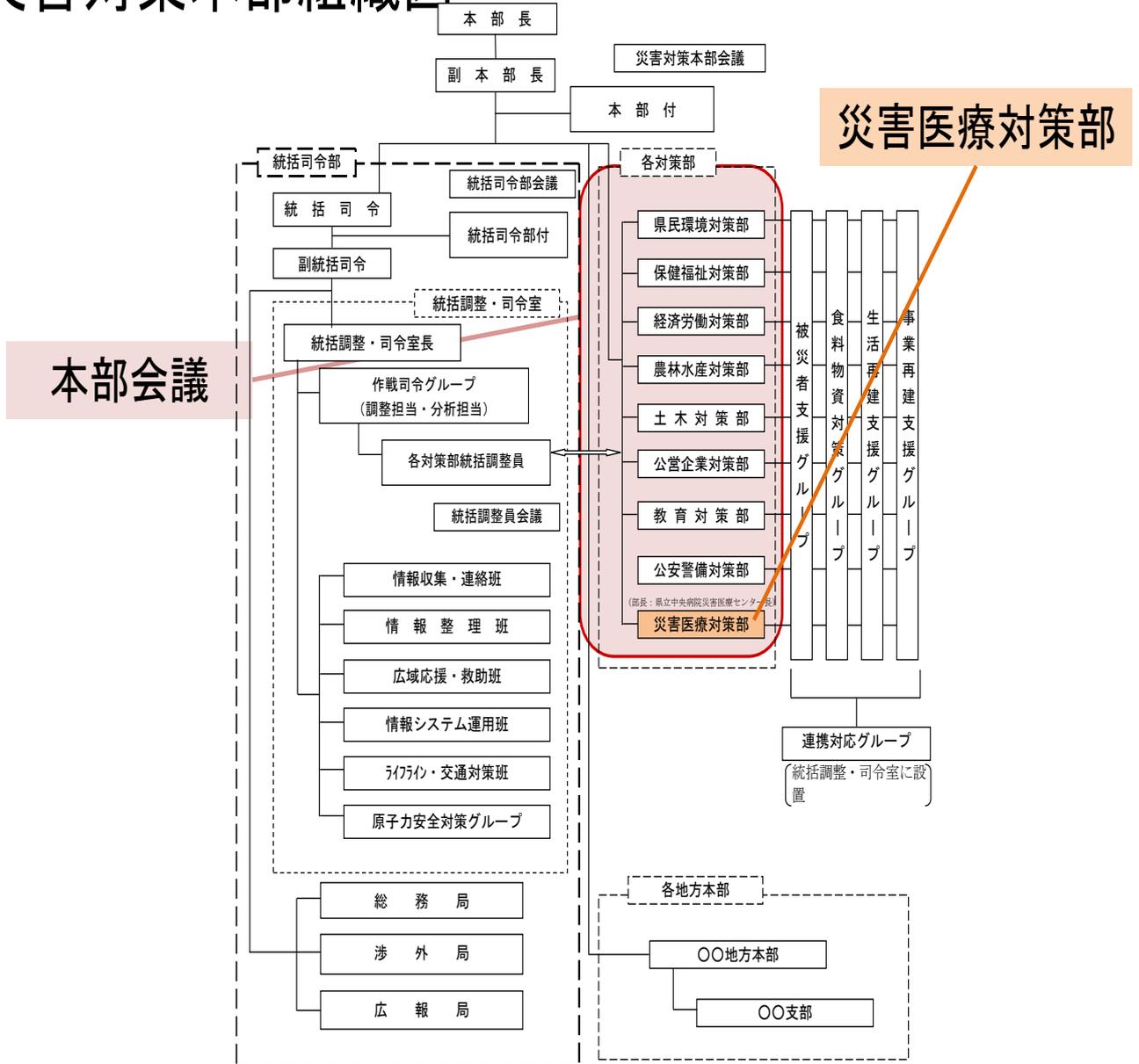


2 県災害対策本部について

○災害医療コーディネータの災害対策本部への参画

災害基幹拠点病院（県立中央病院）のコーディネータ（統括コーディネータ）が、災害医療対策部長として災害対策本部に参画し、全県的な医療救護活動のコーディネータや災害対策本部の各対策部間、関係機関間の調整等を実施。

災害対策本部組織図



3 関係機関による調整会議の設置

- 災害時に、各都道府県、医師会、大学病院等、多様なルートで派遣される救護班等の派遣調整や必要な支援を円滑に行なうため、関係機関が定期的に参集し、情報共有を行なうための調整会議を設置。

< 愛媛県災害医療対策協議会 >

■構成機関

- ◇災害（基幹）拠点病院
- ◇愛媛県医師会、愛媛県歯科医師会、愛媛県看護協会、愛媛県薬剤師会、日本赤十字社愛媛県支部
- ※必要に応じて、防災関係機関（県警、消防、自衛隊）等の参画を求める。

■設置・運営方針

- ◇災害医療対策部に設置する。
- ◇同協議会における調整内容や対応方針等を踏まえ、災害対策本部内の各対策部や関係機関との間で各種調整、要請を行なう。

■主な任務

- ◇被災地の医療ニーズや医療救護活動の実施状況等に係る情報共有
- ◇県外からの救護班等の派遣調整 等

< 地域災害医療対策会議 >

■構成機関

- ◇災害拠点病院、公立病院、郡市医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、消防機関、市町、保健所 等

■設置・運営方針

- ◇医療圏域単位で、各保健所に設置する。
- ◇平時から圏域内における災害時の医療救護活動に係る方針検討等を行う。なお、災害時は、本会議の構成機関により情報交換・共有を進め、効果的な医療救護活動を展開する。

■主な任務

- ◇平時から圏域内の関係機関の連携体制の構築
- ◇圏域内の二次救急医療機関等の立地、災害時機能等（非常用電源、貯水槽、備蓄品の有無等）に係るアセスメント
- ◇圏域内の避難所のアセスメント（施設の広さ、冷暖房・調理設備等の設備状況、トイレ・寝具等の生活環境等）
- ◇圏域内の医療機関、郡市医師会等関係機関、市町の災害医療担当者によるEMIS操作研修・入力訓練の実施
- ◇医療ニーズの把握や救護班のコーディネートを円滑に行うためのゾーニング手法の検討

4 災害拠点病院

○目的

次の災害医療支援機能を有し、24時間対応可能な緊急体制を確保する災害（基幹）拠点病院を整備することにより災害時の医療を確保する。

- (1)災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための診療機能
- (2)患者等の受入れ及び搬出を行う広域搬送への対応機能
- (3)DMATの派遣機能
- (4)地域の医療機関への応急用資機材の貸出し機能

○設置方針

- (1)災害基幹拠点病院

県に1か所設置する。

- (2)災害拠点病院

原則として、二次保健医療圏ごとに1か所（松山圏域は2か所）設置する。

○指定病院

区 分	圏 域	病 院 名	指定年度
災害基幹拠点病院	全県	県立中央病院	平成9年2月17日
災害拠点病院	宇摩	公立学校共済組合四国中央病院	平成22年4月1日
	新居浜・西条	県立新居浜病院	平成9年2月17日
	今治	県立今治病院	〃
	松山	松山赤十字病院 愛媛大学医学部附属病院	〃 平成17年11月21日
	八幡浜・大洲	市立八幡浜総合病院	平成9年2月17日
	宇和島	市立宇和島病院	〃

5 救護病院

○目的

- (1)救護所へ救護班を派遣する
- (2)救護所の医療で対応できない重症者及び中等症者を受入れる

○指定病院

愛媛県では、県内の全病院（141病院）を救護病院に指定している

6 災害医療コーディネータの設置

○位置づけ

コーディネータ候補者に対して、知事が災害医療コーディネータとしての業務を委嘱

○主な役割

(1)発災時

- ・医療救護班等の受入れ・派遣調整
- ・医療機関間の患者受入れ・搬送調整
- ・医療機関の医療活動支援に係る調整
- ・関係機関との連携、調整 等

(2)平時

- ・行政や医療機関、関係機関・団体等のネットワークの構築
- ・地域医療の実情を踏まえた災害医療対策の構築、推進 等

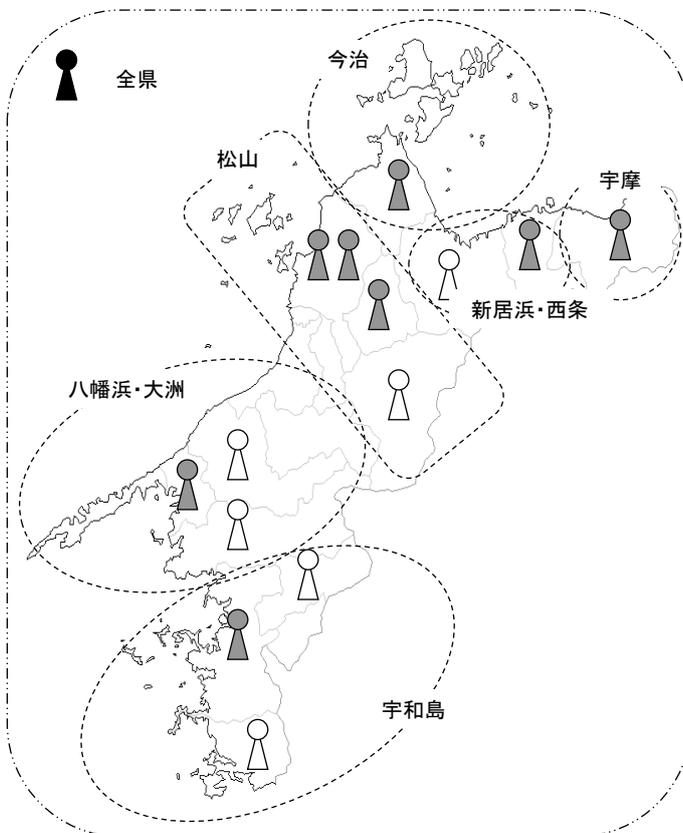
○設置医療機関

◆災害拠点病院：災害拠点病院コーディネータ

◆公立病院：公立病院コーディネータ

※二次医療圏域における救急医療体制や地理的条件等を踏まえ設置

災害医療コーディネータの設置(H24.10.1)



▲ 統括コーディネータ(1名)

- ・県内の医療救護活動の統括及び調整
- ・県内の被災状況、医療ニーズ等の収集分析等
- ・災害拠点病院Co、国及び関係機関との連絡調整等
- ・災害時における県内医療提供体制の確保

▲ 災害拠点病院コーディネータ(8名)

- ・圏域内の被災状況、医療ニーズ等の収集分析等
- ・圏域内のDMAT、救護班等の受入れ調整等
- ・圏域内の医療機関の患者受入れ、搬送調整等
- ・圏域内の医療機関の医療活動支援に係る調整等
- ・統括Co、公立病院Co、他圏域Coとの連絡調整
- ・圏域内の関係機関との連絡調整

△ 公立病院コーディネータ(6名)

- ・立地市町内の被災状況、医療ニーズ等の収集等
- ・立地市町内のDMAT、救護班等の受入れ調整等
- ・立地市町内の医薬品等の調達供給調整等
- ・災害拠点病院Coとの連絡調整
- ・立地市町内の関係機関との連絡調整

7 災害派遣医療チーム（DMAT）について

○災害派遣医療チーム（DMAT）の定義

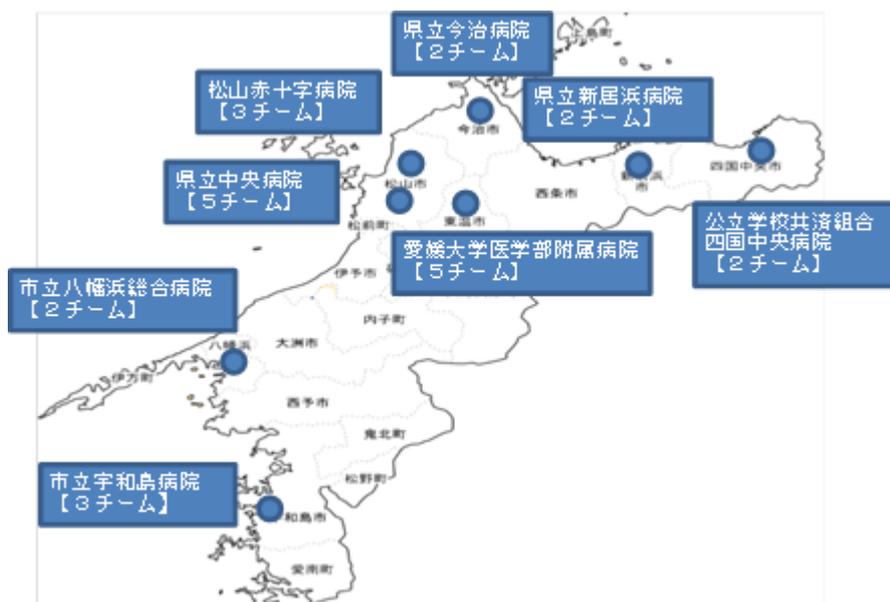
災害派遣医療チーム（DMAT）とは、大規模災害時や事故などの被災地に迅速に駆けつけ、急性期（概ね 48 時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム【標準的チーム構成：4 名（医師 1 名、看護師 2 名、業務調整員 1 名）】

現場活動（情報収集・伝達、トリアージ、応急治療、搬送等）、病院支援（患者の治療等）、広域医療搬送（被災地外への患者搬送）等を主な任務とする。

本県においては、平成 21 年 7 月に「愛媛 DMAT 運用計画」を策定。併せて、「DMAT 指定病院の指定」及び「DMAT 指定病院との協定締結」を行い、同月末に愛媛 DMAT の運用を開始。

○災害派遣医療チーム（DMAT）指定病院（8 病院 24 チーム：平成 29 年 4 月現在）

地域	病院名	チーム数	指定年月日	研修受講年度（※）
東予地域	公立学校共済組合 四国中央病院	2 チーム	平成 23 年 11 月 30 日	平成 23、27 年度
	県立新居浜病院	2 チーム	平成 23 年 1 月 12 日	平成 22、24 年度
	県立今治病院	2 チーム	平成 21 年 7 月 28 日	平成 21、24 年度
中予地域	県立中央病院	5 チーム	〃	平成 17、18、21、25、28 年度
	愛媛大学医学部附属病院	5 チーム	〃	平成 18、19、20、21、23 年度
	松山赤十字病院	3 チーム	〃	平成 18、20、22 年度
南予地域	市立八幡浜総合病院	2 チーム	平成 23 年 9 月 15 日	平成 23、26 年度
	市立宇和島病院	3 チーム	平成 21 年 7 月 28 日	平成 20、22 年、24 年度



8 DMAT支援チームについて

○熊本地震を踏まえた災害医療体制の充実・強化策

公立病院や二次救急医療機関など災害時の医療救護活動を担う機関が、県外から派遣されたDMATの活動を補完・支援し、受援体制を構築する。

○DMAT支援チームの効果

(1)DMAT支援チームのサポートにより、災害時の貴重な医療資源であるDMATが有する急性期医療対応の機能が発揮できる。

(2)愛媛県内のDMATも、東・中・南予で地域間偏在が生じている（東予6・中予13・南予5）ことから、DMAT支援チームの養成による地域間の平準化が図られ（東予30（DMAT6＋支援チーム24）・中予28（DMAT13＋支援チーム15）・南予19（DMAT5＋支援チーム14））、地域で支え合う、より強固な災害医療体制が構築できる。

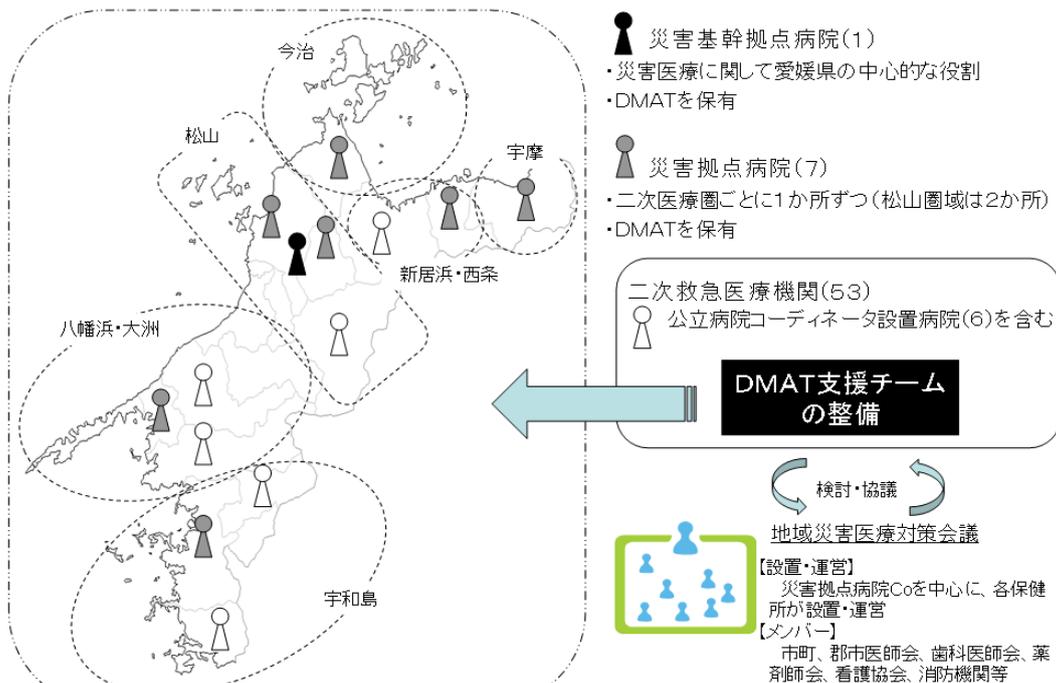
○チーム構成

5名1組（例：医師1名、看護師2名、業務調整員2名）

○DMAT支援チームの整備方針

- ・毎年、6チームずつ整備
- ・本研修初年度である平成29年度は、災害医療コーディネータを設置している公立病院（6病院：西条市立周桑病院、久万高原町立病院、市立大洲病院、市立西予市民病院、鬼北町立北宇和病院、県立南宇和病院）を対象
- ・平成30年度からは、二次医療圏単位で各保健所（6保健所）が運営する「地域災害医療対策会議」で対象病院を検討
- ・災害（基幹）拠点病院（8病院）を除く、二次救急病院（53病院）に1チームずつ整備することを目標

DMAT支援チームの整備イメージ



9 原子力災害医療体制について

平成 29 年 2 月、国の原子力災害対策指針の改定（H27.8）に伴い、原子力災害拠点病院・原子力災害医療協力機関の拡充や原子力災害医療の全県的实施など、複合災害を見据えた原子力災害医療体制の再構築を行ったことから、引き続き、訓練や研修を通じて実効性の高い医療提供体制の充実を図る。

(1) 原子力災害拠点病院

○役割

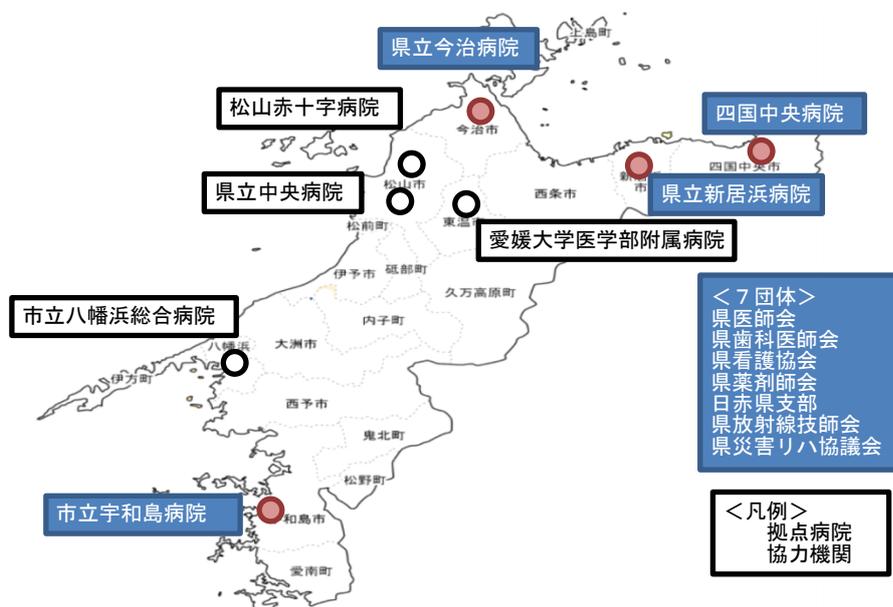
原子力災害時に、汚染の有無にかかわらず傷病者を受け入れ、被ばくがある場合には適切な診療等を行う。また、原子力災害が発生した立地県内等において救急医療等を行う「原子力災害医療派遣チーム」を所有する。（4 病院）

(2) 原子力災害医療協力機関

○役割

原子力災害時において行われる診療や県等が行う原子力災害対策等を支援する。

協力機関の機能としては、被ばく傷病者等の初期診療・救急医療、安定ヨウ素剤の配布や避難退域時検査等の支援、避難入院患者の受入れ等のうち、1 項目以上を実施できることが求められる。（17 機関：10 病院・7 団体）



指定	原子力災害拠点病院							
1	愛媛大学医学部附属病院	3	県立中央病院					
2	松山赤十字病院	4	市立八幡浜総合病院					
登録	原子力災害医療協力機関	A	B	C	D	E	F	G
5	公立学校共済組合四国中央病院							○
6	県立新居浜病院				○			○
7	県立今治病院							○
8	市立宇和島病院							○
9	西条市立周桑病院							○
10	久万高原町立病院							○
11	市立大洲病院							○
12	市立西予市民病院	○	○		○	○	○	○
13	鬼北町立北宇和病院							○
14	県立南宇和病院							○
15	愛媛県医師会				○			
16	愛媛県歯科医師会							○
17	愛媛県看護協会				○			○
18	愛媛県薬剤師会						○	
19	日本赤十字社愛媛県支部				○			○
20	愛媛県診療放射線技師会		○			○		
21	愛媛県災害リハビリテーション連絡協議会							○

【登録項目】 ※「原子力災害拠点病院等の施設要件」(H27.6 原子力規制庁)

- A：被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療を行える。
- B：被災者の放射性物質による汚染の測定を行える。
- C：原子力災害医療派遣チームを保有し、その派遣体制がある。
- D：救護所への医療チーム（又は医療関係者）の派遣を行える。
- E：避難退域時検査実施のための放射性物質の検査チームの派遣を行える。
- F：立地道府県等が行う安定ヨウ素剤配布の支援を行える。
- G：その他、原子力災害発生時に必要な支援を行える。

（病院避難患者の受入れ、避難所での対応等）

（3）緊急被ばく医療アドバイザー

○役割

原子力事故その他重大な放射線事故が発生した場合に、県において迅速かつ適切な原子力災害医療活動を実現するため、専門的な立場から、県の原子力災害医療体制の強化に向けた指導、助言及び協力等を行うことを主な任務とする。

○設置方針

アドバイザーには、県内外の原子力災害医療又は災害医療に関する専門的な知識又は経験を有する者のうちから知事が委嘱しており、平成22年6月から設置以来、現在は11名（放射線医師：3名、救急災害医療医師：6名、診療放射線技師：2名）となっている。（任期：2年）

救護病院一覧表（平成29年6月末時点）

※愛媛県では、県内の全病院(141病院)を救護病院に指定

医療 圏域	番号	機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号	病床数 (うち一般 又は療養)	助産施設 の有無	三次救急医療施設▲ 災害基幹拠点病院● 災害拠点病院◎ 病院 ○
宇摩	1	公立学校共済組合四 国中央病院	799-0193	四国中央市 川之江町2233	0896-58-3515	275 (229)	○	◎ ○
宇摩	2	長谷川病院	799-0111	四国中央市 金生町下分1249-1	0896-58-5666	160 (160)	—	○
宇摩	3	石川記念会HITO病 院	799-0121	四国中央市 上分町788-1	0896-58-2222	257 (257)	—	○
宇摩	4	西岡病院	799-0421	四国中央市 三島金子2-7-22	0896-24-5511	60 (60)	—	○
宇摩	5	豊岡台病院	799-0435	四国中央市 豊岡町長田字桶ノ 上603-1	0896-25-0088	194 (82)	—	○
宇摩	6	公立学校共済組合三 島医療センター	799-0422	四国中央市 中之庄町1684-2	0896-23-2515	70 (66)	—	○
宇摩	7	栗整形外科病院	799-0422	四国中央市 中之庄町398-1	0896-24-5550	40 (40)	—	○
宇摩	8	松風病院	799-0712	四国中央市 土居町入野970	0896-74-2001	249 (45)	—	○
宇摩	9	恵康病院	799-0724	四国中央市 土居町蕪崎253-1	0896-74-7600	60 (60)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	10	財団新居浜病院	792-0828	新居浜市 松原町13-47	0897-43-6151	415 (0)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	11	十全第二病院	792-0844	新居浜市 角野新田町1-1-28	0897-41-2222	250 (0)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	12	愛媛労災病院	792-8550	新居浜市 南小松原町13-27	0897-33-6191	300 (300)	○	○
新居 浜 ・ 西 条	13	県立新居浜病院	792-0042	新居浜市 本郷3-1-1	0897-43-6161	313 (290)	○	▲ ◎ ○
新居 浜 ・ 西 条	14	十全総合病院	792-8586	新居浜市 北新町1-5	0897-33-1818	350 (350)	○	○
新居 浜 ・ 西 条	15	新居浜山内病院	792-0022	新居浜市 徳常町6-13	0897-37-0022	32 (32)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	16	住友別子病院	792-8543	新居浜市 王子町3-1	0897-37-7111	360 (360)	○	○
新居 浜 ・ 西 条	17	新居浜協立病院	792-0017	新居浜市 若水町1-7-45	0897-37-2000	99 (99)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	18	岩崎病院	792-0045	新居浜市 中萩町2-5	0897-41-6030	50 (50)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	19	循環器科林病院	792-0834	新居浜市 中西町6-46	0897-43-8383	76 (76)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	20	新居浜徳洲会病院	792-0043	新居浜市 土橋2-2-2	0897-43-0550	60 (60)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	21	立花病院	792-0826	新居浜市 喜光地町1-13-29	0897-41-4118	60 (60)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	22	西条道前病院	793-0010	西条市 飯岡地藏原3290-1	0897-56-2247	360 (0)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	23	西条中央病院	793-0027	西条市 朔日市804	0897-56-0300	242 (240)	○	○
新居 浜 ・ 西 条	24	村上記念病院	793-0030	西条市 大町739	0897-56-2300	199 (199)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	25	西条愛寿会病院	793-0035	西条市 福武字蔵尾甲158- 1	0897-55-2300	180 (180)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	26	西条市民病院	799-1104	西条市 小松町妙口甲1521	0898-72-4111	101 (101)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	27	済生会西条病院	793-0027	西条市 朔日市字榎ヶ坪 269-1	0897-55-5100	150 (150)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	28	西条市立周桑病院	799-1341	西条市 壬生川131	0898-64-2630	350 (185)	○	○
新居 浜 ・ 西 条	29	共立病院	799-1353	西条市 三津屋南9-10	0898-64-2662	86 (86)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	30	渡部病院	799-1371	西条市 周布331-1	0898-64-1200	52 (52)	—	○
新居 浜 ・ 西 条	31	横山病院	799-1101	西条市 小松町新屋敷甲 286	0898-72-2121	36 (36)	—	○

救護病院一覧表（平成29年6月末時点） ※愛媛県では、県内の全病院(141病院)を救護病院に指定

医療圏域	番号	機関名	郵便番号	所在地	電話番号	病床数 (うち一般 又は療養)	助産施設 の有無	三次救急医療施設▲ 災害基幹拠点病院● 災害拠点病院◎ 病院○
今治	32	正光会今治病院	799-1598	今治市 高市甲786-13	0898-48-2560	293 (0)	—	○
今治	33	今治市医師会市民病院	794-0026	今治市 別宮町7-1-40	0898-22-7611	55 (51)	—	○
今治	34	白石病院	794-0041	今治市 松本町1-5-9	0898-32-4135	100 (100)	—	○
今治	35	今治第一病院	794-0052	今治市 宮下町1-1-21	0898-23-1650	90 (90)	—	○
今治	36	三木病院	794-0057	今治市 泉川町1-3-45	0898-32-4680	70 (70)	—	○
今治	37	きら病院	794-0028	今治市 北宝来町1-3-5	0898-31-5711	30 (30)	○	○
今治	38	放射線第一病院	794-0054	今治市 北日吉町1-10-50	0898-23-3358	110 (110)	—	○
今治	39	井出病院	794-0015	今治市 常盤町7-3-6	0898-32-2866	35 (35)	—	○
今治	40	美須賀病院	794-0037	今治市 黄金町3-4-8	0898-32-1212	99 (99)	—	○
今治	41	菅病院	794-0056	今治市 南日吉町2-3-21	0898-32-5092	40 (40)	—	○
今治	42	吉野病院	794-0038	今治市 末広町1-5-5	0898-32-0323	90 (90)	—	○
今治	43	木原病院	794-0026	今治市 別宮町3-7-8	0898-23-0634	73 (73)	—	○
今治	44	瀬戸内海病院	794-0028	今治市 北宝来町2-4-9	0898-23-0655	97 (97)	—	○
今治	45	今治セントラル病院	794-0041	今治市 松本町2-6-6	0898-22-5251	70 (70)	—	○
今治	46	消化器科久保病院	799-2116	今治市 内堀1-1-19	0898-41-3233	39 (39)	—	○
今治	47	光生病院	794-0022	今治市 室屋町3-2-10	0898-22-0468	51 (51)	—	○
今治	48	村上病院	794-0015	今治市 常盤町5-3-37	0898-22-8833	67 (67)	—	○
今治	49	山内病院	794-0063	今治市 片山3-1-40	0898-32-3000	50 (50)	—	○
今治	50	済生会今治病院	799-1592	今治市 喜田村7-1-6	0898-47-2500	191 (191)	—	○
今治	51	今治南病院	794-0862	今治市 四村103-1	0898-22-7300	63 (63)	—	○
今治	52	高山内科病院	794-0025	今治市 大正町3-5-8	0898-22-7720	31 (31)	—	○
今治	53	県立今治病院	794-0006	今治市 石井町4-5-5	0898-32-7111	320 (270)	○	◎ ○
今治	54	整形外科藤井病院	794-0015	今治市 常盤町5-3-38	0898-24-1000	39 (39)	—	○
今治	55	広瀬病院	799-1504	今治市 拝志1-26	0898-47-0100	57 (57)	—	○
今治	56	内科・消化器科羽鳥病院	794-0043	今治市 南宝来町3-2-3	0898-22-2898	33 (33)	—	○
今治	57	高木眼科病院	794-0028	今治市 北宝来町2-3-1	0898-31-7500	30 (30)	—	○
今治	58	鈴木病院	794-0026	今治市 別宮町2-1-5	0898-23-0500	36 (36)	—	○
今治	59	済生会今治第二病院	794-0054	今治市 北日吉町1-7-43	0898-23-0100	30 (30)	—	○
今治	60	波方中央病院	799-2102	今治市 波方町大字樋口甲1683-1	0898-41-5911	131 (131)	—	○
今治	61	大三島中央病院	794-1304	今治市 大三島町宮浦5318	0897-82-1111	28 (28)	—	○
松山	62	増田病院	791-8013	松山市 山越3-5-24	089-924-7804	54 (54)	—	○

救護病院一覧表（平成29年6月末時点） ※愛媛県では、県内の全病院(141病院)を救護病院に指定

医療圏域	番号	機関名	郵便番号	所在地	電話番号	病床数 (うち一般 又は療養)	助産施設 の有無	三次救急医療施設▲ 災害基幹拠点病院● 災害拠点病院◎ 病院○
松山	63	栗林病院	791-0101	松山市 溝辺町甲331	089-977-3311	124 (124)	—	○
松山	64	松山記念病院	791-8022	松山市 美沢1-10-38	089-925-3211	743 (0)	—	○
松山	65	真光園	791-1112	松山市 南高井町1491	089-975-2000	217 (0)	—	○
松山	66	久米病院	790-0924	松山市 南久米町723	089-975-0503	203 (19)	—	○
松山	67	堀江病院	799-2652	松山市 福角町甲1582	089-978-0783	200 (0)	—	○
松山	68	国立病院機構四国がんセンター	791-0245	松山市 南梅本町甲160	089-999-1111	405 (405)	—	○
松山	69	NTT西日本松山病院	790-0802	松山市 喜与町1-7-1	089-936-2461	78 (78)	○	○
松山	70	松山赤十字病院	790-8524	松山市 文京町1	089-924-1111	681 (678)	○	◎ ○
松山	71	松山市民病院	790-0067	松山市 大手町2-6-5	089-943-1151	432 (432)	—	○
松山	72	松山協和病院	790-0966	松山市 立花5-1-53	089-932-1712	78 (78)	—	○
松山	73	野本記念病院	790-0003	松山市 三番町5-12-1	089-943-0151	99 (99)	—	○
松山	74	奥島病院	790-0843	松山市 道後町2-2-1	089-925-2500	184 (184)	—	○
松山	75	松山笠置記念心臓血管病院	790-0023	松山市 末広町18-2	089-941-2288	48 (48)	—	○
松山	76	松山城東病院	790-0915	松山市 松末2-19-36	089-943-7717	90 (90)	—	○
松山	77	浦屋病院	790-0804	松山市 中一万町5-10	089-943-0150	47 (47)	—	○
松山	78	佐藤実病院	790-0811	松山市 本町6-3-1	089-925-5544	68 (68)	—	○
松山	79	おおぞら病院	791-8555	松山市 六軒家町4-20	089-943-5595	108 (108)	—	○
松山	80	土橋共立病院	790-0032	松山市 土橋町3-1-6	089-931-1804	55 (55)	—	○
松山	81	松山リハビリテーション病院	791-1111	松山市 高井町1211	089-975-7431	326 (326)	—	○
松山	82	県立子ども療育センター	791-0212	東温市 田窪2135	089-955-5533	100 (100)	—	○
松山	83	南松山病院	790-0952	松山市 朝生田町1-3-10	089-941-8255	242 (242)	—	○
松山	84	県立中央病院	790-0024	松山市 春日町83	089-947-1111	827 (824)	○	▲ ● ○
松山	85	浅野病院	790-0963	松山市 小坂3-3-26	089-945-3351	36 (36)	—	○
松山	86	牧病院	799-2648	松山市 菅沢町甲1151-1	089-977-3351	182 (0)	—	○
松山	87	梶浦病院	790-0003	松山市 三番町4-4-5	089-943-2208	50 (50)	—	○
松山	88	天山病院	790-0951	松山市 天山2-3-30	089-946-1555	160 (160)	—	○
松山	89	南高井病院	791-1112	松山市 南高井町333	089-976-7777	353 (353)	—	○
松山	90	道後温泉病院	790-0858	松山市 道後姫塚乙21-21	089-933-5131	234 (234)	—	○
松山	91	松山ベテル病院	790-0833	松山市 祝谷6-1229	089-925-5000	155 (155)	—	○
松山	92	鷹の子病院	790-0925	松山市 鷹子町525-1	089-976-5551	72 (72)	—	○
松山	93	福角病院	799-2652	松山市 福角町乙69	089-979-5561	114 (114)	—	○

救護病院一覧表（平成29年6月末時点） ※愛媛県では、県内の全病院(141病院)を救護病院に指定

医療圏域	番号	機関名	郵便番号	所在地	電話番号	病床数 (うち一般 又は療養)	助産施設 の有無	三次救急医療施設▲ 災害基幹拠点病院● 災害拠点病院◎ 病院○
松山	94	愛媛生協病院	791-1102	松山市 来住町1091-1	089-976-7001	88 (88)	—	○
松山	95	東明病院	791-1123	松山市 東方町甲1026-1	089-963-3333	91 (91)	—	○
松山	96	済生会松山病院	791-8026	松山市 山西町880-2	089-951-6111	199 (199)	—	○
松山	97	渡辺病院	791-0054	松山市 空港通7-13-3	089-973-0111	47 (47)	—	○
松山	98	中川病院	791-0245	松山市 南梅本町甲58	089-976-7811	40 (40)	—	○
松山	99	松山第一病院	791-8016	松山市 久万ノ台282-2	089-924-6878	70 (70)	—	○
松山	100	貞本病院	790-0052	松山市 竹原町1-6-1	089-945-1471	60 (60)	—	○
松山	101	松山西病院	791-8034	松山市 富久町360-1	089-972-3355	102 (102)	—	○
松山	102	平成脳神経外科病院	791-1105	松山市 北井門2-7-28	089-905-0011	65 (65)	—	○
松山	103	和ホスピタル	799-2434	松山市 柳原739	089-992-0700	120 (0)	—	○
松山	104	北条病院	799-2438	松山市 河野中須賀288-5	089-993-1200	60 (60)	—	○
松山	105	なかじま中央病院	791-4501	松山市 中島大浦3081-1	089-997-1171	50 (50)	—	○
松山	106	愛媛大学医学部附属病院	791-0295	東温市 志津川	089-964-5111	644 (602)	○	▲ ◎ ○
松山	107	国立病院機構愛媛医療センター	791-0281	東温市 横河原366	089-964-2411	430 (410)	—	○
松山	108	愛媛十全医療学院附属病院	791-0385	東温市 南方561	089-966-5011	97 (97)	—	○
松山	109	久万高原町立病院	791-1201	上浮穴郡久万高原町 久万65	0892-21-1120	77 (77)	—	○
松山	110	伊予病院	799-3101	伊予市 八倉906-5	089-983-2222	290 (290)	—	○
松山	111	くろだ病院	791-3161	伊予郡松前町 大字神崎586	089-984-1201	153 (0)	—	○
松山	112	松前病院	791-3120	伊予郡松前町 大字筒井1592-1	089-984-1300	56 (56)	—	○
松山	113	砥部病院	791-2114	伊予郡砥部町 麻生40-1	089-957-5511	213 (100)	—	○
八幡浜・大洲	114	平成病院	795-0011	大洲市 柚木811-1	0893-24-2138	267 (0)	—	○
八幡浜・大洲	115	大洲中央病院	795-8507	大洲市 東大洲5	0893-24-4551	198 (198)	—	○
八幡浜・大洲	116	加戸病院	791-3301	喜多郡内子町 内子771	0893-44-5500	92 (92)	—	○
八幡浜・大洲	117	喜多医師会病院	795-8505	大洲市 徳森字小鳥越2632-3	0893-25-0535	207 (207)	—	○
八幡浜・大洲	118	大洲記念病院	795-0061	大洲市 徳森1512	0893-25-2022	95 (95)	—	○
八幡浜・大洲	119	市立大洲病院	795-8501	大洲市 西大洲字ヤスバ甲570	0893-24-2151	150 (142)	—	○
八幡浜・大洲	120	石村病院	799-3401	大洲市 長浜甲176	0893-52-0275	75 (75)	—	○
八幡浜・大洲	121	八幡浜医師会立双岩病院	796-8035	八幡浜市 若山4番耕地160-1	0894-22-4355	174 (0)	—	○
八幡浜・大洲	122	くじら病院	796-8010	八幡浜市 大字五反田1番耕地1046-1	0894-22-2309	139 (0)	—	○
八幡浜・大洲	123	市立八幡浜総合病院	796-8502	八幡浜市 大平1-638	0894-22-3211	256 (254)	○	◎ ○
八幡浜・大洲	124	広瀬病院	796-0088	八幡浜市 昭和通1280-9	0894-22-2600	76 (76)	—	○

救護病院一覧表（平成29年6月末時点）

※愛媛県では、県内の全病院(141病院)を救護病院に指定

医療 圏域	番号	機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号	病床数 (うち一般 又は療養)	助産施設 の有無	三次救急医療施設▲ 災害基幹拠点病院● 災害拠点病院◎ 病院 ○
八幡浜 ・大洲	125	宇都宮病院	796-0047	八幡浜市 1579-39	0894-22-0163	120 (120)	—	○
八幡浜 ・大洲	126	真網代くじらリハビリ テーション病院	796-8053	八幡浜市 真網代甲229-5	0894-28-1123	180 (120)	—	○
八幡浜 ・大洲	127	三瓶病院	796-0907	西予市 三瓶町朝立2番耕 地1	0894-33-1200	47 (47)	—	○
八幡浜 ・大洲	128	西予市立西予市民病 院	797-0029	西予市 宇和町永長147-1	0894-62-1121	154 (152)	—	○
八幡浜 ・大洲	129	西予市立野村病院	797-1212	西予市 野村町野村9-53	0894-72-0180	109 (109)	—	○
宇和島	130	正光会宇和島病院	798-0027	宇和島市 柿原1280	0895-22-5622	290 (0)	—	○
宇和島	131	市立宇和島病院	798-8510	宇和島市 御殿町1-1	0895-25-1111	435 (426)	○	▲ ◎ ○
宇和島	132	地域医療機能推進機 構宇和島病院	798-0053	宇和島市 賀古町2-1-37	0895-22-5616	199 (199)	—	○
宇和島	133	鎌野病院	798-0051	宇和島市 広小路2-49	0895-24-6611	36 (36)	—	○
宇和島	134	宇和島徳洲会病院	798-0003	宇和島市 住吉町2-6-24	0895-22-2811	300 (300)	—	○
宇和島	135	宇和島市立吉田病院	799-3701	宇和島市 吉田町北小路甲 217	0895-52-0611	144 (144)	○	○
宇和島	136	宇和島市立津島病院	798-3393	宇和島市 津島町高田丙15	0895-32-2011	133 (133)	—	○
宇和島	137	旭川荘南愛媛病院	798-1393	北宇和郡 鬼北町 永野市1607	0895-45-1101	132 (132)	—	○
宇和島	138	鬼北町立北宇和病院	798-1300	北宇和郡 鬼北町 近永445-1	0895-45-3400	100 (100)	—	○
宇和島	139	西本病院	798-4110	南宇和郡 愛南町 御荘平城4289-1	0895-73-2121	38 (38)	—	○
宇和島	140	県立南宇和病院	798-4131	南宇和郡 愛南町 城辺甲2433-1	0895-72-1231	199 (199)	○	○
宇和島	141	国保一本松病院	798-4408	南宇和郡 愛南町 一本松5056-2	0895-84-2255	60 (60)	—	○
計	141	医療機関		宇 摩 : 9 新居浜・西条 : 22 今 治 : 30 松 山 : 52 八幡浜・大洲 : 16 宇 和 島 : 12				三次救急医療施設:4 災害基幹拠点病院:1 災害拠点病院:7 病院:141

へき地医療の現状等について

1 へき地医療の概況

本県においては、中山間地域や離島などいわゆるへき地を多く抱えており、これまで、各種施策によるへき地医療の充実を図ってきた。

医師数は、県全体としては増加しているが、地域間の偏在が顕著で、特にへき地では医師不足が深刻化するなど、地域医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。また、急速な高齢化の進展や世帯構造・疾病構造の変化などから、山村・離島等における県民の保健・医療に対するニーズも多様化・複雑化している。

このため、医師確保対策の推進により、県全体の医療提供体制の底上げを図るとともに、医療・介護・福祉を一体的に提供していく地域包括ケアシステムを推進し、へき地における医療提供体制や診療支援体制の確保と、県全体でへき地医療を支えていく体制の強化を図ることが求められている。

2 へき地医療の現状と課題

○県内の無医地区等

【現状】

厚生労働省は、5年ごとに無医地区等調査を行っており、平成26年10月末時点の調査では、県内の無医地区は7地区、無医地区に準じる地区は5地区となっている。

前回調査（平成21年10月末）との比較では、無医地区及び準じる地区ともに1地区ずつ増加した。

【課題】

これらの地区では公共交通機関が不足しており、住民にとっては医療機関へ通うことが困難であることから、へき地医療拠点病院による巡回診療やへき地患者輸送車の運行など、地域住民の医療の確保に努める必要がある。

[無医地区等の定義]

(無医地区)

無医地区とは、医療機関のない地域で、当該地域の中心的な場所を起点として、おおむね半径4kmの区域内に人口50人以上が居住している地域であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいう。

(無医地区に準じる地区)

無医地区に準じる地区とは、無医地区には該当しないが、無医地区に準じた医療の確保が必要な地区と各都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議し適当と認めた地区をいう。

〔無医地区等の状況〕

	平成 21 年 10 月末現在				平成 26 年 10 月末現在			
	無医地区		準無医地区		無医地区		準無医地区	
二次医療圏	地区数	人口	地区数	人口	地区数	人口	地区数	人口
宇 摩	1	269	—	—	1	217	—	—
新居浜・西条	—	—	1	202	—	—	1	177
今 治	—	—	—	—	—	—	—	—
松 山	4	467	1	32	5	496	2	71
八幡浜・大洲	—	—	—	—	—	—	2	4,234
宇 和 島	1	102	2	62	1	85	—	—
計	6	838	4	296	7	798	5	4,482

〔厚生労働省「無医地区等調査」（5年に1度実施）〕

〔医師数〕

圏域	平成 16 年	平成 18 年	平成 20 年	平成 22 年	平成 24 年	平成 26 年
宇摩	166	145	146	140	136	163
新居浜・西条	517	481	471	476	468	464
今治	321	319	321	317	317	323
松山	1,840	1,880	2,021	2,013	2,108	2,199
八幡浜・大洲	314	305	293	286	279	268
宇和島	286	269	267	271	276	262
県計	3,444	3,399	3,519	3,503	3,584	3,679

〔厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」（2年に1度実施）〕

〔人口 10 万対医師数〕

圏域	平成 16 年	平成 18 年	平成 20 年	平成 22 年	平成 24 年	平成 26 年
宇摩	177.6	157.0	160.1	155.2	152.7	185.4
新居浜・西条	217.1	203.3	200.2	203.6	201.7	203.0
今治	173.6	176.7	180.8	182.0	185.4	193.3
松山	281.0	287.8	309.9	308.5	324.0	339.2
八幡浜・大洲	186.9	183.7	182.0	182.7	183.6	182.1
宇和島	209.6	205.0	210.2	218.1	229.1	224.9
県計	233.2	232.8	243.7	244.7	253.3	263.6

〔厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」（2年に1度実施）〕

○へき地診療所

【現状】

へき地診療所は、無医地区等の医療に恵まれない地域住民の医療を確保することを目的として設置・運営されており、平成 29 年 4 月 1 日現在、県内に 54 施設ある。

地域別では、東予地区に 8 ヶ所、中予地区に 10 ヶ所、南予地区に 36 ヶ所と、その大

半は南予地区に設置されている。

また、県内へき地診療所 54 施設の医師数は、常勤医 17 人（実人数）、非常勤医 50 人（実人数）となっており、常勤医、非常勤医全体で 60 人（実人数・重複 7 人）となっている。

なお、医師の平均年齢は、常勤医 55.1 歳、非常勤医 55.1 歳となっており、常勤医、非常勤医全体で 55.5 歳となっている。

【課題】

へき地診療所については、医師不足により診療体制を縮小している診療所があるなど、医師の確保が課題となっている。

また、施設や建物の老朽化による維持管理経費の負担や診療に必要な医療機器の整備など、施設や設備面への対応が必要となっているほか、へき地診療所における医師やスタッフの確保・定着を図るため勤務環境や生活環境の整備など、医師やスタッフの働きやすい環境づくりが求められている。

○へき地医療拠点病院

【現状】

へき地における住民の医療を確保することを目的に、「へき地医療支援機構」の指導・調整のもと、へき地診療所への代診医の派遣、へき地医療従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業を行う「へき地医療拠点病院」を指定している。

平成 14 年 4 月に県立中央病院を指定したのをはじめ、平成 29 年 4 月現在、県下 11 病院体制となっている。

全県的な医師不足や地域偏在の影響を受け、へき地保健医療対策の中核的な役割を担うへき地医療拠点病院においても医師不足が顕在化しており、巡回診療や代診医派遣等のへき地診療所に対する支援機能が著しく低下している状況にある。

【課題】

このような中であって、医師が研修や学会等へ参加する際の代診医派遣要請や、女性医師が産休や育休を取得する際の代診医派遣要請など、代診医派遣に対するニーズは、今後益々高まりを見せることが予想されるため、拠点病院においては、支援機能のより一層の充実が求められている。

[平成 28 年度代診医派遣実績]

医療圏	派遣先医療機関名	日数	自治医大卒 医師配置
宇摩	四国中央市国保新宮診療所	12	—
八幡浜・大洲	伊方町国保九町診療所	4	—
	伊方町国保瀬戸診療所	77	義務内 1 人
	大洲市国保河辺診療所	2	—
宇和島	松野町国保中央診療所	85	義務内 2 人
	愛南町国保一本松病院附属内海診療所	7	義務内 1 人
	計	187	(月平均 15.5 日)

○へき地医療支援機構

【現状】

へき地診療所への代診医の派遣要請をはじめ、広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行い、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的として「へき地医療支援機構」を設置している。

【課題】

へき地医療支援機構には、へき地での診療経験がある医師を「専任担当者」として配置しているが、近年の医師不足の影響から、専任担当者自らがへき地診療所への代診業務に従事するなど、必ずしも、へき地保健医療対策に関する総合的な企画・調整等の業務に専念できていない状況にあり、機構の機能強化が急務となっている。

3 政策体系図の考え方

第6次医療計画及び第7次医療計画作成指針を基に、へき地医療を「保健指導」、「へき地診療」、「へき地診療の支援医療」及び「行政機関等の支援」の4つの医療機能に分類し、各医療機能ごとに、関係者が取り組むこととして、計21の施策（再掲を含む）を掲げた。

施策効果は、施策のねらいや期待する効果として、「予防」、「診療（現場）」及び「診療（支援）」の効果に分類し、最終目的は、目指すべき将来像（ゴール）として、「予防、診療」を住み慣れたところで受けることができることとした。

また、第6次計画には記載がないが、第7次計画に新たに盛り込む施策として、国から医療計画とへき地医療計画の一本化が示されたことから、別途「保健医療従事者の確保」において記載はあるが、へき地の分野においても「10. 医師確保対策事業の推進」を盛り込むこととした。

また、他事業との連携として、「16. ドクターヘリの運航」を、「へき地医療支援機構」との連携が求められる「地域医療支援センター」について、「20. 地域医療支援センターによるへき地医療の支援」を盛り込むこととした。

へき地医療拠点病院及びへき地診療所等一覧

29.4.1現在

医療圏		へき地医療拠点病院名	へき地診療所名	無医地区 (H26.10)	準無医地区 (H26.10)		
二次	一次 (各市町)						
宇摩	四国中央市		新宮診療所	1地区			
新居浜 ・西条	新居浜市	愛媛県立新居浜病院	別子山診療所(民営)		1地区		
			大島診療所(民営)				
	西条市						
今治	今治市	愛媛県立今治病院	岡村診療所				
			大下出張診療所				
			小大下出張診療所				
	上島町		魚島診療所				
			高井神出張診療所				
松山	松山市	愛媛県立中央病院	睦月診療所(民営)		1地区		
			野忽那診療所(民営)				
			怒和診療所(民営)				
			津和地診療所(民営)				
			二神診療所(民営)				
			父二峰診療所				
		久万高原町	国民健康保険久万高原町立病院	面河診療所	2地区	1地区	
				面河診療所前組出張所			
		砥部町		砥部町診療所	3地区		
		伊予市		佐礼谷診療所(民営)			
	東温市						
	松前町						
八幡浜 ・大洲	八幡浜市	市立八幡浜総合病院	大島診療所				
			西予市	西予市立野村病院		二及診療所	2地区
		西予市立西予市民病院	周木診療所				
			狩江診療所				
			惣川診療所				
			土居診療所				
			遊子川出張診療所				
			たんぽぽ俵津診療所(民営)				
		大洲市	市立大洲病院	青島診療所			
				豊茂診療所			
				河辺診療所			
		伊方町		九町診療所			
				瀬戸診療所			
	大久出張診療所						
	串診療所						
	内子町		正野出張診療所				
			済生会小田診療所(民営)				
宇和島	宇和島市	市立宇和島病院	遊子診療所				
			下波診療所				
			蔦淵診療所				
			戸島診療所				
			嘉島診療所				
			日振島診療所				
			日振島診療所喜路出張所				
			日振島診療所能登出張所				
		鬼北町	鬼北町立北宇和病院	三島診療所	1地区		
				愛治診療所			
				小倉診療所			
		松野町		日吉診療所			
				中央診療所			
				目黒診療所			
				吉野診療所			
	愛南町	愛媛県立南宇和病院	谷口診療所				
			内海診療所				
			内海診療所家串出張所				
			内海診療所魚神山出張所				
6圏域	20市町	11病院	54施設	7地区	5地区		

周産期医療の現状について

1 全国の状況

○母の年齢階級別出生率は、近年は30～40歳代の出生率が増加傾向にある。

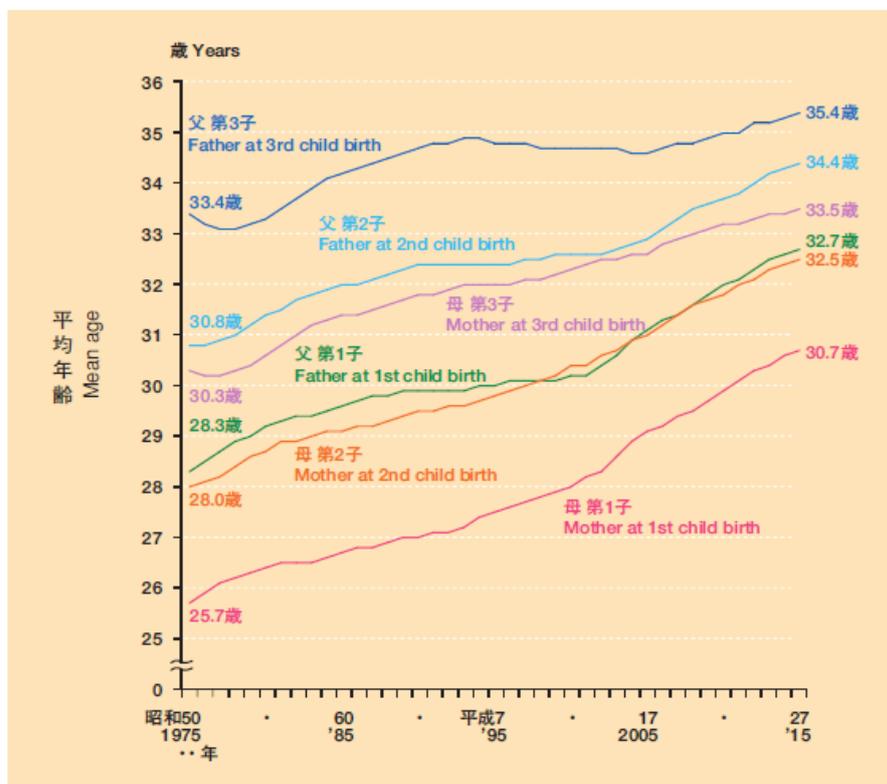
また、第1子出生時の平均年齢の年次推移は、昭和50年の25.7歳から、平成27年には30.7歳と一貫して上昇が続いている。（「平成27年人口動態統計（確定数）」）

母の年齢階級別出生率の年次推移—昭和22～平成27年—
Trends in live birth rates by age of mother, 1947-2014



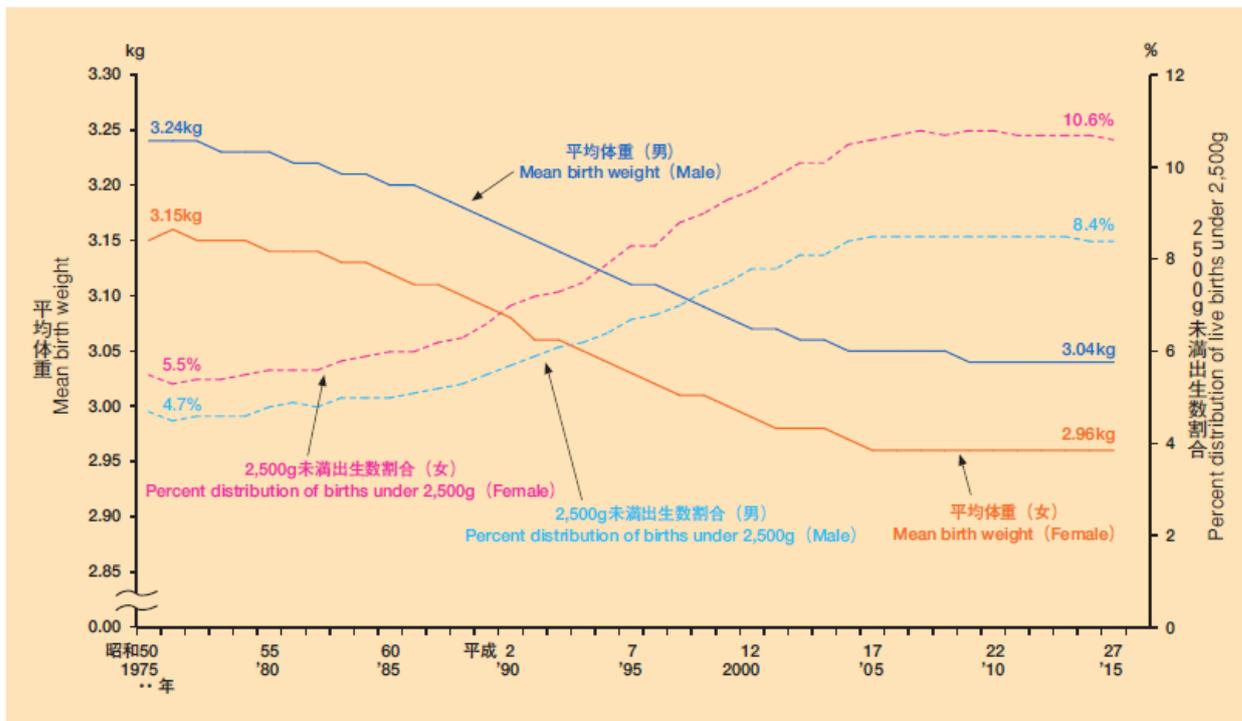
注：母の各歳別出生率を足し上げたもので、各階級の合計が合計特殊出生率である。

出生順位別にみた父母の平均年齢の年次推移—昭和50～平成27年—
Trends in mean age of father and mother by live birth order 1975-2015



○低出生体重児（2,500グラム未満）の出生割合は、男女とも増加傾向であったが、近年は横ばいであり、平成27年は男8.4%、女10.6%であった。（厚生労働省「平成27年人口動態統計（確定数）」）

性別にみた出生時平均体重及び2,500g未満出生数割合の年次推移—昭和50～平成27年—
Trends in mean birth weight and percentage of live birth under 2,500g by sex, 1975-2015



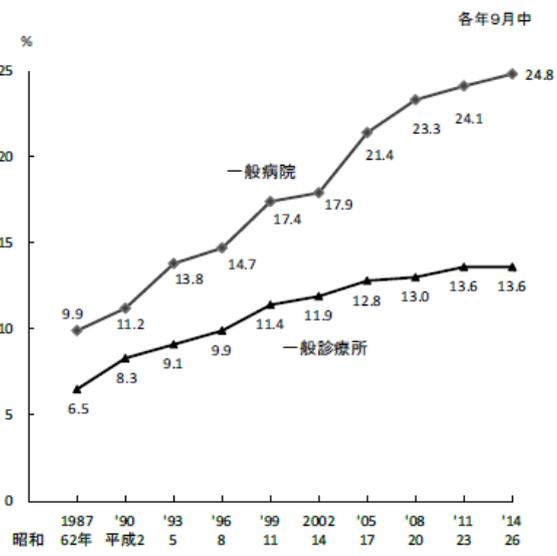
○分娩における帝王切開術の割合は、平成2年一般病院で11.2%、一般診療所で8.3%、全分娩に対しては9.8%であったが、平成26年にはそれぞれ24.8%、13.6%、19.5%と大幅に上昇している。（厚生労働省「医療施設調査」（平成26年））

分娩件数の年次推移

	各年9月中					
	一般病院			一般診療所		
	分娩件数	帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)	分娩件数	帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)
昭和62年 (1987)	59 939	5 933	9.9	45 040	2 948	6.5
平成2年 ('90)	53 497	5 981	11.2	35 233	2 919	8.3
5 ('93)	54 065	7 486	13.8	40 347	3 687	9.1
8 ('96)	52 976	7 791	14.7	43 034	4 270	9.9
11 ('99)	50 959	8 852	17.4	40 097	4 571	11.4
14 (2002)	49 629	8 900	17.9	41 498	4 938	11.9
17 ('05)	44 865	9 623	21.4	40 247	5 156	12.8
20 ('08)	47 626	11 089	23.3	42 792	5 553	13.0
23 ('11)	46 386	11 198	24.1	40 309	5 464	13.6
26 ('14)	46 451	11 543	24.8	38 765	5 254	13.6

注：平成23年の数値は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

帝王切開娩出術の割合の年次推移



注：1) 平成23年の数値は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

2) 割合は、分娩件数に対する帝王切開娩出術件数の割合(%)である。

- 産後うつ病の発生率は、(厚生労働科学研究「健やか親子 21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究(平成25年))平成13年の13.4%が、平成21年に10.3%、平成25年に9.0%と減少傾向がみられる。(厚生労働科学研究「健やか親子 21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究)
- NICUの病床数は、平成14年に265施設、2,122床であったが、平成26年に330施設、3,052床となっている。また、母体・胎児集中治療室(MFICU)は平成8年より設置が開始され、平成14年に42施設、381床であったが、平成26年に110施設、715床と増加している。(厚生労働省「医療施設調査」(平成26年))
- 産婦人科医師数(産婦人科医、産科医又は婦人科医)は、平成12年の12,870人が、平成22年に12,369人、平成26年は12,888人と18人(0.1%)増加している。(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成26年))
- 助産師数は平成8年には約2.4万人であったが、平成26年には3.4万人まで増加している。(厚生労働省「衛生行政報告例」(平成27年))

2 愛媛県の状況

(1) 人口動態による母子保健指標

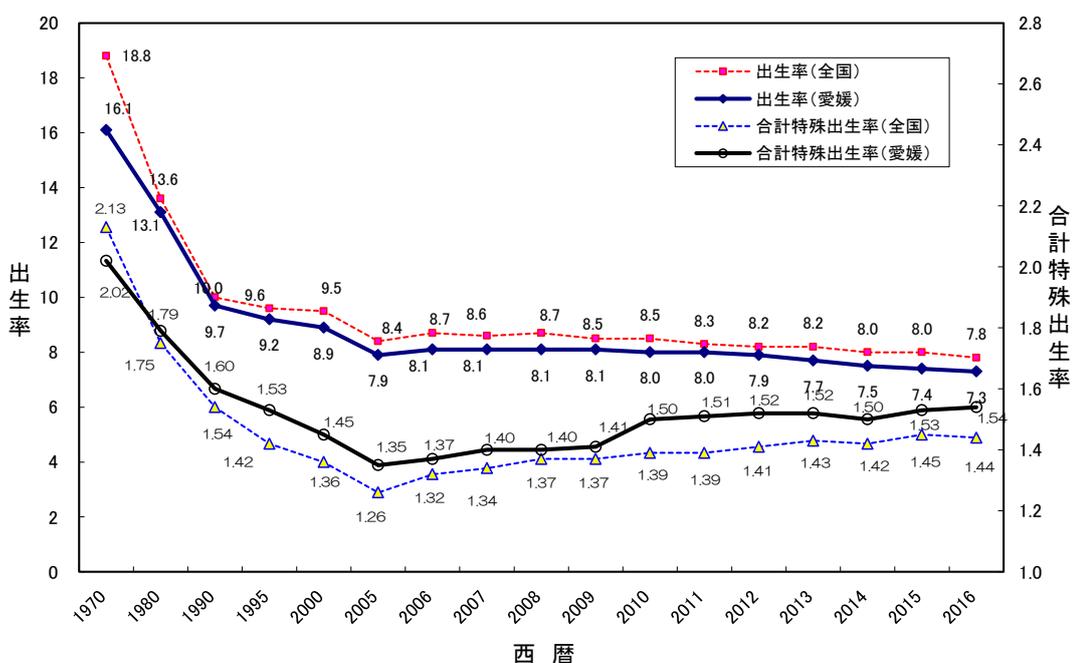
- 愛媛県の出生数は、平成18年(2006年)に11,752人であったが、平成28年(2016年)には、9,911人と10年間で約15%減少している。また、出生率(人口千人あたりの出生数)は全国平均を下回っており、平成18年(2006年)に8.1(全国8.7)でしたが、平成28年(2016年)には7.3(全国7.8)に減少している。(厚生労働省「平成28年人口動態統計特殊報告」)
平成28年(2016年)の二次医療圏別の本県の分娩数は、松山圏域において多く、県内平均では1病床あたりの分娩数は20.5件、1分娩機関あたりの分娩数は341件であった。(「愛媛県周産期医療関係調査」(平成28年))
- 出生時体重2,500g未満の低出生体重児数については、本県では、出生数全体が減少している中800人から900人の間を横ばいで推移しており、低出生体重児出生率(出生千人あたりの低出生体重児数)は、全国平均は下回っているものの80~90%第台を推移している。
- 本県の乳児死亡率(出生千人あたりの生後1歳未満の死亡数)は、昭和55年(1980年)には7.8(全国7.5)、昭和60年(1985年)には7.3(全国5.5)と全国平均を上回る状況だったが、県立中央病院に周産期センターが設置された平成2年(1990年)以降減少傾向が続き、平成18年(2006年)と平成20年(2008年)には全国最小の1.4になり、平成23年(2011年)も全国最小の1.1になるなど、現在は、全国平均を下回る状態が続いている。
- 本県の新生児死亡率(出生千人あたりの生後4週未満の死亡数)は、昭和55年(1980年)には5.3(全国4.9)、昭和60年(1985年)には4.7(全国3.4)と全国平均を上回る状況であったが、乳児死亡率と同様、県立中央病院に周産期センターが設置された平成2年(1990年)以降減少傾向が続き、平成18年(2006年)には全国最小の0.5、平成20年(2008年)は全国で3番目に低い0.6になり、平成23年(2011年)も全国で2番目に低い0.4になるなど、現在は、全国平均を下回る状態が続いている。
- 本県の周産期死亡率は、昭和55年(1980年)以降、全国平均を下回っており、平成2年(1990年)以降はさらに減少傾向が続き、平成28年(2016年)には、全国で10番目に低い3.1(全国3.6)であるなど概ね全国平均を下回る状況である。

○本県の妊産婦死亡数（妊娠中又は妊娠終了後満 42 日未満の死亡数）は、平成元年（1989 年）に 4 人であったが、平成 11 年（1999 年）以降は、平成 16 年（2004 年）、平成 20 年（2008 年）、平成 23 年（2011 年）、平成 27 年（2015 年）の各 1 人となっている。

愛媛県における出生数の推移



出生率(人口千対)及び合計特殊出生率の推移



県内二次医療圏における分娩の状況

圏域名	分娩数(件)	産科病床数(床)	1病床あたりの分娩数(件)	調査分娩医療機関数(機関)	1分娩医療機関あたりの分娩数(件)
宇摩	376	18	20.9	1	376.0
新居浜・西条	1,916	97	19.8	7	273.7
今治	1,192	83	14.4	4	298.0
松山	5,347	208	25.7	12	445.6
八幡浜・大洲	816	43	19.0	3	272.0
宇和島	924	66	14.0	4	231.0
計	10,571	515	20.5	31	341.0

(2) 産科・産婦人科医師、助産師及び分娩取扱機関等の状況

- 平成26年の厚生労働省の調査によると、本県の産科・産婦人科医師数は124人であり、出産千人対比では11.9人で、全国平均(11.5人)を上回っている。
- 平成 28 年の厚生労働省の調査による本県の就業助産師数は 323 人であり、出生千人対比では 32.6 人で、全国平均(36.6 人)を下回っているが、近年は増加している。
- 平成29年10月現在、県内の分娩を取り扱っている医療機関数は、32施設(病院12、診療所18、助産所2)であり、市町単位では11市町で分娩取扱医療機関が無いが、二次医療圏単位では全ての医療圏に確保されている。

産婦人科医師数の推移(医師・歯科医師・薬剤師調査、各12月31日現在、単位:人)

年次	医師数		人口10万人対		出生千人対	
	全国	愛媛県	全国	愛媛県	全国	愛媛県
H16	10,594	118	8.3	8.0	9.5	9.8
H18	10,074	119	7.9	8.2	9.2	10.1
H20	10,900	127	8.6	8.9	10.0	11.0
H22	11,161	132	8.7	9.2	10.4	11.6
H24	11,439	125	9.0	8.8	11.0	11.2
H26	11,590	124	9.1	8.9	11.5	11.9

産科医療機関の市町別施設数(H29.11現在)

2次医療圏	市町	分娩(妊婦健診含む)を行っている施設			妊婦健診のみを実施している施設		
		病院	診療所	計	病院	診療所	計
宇摩	四国中央市	1		1	1	1	2
新居浜 西条	新居浜市	3	2	5		1	1
	西条市	1	1	2			
今治	今治市	2	1	3		1	1
松山	松山市	3	7	10		7	7
	東温市	1	1	2			
	伊予市					1	1
八幡浜 大洲	大洲市		2	2			
	八幡浜市		1	1			
	西予市				1		1
宇和島	宇和島市	1	3	4			
	愛南町					1	1
計		12	18	30	2	12	14
助産所	2ヶ所(松山市1、四国中央市1)						

分娩のできる医療機関がない市町(11)

伊予市、西予市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町

(3) 周産期医療体制の整備

- 高度な周産期医療を提供するために必要なNICU(新生児集中治療室)は、平成29年4月現在、県内に48床のNICUが整備されており、うち33床が診療報酬加算対象の病床になっている。
- 厚生労働省の周産期医療体制整備指針において都道府県単位の整備目標とされているNICUの病床数は、出生1万人対25床から30床であるが、本県のNICU病床数48床は、出生1万人対では48床となり、整備目標の水準を満たしている。

周産期母子医療センターの病床整備状況

(単位：床)

		新生児集中治療室 (NICU)	母体・胎児集中治療室 (MFICU)	新生児後方病床 (GCU等)
総合	県立中央病院	15	9	30
地域	愛媛大学医学部附属病院	12		11
	松山赤十字病院	6		4
	市立宇和島病院	6		
	県立今治病院	3		6
	県立新居浜病院	6		4
合計		48	9	55

(平成29年度愛媛県周産期医療関係調査)

(4) 総合周産期母子医療センター

- ハイリスク妊産婦及び病的新生児に高度な周産期医療を提供するとともに、地域周産期母子医療センター及びその他の地域周産期医療関連施設からの緊急搬送を受け入れ、周産期医療体制の中核となる機能を担うため、平成16年3月に、県立中央病院を総合周産期母子医療センターに指定している。
- 現在、総合周産期母子医療センターにはNICUが15床、GCU(NICUに併設された回復期治療室)が30床あり、病的新生児の医療に専従する医師を配置するほか、麻酔科医、看護師を配置して、24時間体制で集中治療を行っている。
- MFICU(母体・胎児集中治療室)は9床あり、産科医や麻酔科医、助産師・看護師を配置して、24時間体制でハイリスク妊産婦の管理・分娩を行っている。
- 退院調整、在宅移行等を支援するNICU入院児支援コーディネーターや、不安を抱える母親と家族の精神的ケア等を行う臨床心理技術者を配置している。
- 県立中央病院には、救命救急センターが設置されており、産科合併症以外の合併症を有する母体にも対応している。

(5) 地域周産期母子医療センター

- 総合周産期母子医療センター及びその他の地域周産期医療関連施設との協力・連携の下、地域における高度な周産期医療を提供するため、愛媛大学医学部附属病院、松山赤十字病院、市立宇和島病院、県立今治病院及び県立新居浜病院を地域周産期母子医療センターとして認定しており、いずれの病院もハイリスク妊産婦及び早産児、低出生体重児などの病的新生児を受け入れている。

(6) 周産期緊急搬送体制

- 母体の緊急搬送については、総合周産期母子医療センターが約5割、地域周産期母子医療センターが約5割、病的新生児の緊急搬送では、総合周産期母子医療センターが約2割、地域周産期母子医療センターが約8割を受け入れている。
- 総合周産期母子医療センターには、平成17年10月に新生児搬送用救急車「あいあい号」が配備され、医師、看護師が同乗し医療機関まで出迎える緊急搬送のほか、状態が改善した新生児の搬送元への戻し搬送などに対応している。

(7) 愛媛県周産期医療協議会

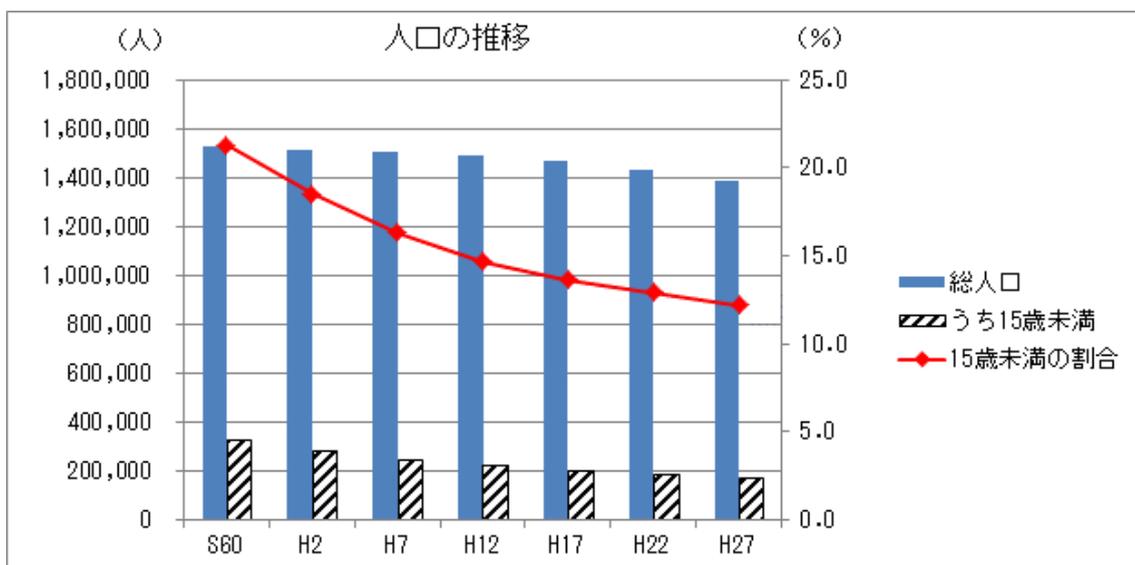
- 愛媛県周産期医療協議会では、本県の総合的な周産期医療体制の整備を図るため、周産期医療に関する調査・分析、問題点の把握及び対策の検討を行い、周産期医療体制の整備、運営について県に提言を行っている。

小児医療の現状等について

1 人口等

○平成 27 年の 15 歳未満人口をみると 169,110 人（人口全体の 12.2%）となっており、平成 22 年の 185,179 人（人口全体の 12.9%）から 16,069 人（減少率 8.7%）減少しており、年々少子化が進行している。（総務省「国勢調査」）

〔本県の人口推移の状況〕



○二次医療圏別にみると、15 歳未満人口に大きな差が生じているほか、圏域に占める 15 歳未満の割合をみても新居浜・西条圏域 13.0%と宇和島圏域 10.6%で地域差が生じている。（総務省「国勢調査」）

〔年少人口の状況〕

二次医療圏	総人口	うち 15 歳未満	15 歳未満の割合
宇摩	87,413	10,741	12.3%
新居浜・西条	228,077	29,669	13.0%
今治	165,249	19,364	11.7%
松山	646,055	81,333	12.6%
八幡浜・大洲	144,324	15,870	11.0%
宇和島	114,144	12,133	10.6%
合計	1,385,262	169,110	12.2%

○本県の合計特殊出生率をみると、平成 19 年の 1.4 と比べ平成 28 年は 1.54 と増加傾向にあり、全国値よりも高い結果となっている。（厚生労働省「平成 28 年人口動態調査」）

〔合計特殊出生率の推移〕

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44
愛媛	1.4	1.4	1.41	1.5	1.51	1.52	1.52	1.5	1.53	1.54

○子どもがいる世帯であって夫婦ともに就業している世帯は夫婦のいる一般世帯の約 30%をしめており、子どもの時間内受診など子育ての難しさがうかがえる。（総務省「国勢調査」）

〔共働き世帯の状況〕

	世帯数 ①	夫婦ともに就業		割合 ②/①
			うち子どもあり②	
H22年	349,068世帯	154,793世帯	101,183世帯	29.0%
H25年	336,100世帯	145,332世帯	93,894世帯	27.9%
H27年	319,869世帯	148,401世帯	95,154世帯	29.7%

2 疾病構造等

○本県における平成26年の小児（0歳から14歳まで）の一日当たり患者数（推計）をみると、入院で約300人、外来で約8.2千人となっている。（厚生労働省「平成26年患者調査」）

○入院は約300人程度で推移しているが、外来は平成14年と比較するとやや増加傾向にある。（厚生労働省「平成26年患者調査」）

〔小児の推計患者数〕

（千人）

		H14	H17	H20	H23	H26
全国	入院	37	33.5	31.4	29.4	28.1
	外来	635.1	744.6	698.8	789.7	738.5
愛媛県	入院	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3
	外来	7.1	10	8.4	9.3	8.2

○本県の平成26年入院患者数（推計）のうち、妊娠期間及び胎児発育に関する障害や、周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害などを含む周産期に発生した病態によるものが33.3%、肺炎や急性気管支炎、喘息などを含む呼吸器系の疾患によるものが33.3%と多い。（厚生労働省「平成26年患者調査」）

○本県の平成26年外来患者数（推計）では、急性咽頭炎及び急性扁桃炎や喘息などを含む呼吸器系の疾患が45.1%、育児不安や小児の成長発達上の相談や予防接種などの健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用が13.4%、う蝕を含む消化器系の疾患が9.8%、アトピー性皮膚炎を含む皮膚及び皮下組織の疾患が7.3%、腸管感染症を含む感染症及び寄生虫症が6.1%となっている。（厚生労働省「平成26年患者調査」）

○本県の入院受療率（人口10万対）をみると、0歳から4歳では周産期に発生した病態が28.8%、呼吸器系の疾患が23.1%、先天奇形、変形及び染色体異常が18.3%で、5歳から14歳では腎尿路生殖器系の疾患が18.8%、神経系の疾患が15.6%、筋骨格系及び結合組織の疾患が10.9%となっており、年代に応じて受療する疾患が異なっている。（厚生労働省「平成26年患者調査」）

〔入院受療率の高い疾患〕

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0～4歳	周産期に発生した病態	呼吸器系の疾患	先天奇形、変形及び染色体異常	新生物	損傷、中毒及びその他の外因の影響
	126	101	80	26	18
	28.8%	23.1%	18.3%	5.9%	4.1%
5～14歳	腎尿路生殖器系の疾患	神経系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	呼吸器系の疾患
	12	10	7	6	6
	18.8%	15.6%	10.9%	9.4%	9.4%

※上段は疾患名、中段は受療率（人口10万対）＝推計患者数/推計人口×100,000、下段は割合

○本県の外来受療率（人口 10 万対）をみると、0 歳から 4 歳では呼吸器系の疾患が 50.6%、健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスが 15.2%、皮膚及び皮下組織の疾患が 7.9%で、5 歳から 14 歳は呼吸器系の疾患が 40.9%、消化器系の疾患が 16.9%、健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスが 9.5%となっており、呼吸器系の疾患はいずれの年代も主要な疾患となっている。（厚生労働省「平成 26 年患者調査」）

〔外来受療率の高い疾患〕

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
0～4 歳	呼吸器系の疾患	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	皮膚及び皮下組織の疾患	耳及び乳様突起の疾患	感染症及び寄生虫症
	4,041	1,218	631	543	524
	50.6%	15.2%	7.9%	6.8%	6.6%
5～14 歳	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	損傷、中毒及びその他の外因の影響	皮膚及び皮下組織の疾患
	1,287	531	299	230	229
	40.9%	16.9%	9.5%	7.3%	7.3%

※上段は疾患名、中段は受療率（人口 10 万対）＝推計患者数/推計人口×100,000、下段は割合

○乳児死亡率（出生千対）をみると、平成 28 年は 1.6（全国：2）であり、過去の状況をみても概ね全国的に低い水準にある。（厚生労働省「平成 28 年人口動態統計」）

〔乳児死亡率の推移〕

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2
愛媛	1.4(46)	2.5(14)	1.7(42)	1.1(47)	2.5(11)	2.3(17)	1.5(43)	1.4(40)	1.6(42)

※カッコ内は全国順位（数値が高いほど順位は高い）

○本県の乳児死亡率（出生 10 万対）を死因別にみると、先天奇形、変形及び染色体異常が 31.2%、乳幼児突然死症候群と不慮の事故が 12.5%となっている。（厚生労働省「平成 28 年人口動態統計」）

○本県の年齢階級別（0 歳～14 歳）年齢調整死亡率をみると、男では 5 歳～9 歳及び 10 歳から 14 歳で全国値を上回っており、女では 10 歳～14 歳で全国値を上回る結果となっている。（厚生労働省「平成 27 年人口動態統計特殊報告」）

〔年齢階級別年齢調整死亡率の状況〕

性別	地域	0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳
男	全国	58.3	9.4	9.4
	愛媛	44.9	24.2	12.7
女	全国	50.5	7.7	7.5
	愛媛	27.9	7.2	16.8

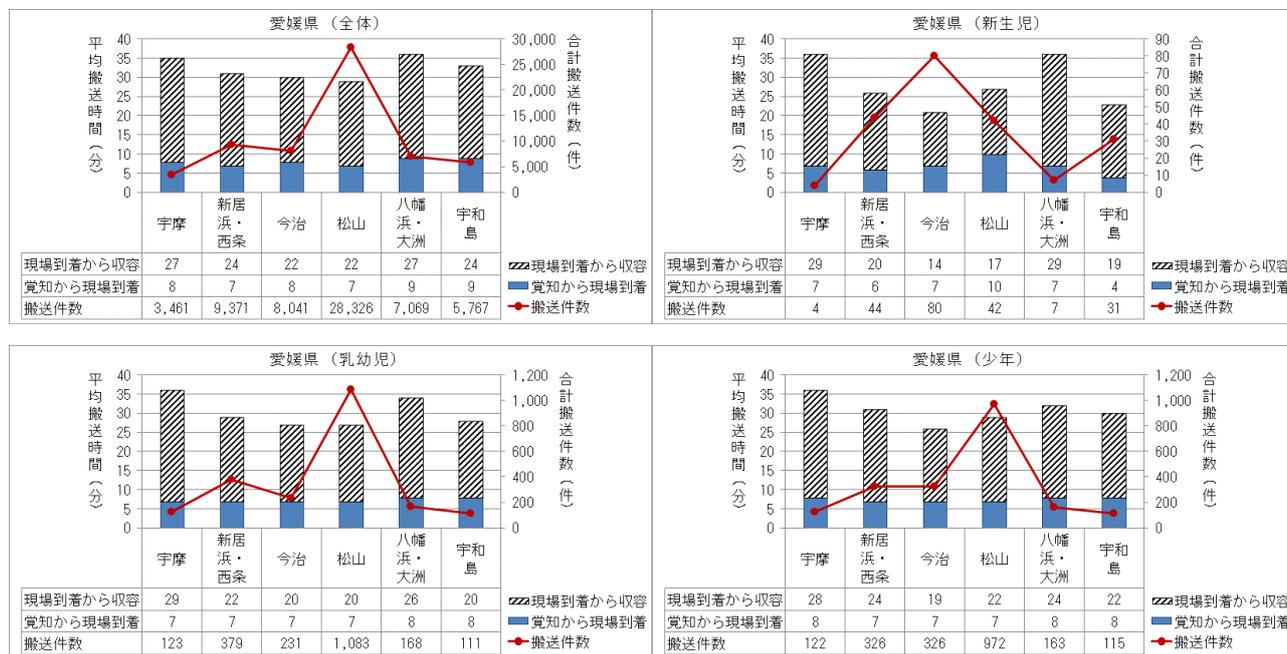
○全国の年齢別死亡率を死因別にみると、0 歳と 1 歳～4 歳では先天奇形、変形及び染色体異常が、5 歳～9 歳と 10 歳～14 歳では悪性新生物が第 1 位となっている。（厚生労働省「平成 28 年人口動態調査」）

[年齢別死亡原因]

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形、変形及び染色体異常	周産期に特異的な呼吸障害等	乳幼児突然死症候群	不慮の事故	胎児及び新生児の出血性障害等
	67.9	28.9	11.2	7.5	6.9
	34.4%	14.6%	5.7%	3.8%	3.5%
1～4歳	先天奇形、変形及び染色体異常	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	肺炎
	3.8	2.2	1.5	1	0.9
	21.7%	12.3%	8.6%	5.8%	5.1%
5～9歳	悪性新生物	不慮の事故	先天奇形、変形及び染色体異常	肺炎	心疾患
	1.6	1.3	0.6	0.4	0.3
	21.5%	17.4%	8.2%	4.9%	4.1%
10～14歳	悪性新生物	自殺	不慮の事故	先天奇形、変形及び染色体異常	心疾患
	1.7	1.3	1.2	0.5	0.3
	21.6%	16.1%	15.0%	6.1%	4.3%

※上段は死因、中段は死亡率（人口10万対）、下段は割合

○平成26年の救急搬送データを見ると、宇摩圏域で新生児、乳幼児及び少年の搬送時間が全体と比較して長くかかっている。（厚生労働省「救急搬送時間可視化」（医療計画作成支援データブック掲載）



注）搬送件数が10件未満の場合は個人情報保護の観点から0と表示される。（平成26年データ）

○DPCデータによる救急搬送入院数（小児疾患・新生児）をみると、救命救急センターや救急医療機関に集中している。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック掲載）

・救急搬送入院数（小児疾患）

病院名	総数	救急車	割合
90247愛媛県立新居浜病院	19.4	3.9	20.2%
31147愛媛県立中央病院	16.5	3.7	22.2%
31146松山赤十字病院	17.2	3.0	17.5%
31148松山市民病院	11.3	2.2	19.3%
31152市立宇和島病院	9.8	2.2	22.0%
31159石川記念会HITO病院	4.4	1.3	30.2%
31145恩賜財団済生会松山病..	4.3	1.3	28.8%
31156同心会西条中央病院	12.6	1.3	9.9%
31151宇和島徳洲会病院	3.2	1.1	34.2%
90245愛媛県立今治病院	14.8	1.1	7.3%
31153住友別子病院	3.3	0.8	25.6%
31155積善会十全総合病院	5.3	0.8	15.6%
00135滴水会吉野病院	0.0	0.0	
00511中川病院	1.3	0.0	0.0%
00512松山笠置記念心臓血管..	0.0	0.0	
00513聖光会鷹の子病院	0.0	0.0	
00514愛媛生協病院	4.1	0.0	0.0%
00515慈生会松山城東病院	1.2	0.0	0.0%
00516消化器科久保病院	0.0	0.0	
00517陽成会広瀬病院	0.0	0.0	
00518真泉会今治第一病院	1.7	0.0	0.0%
00519聖ルカ会木原病院	1.7	0.0	0.0%
00520順天会放射線第一病院	3.0	0.0	0.0%
00521新居浜協立病院	0.0	0.0	
00522明生会長谷川病院	2.3	0.0	0.0%
00523樹人会北条病院	0.0	0.0	
00524愛媛県立南宇和病院	1.4	0.0	0.0%
00991おおぞら病院	0.0	0.0	
00992聖愛会松山ベテル病院	0.0	0.0	
00993千寿会道後温泉病院	0.0	0.0	

00994NTT西日本松山病院	1.2	0.0	0.0%
00995広仁会広瀬病院	0.0	0.0	
00996喜多医師会喜多医師会..	2.0	0.0	0.0%
00997恕風会大洲記念病院	0.0	0.0	
01144宇和島市立吉田病院	0.0	0.0	
01145健生会循環器科林病院	0.0	0.0	
01264友朋会栗林病院	0.0	0.0	
01265宇和島市立津島病院	0.0	0.0	
01266更生会村上記念病院	2.2	0.0	0.0%
01267西予市立野村病院	0.0	0.0	
01333仁清会野本記念病院	0.0	0.0	
01334慈孝会福角病院	0.0	0.0	
01335国民健康保険久万高原..	0.0	0.0	
10068愛媛大学医学部附属病..	1.7	0.0	0.0%
31149瀬戸内海病院	4.0	0.0	0.0%
31150恩賜財団済生会今治病..	4.3	0.0	0.0%
31154愛媛労災病院	1.5	0.0	0.0%
31157恩賜財団済生会西条病..	1.5	0.0	0.0%
31158四国中央病院	3.3	0.0	0.0%
31160NHO四国がんセンター	0.0	0.0	
90062市立大洲病院	1.4	0.0	0.0%
90137専心会西条市立周桑病..	0.0	0.0	
90246JCHO宇和島病院	0.0	0.0	
90248北斗会大洲中央病院	2.1	0.0	0.0%

・救急搬送入院数（新生児）

病院名	総数	救急車	割合
90245愛媛県立今治病院	7.2	3.0	41.9%
90247愛媛県立新居浜病院	9.1	2.8	30.3%
31147愛媛県立中央病院	22.0	2.3	10.2%
00135滴水会吉野病院	0.0	0.0	
00511中川病院	0.0	0.0	
00512松山笠置記念心臓血管..	0.0	0.0	
00513聖光会鷹の子病院	0.0	0.0	
00514愛媛生協病院	0.0	0.0	
00515慈生会松山城東病院	0.0	0.0	
00516消化器科久保病院	0.0	0.0	
00517陽成会広瀬病院	0.0	0.0	
00518真泉会今治第一病院	0.0	0.0	
00519聖ルカ会木原病院	0.0	0.0	
00520順天会放射線第一病院	0.0	0.0	
00521新居浜協立病院	0.0	0.0	
00522明生会長谷川病院	0.0	0.0	
00523樹人会北条病院	0.0	0.0	
00524愛媛県立南宇和病院	0.0	0.0	
00991おおぞら病院	0.0	0.0	
00992聖愛会松山ベテル病院	0.0	0.0	
00993千寿会道後温泉病院	0.0	0.0	
00994NTT西日本松山病院	0.0	0.0	
00995広仁会広瀬病院	0.0	0.0	
00996喜多医師会喜多医師会..	0.0	0.0	
00997恕風会大洲記念病院	0.0	0.0	
01144宇和島市立吉田病院	0.0	0.0	
01145健生会循環器科林病院	0.0	0.0	
01264友朋会栗林病院	0.0	0.0	
01265宇和島市立津島病院	0.0	0.0	
01266更生会村上記念病院	0.0	0.0	

01267西予市立野村病院	0.0	0.0	
01333仁清会野本記念病院	0.0	0.0	
01334慈孝会福角病院	0.0	0.0	
01335国民健康保険久万高原..	0.0	0.0	
10068愛媛大学医学部附属病..	26.7	0.0	0.0%
31145恩賜財団済生会松山病..	0.0	0.0	
31146松山赤十字病院	6.2	0.0	0.0%
31148松山市民病院	0.0	0.0	
31149瀬戸内海病院	0.0	0.0	
31150恩賜財団済生会今治病..	0.0	0.0	
31151宇和島徳洲会病院	0.0	0.0	
31152市立宇和島病院	3.8	0.0	0.0%
31153住友別子病院	1.7	0.0	0.0%
31154愛媛労災病院	0.0	0.0	
31155積善会十全総合病院	0.0	0.0	
31156同心会西条中央病院	0.0	0.0	
31157恩賜財団済生会西条病..	0.0	0.0	
31158四国中央病院	1.9	0.0	0.0%
31159石川記念会HITO病院	0.0	0.0	
31160NHO四国がんセンター	0.0	0.0	
90062市立大洲病院	0.0	0.0	
90137専心会西条市立周桑病..	0.0	0.0	
90246JCHO宇和島病院	0.0	0.0	
90248北斗会大洲中央病院	0.0	0.0	

○レセプトデータ（NDB）を活用した提供状況の分析をみると、夜間・休日における提供状況や入院医療、特に重症児や手術における提供状況に地域差が見られる。（厚生労働省「医療提供体制（CSR）」（医療計画作成支援データブック収載））

○ただし宇摩圏域及び新居浜・西条圏域においては、広域二次救急医療体制を構築していることを考慮に入れる必要がある。

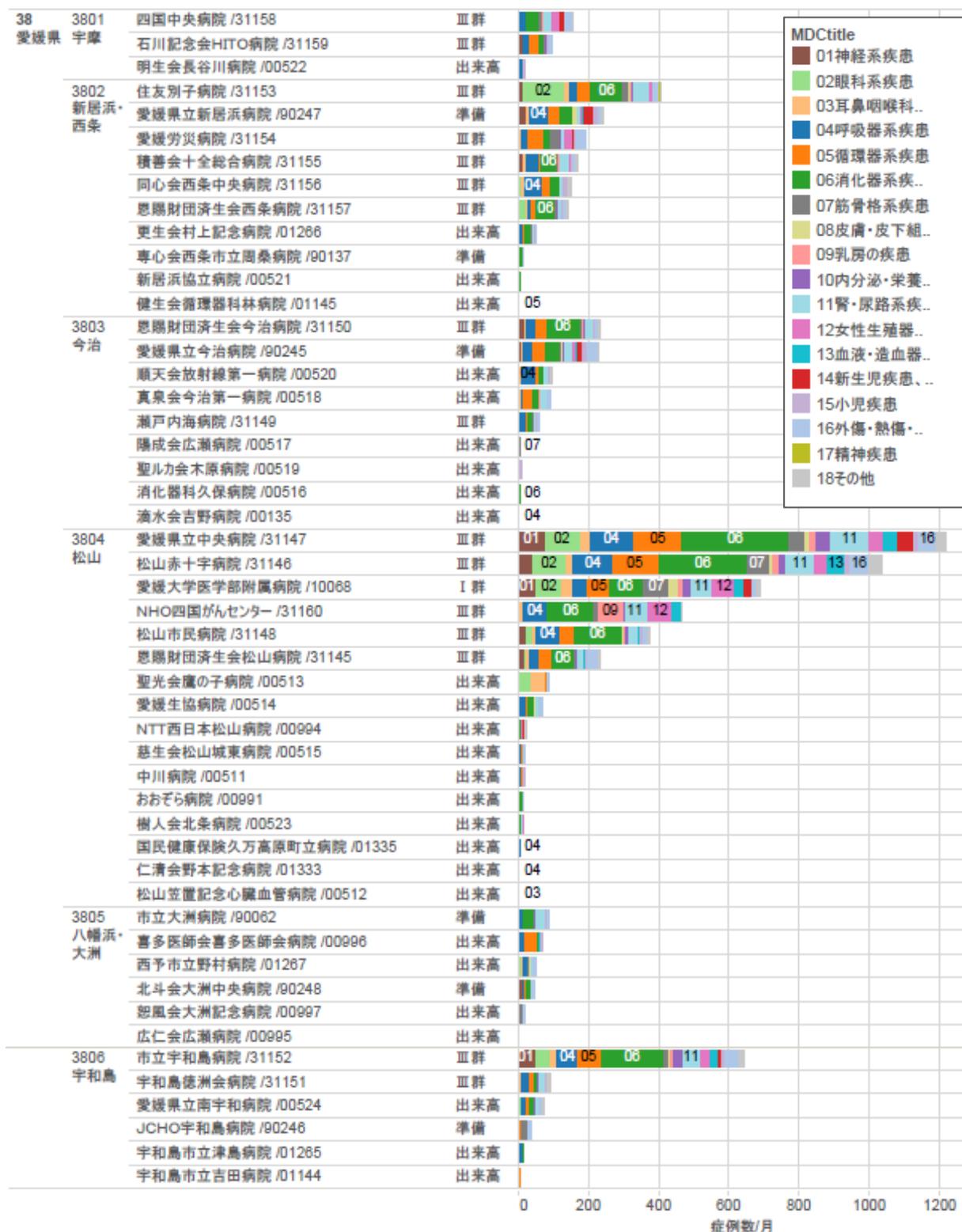
		宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
小児外来診療体制（6才未満）	外来	92.9	114.7	115.8	115.0	103.1	112.0
小児科外来診療料（3才未満、再掲）	外来	145.3	110.8	143.4	109.1	119.6	104.3
小児夜間・休日診療体制（6才未満）	入院	<u>44.7</u>	138.5	<u>78.9</u>	<u>79.7</u>	<u>58.9</u>	<u>75.0</u>
	外来	<u>63.2</u>	<u>72.2</u>	149.1	97.2	<u>81.2</u>	122.9
	全体	<u>63.0</u>	<u>73.2</u>	148.1	96.9	<u>80.9</u>	122.2
乳幼児の入院医療体制	入院	125.2	342.7	299.8	118.6	248.3	88.2
小児の入院医療体制	入院	<u>16.6</u>	<u>58.0</u>		115.7		126.8
小児のICU	入院				198.3		
重症児の入院医療体制	入院	<u>52.5</u>	<u>57.8</u>	<u>33.5</u>	115.9	<u>55.3</u>	115.1
乳幼児・小児の救急医療体制	入院	176.6	933.2	1,104.0	48.1	699.8	<u>80.5</u>
乳幼児に対する手術体制	入院	<u>33.9</u>	115.3	<u>59.7</u>	171.4	<u>43.6</u>	<u>87.4</u>
	外来	110.8	195.8	191.0	182.9	141.7	121.4
	全体	98.4	182.8	169.8	181.1	125.9	115.9
小児科療養指導	外来	<u>10.2</u>	144.1	<u>84.9</u>	174.7	<u>20.4</u>	121.0
小児特定疾患カウンセリング	外来	127.0	<u>46.9</u>	90.0	<u>58.8</u>	117.8	378.2
小児悪性腫瘍患者指導管理	外来				283.0		

※SCRは、高齢化の影響を排するため、性・年齢調整を行ったレセプト件数を指標化したもの。

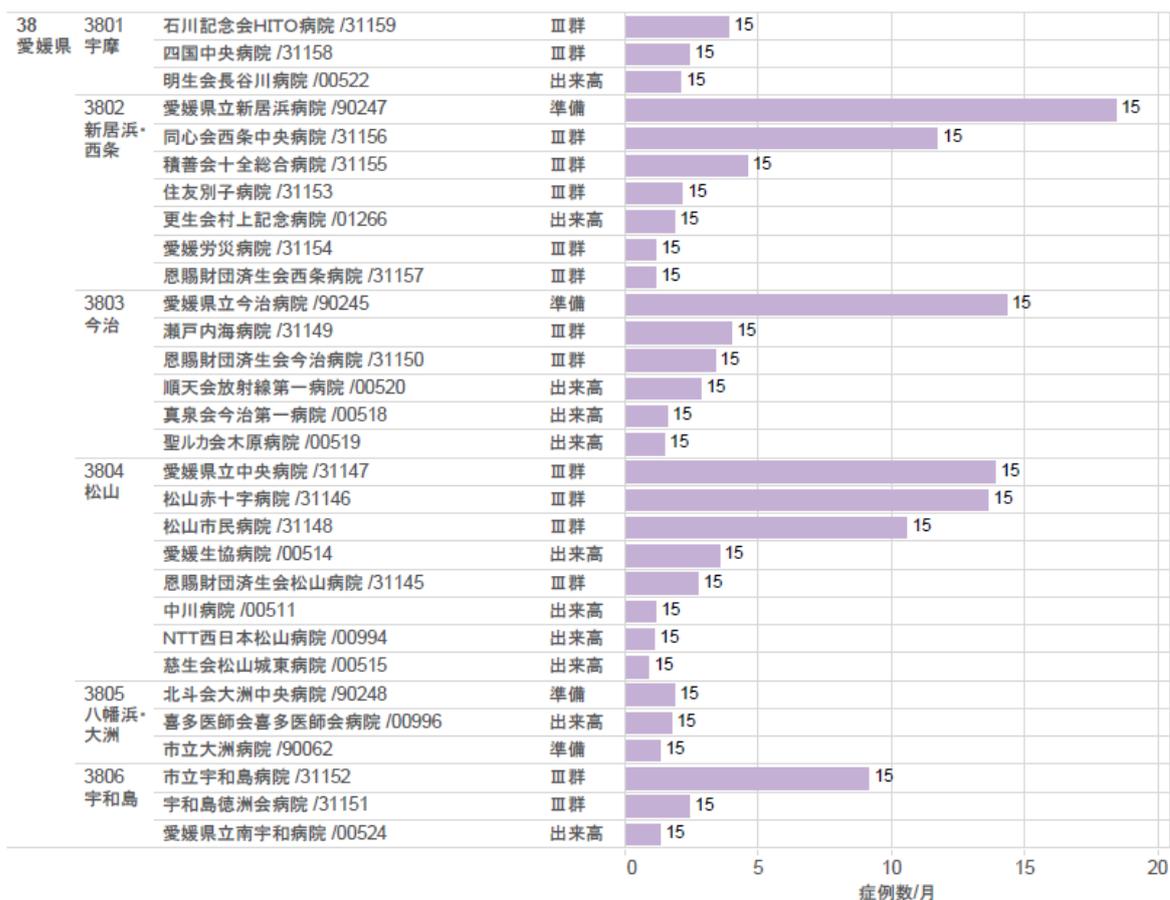
医療機関所在地で集計し、100が全国平均を示す。

○DPCデータをみると、いずれの圏域も小児患者を受け入れているが、新生児になると八幡浜・大洲圏域をはじめ受け入れている医療機関が限られ、圏域ごとにばらつきがみられる。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック収載））

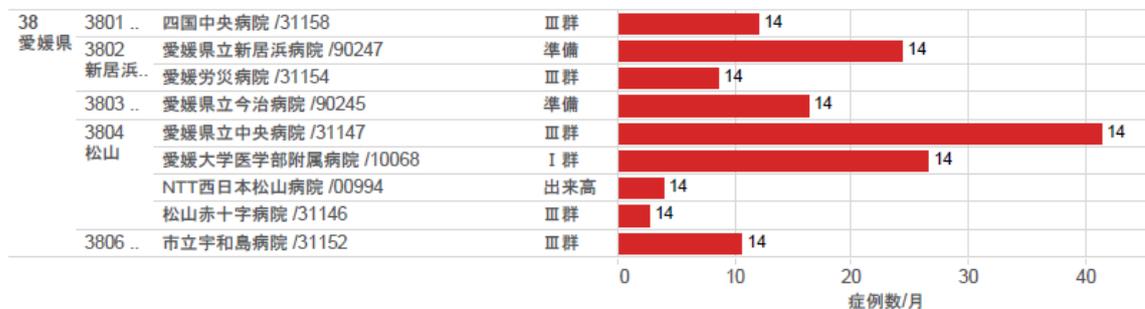
・MDC別患者数（全疾患）



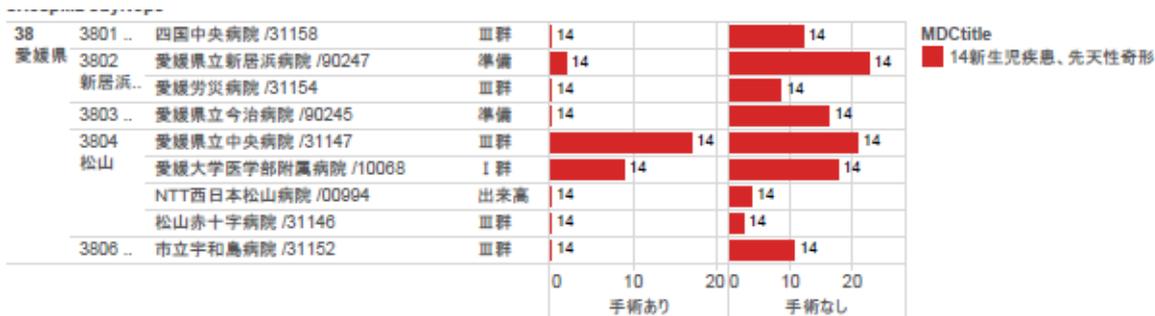
・MDC別患者数（小児疾患）



MDC別患者数（新生児）



○DPCデータにより手術の有無の状況（新生児）をみると、手術に係る受入状況では松山圏域及び新居浜・西条圏域に集中している。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック収録））



○レセプトデータ（NDB）を活用した受療動向（患者の流出入）の状況をみると、外来では概ね約80%の患者が自圏域で対応できているが、一部の患者は県外を含めて他圏域に流出している。（厚生労働省「受療動向可視化ツール」（医療計画作成支援データブック掲載））

○小児夜間・休日では、広域二次救急医療体制を構築している東予東部（宇摩圏域及び新居浜・西条圏域）において、宇摩圏域から新居浜・西条圏域への流出が見られる。

○入院医療になると流出入がみられ、特に重症児の入院医療になると松山圏域へ集中が見られる。

・小児外来診療体制（6才未満）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	徳島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	86.56%	6.70%		0.68%					6.07%		
新居浜・西条	0.38%	94.82%	1.00%	3.35%		0.35%			0.10%		
今治		0.92%	94.25%	3.87%			0.90%	0.07%			
松山		0.19%	0.21%	99.01%	0.27%	0.20%	0.04%			0.03%	0.05%
八幡浜・大洲		0.16%	0.15%	5.29%	90.06%	4.00%	0.20%				0.13%
宇和島				1.13%	5.20%	93.30%				0.24%	0.14%

・小児科外来診療料（3才未満、再掲）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県
宇摩	95.10%	4.90%					
新居浜・西条	1.07%	96.41%	1.07%	1.44%			
今治		0.43%	98.55%	0.69%			0.33%
松山		0.24%	0.27%	98.92%	0.41%	0.15%	
八幡浜・大洲				2.12%	96.68%	0.80%	0.40%
宇和島				0.82%		99.18%	

・小児夜間・休日診療体制（6才未満）（外来）

患者住所地	医療機関所在地							
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県
宇摩	77.64%	8.95%						13.42%
新居浜・西条		96.45%	2.05%	1.49%				
今治			98.24%	0.69%			1.08%	
松山			0.35%	98.98%	0.39%	0.28%		
八幡浜・大洲				6.89%	85.33%	7.78%		
宇和島					1.88%	98.12%		

・乳幼児の入院医療体制

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島
宇摩	<u>75.61%</u>	24.39%				
新居浜・西条		<u>90.81%</u>		9.19%		
今治			<u>90.46%</u>	9.54%		
松山				<u>100.00%</u>		
八幡浜・大洲					<u>100.00%</u>	
宇和島						<u>100.00%</u>

・小児の入院医療体制

		医療機関所在地					
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	香川県
宇摩							100.00%
新居浜・西条		<u>70.42%</u>		29.58%			
今治				<u>100.00%</u>			
松山				<u>100.00%</u>			
八幡浜・大洲				62.79%		37.21%	
宇和島				20.30%		<u>79.70%</u>	

・重症児の入院医療体制

		医療機関所在地									
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	広島県	徳島県	香川県	高知県	その他 県外
宇摩	<u>47.54%</u>	13.03%		9.15%				18.31%	7.75%	4.23%	
新居浜・西条	2.94%	<u>76.31%</u>		18.24%				2.52%			
今治			<u>52.88%</u>	33.42%		3.29%	3.84%	3.29%			3.29%
松山				<u>97.92%</u>				2.08%			
八幡浜・大洲				18.82%	<u>68.92%</u>	12.26%					
宇和島				3.30%		<u>85.85%</u>		8.25%			2.59%

・乳幼児・小児の救急医療体制

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条		<u>100.00%</u>				
今治			<u>100.00%</u>			
松山				<u>100.00%</u>		
八幡浜・大洲					<u>100.00%</u>	
宇和島						

・乳幼児に対する手術体制（入院）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条		71.74%		28.26%		
今治			42.31%	57.69%		
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				100.00%		
宇和島						

・乳幼児に対する手術体制（外来）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島
宇摩	100.00%					
新居浜・西条		100.00%				
今治			100.00%			
松山				100.00%		
八幡浜・大洲					100.00%	
宇和島						100.00%

・小児科療養指導

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島	香川県
宇摩		55.00%					45.00%
新居浜・西条		72.66%		27.34%			
今治			54.35%	45.65%			
松山				100.00%			
八幡浜・大洲				70.97%	29.03%		
宇和島				16.39%		83.61%	

・小児特定疾患カウンセリング

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島
宇摩	100.00%					
新居浜・西条		100.00%				
今治			91.98%	8.02%		
松山				100.00%		
八幡浜・大洲					90.76%	9.24%
宇和島						100.00%

・小児悪性腫瘍患者指導管理

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条						
今治						
松山				100.00%		
八幡浜・大洲				100.00%		
宇和島				100.00%		

※受療動向で対象となるレセプトは、国保、退職国保及び後期高齢者のみ。(カバー率：全体で約55%、65歳以上で約90%、75歳以上で100%)

3 小児医療提供体制等

○本県の小児科医数（主たる診療科を小児科とする医師数）は、平成16年と比較すると県全体としては増加傾向にあるが、半数以上が松山圏域に集中しており、地域偏在が顕著である。(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」)

○特に宇摩圏域と八幡浜・大洲圏域は特に少なくなっている。

[主たる診療科を小児科とする医師数]

圏域	H16	H18	H20	H22	H24	H26
宇摩	10 (73.7)	11 (83.7)	7 (55.5)	8 (65.9)	7 (58.8)	6 (51.8)
新居浜・西条	27 (79.1)	20 (59.6)	24 (72.6)	27 (82.8)	26 (80.5)	25 (79.3)
今治	20 (82.6)	20 (85.4)	22 (96.8)	20 (90.9)	18 (84.5)	19 (92.1)
松山	91 (96.9)	88 (96.0)	102 (113.2)	98 (110.5)	106 (121.0)	106 (122.4)
八幡浜・大洲	11 (48.9)	12 (56.0)	12 (59.3)	12 (63.4)	12 (67.0)	11 (64.7)
宇和島	15 (82.3)	16 (93.5)	14 (86.8)	14 (92.9)	17 (120.5)	17 (128.0)
県計	174 (84.3)	167 (83.4)	181 (92.9)	179 (94.5)	186 (100.5)	184 (101.9)

※カッコ内は小児人口（0歳～14歳）10万人あたり（小児人口は住民基本台帳年齢階級別人口による）

○小児科標榜医療施設数をみると、平成28年の病院は36施設、平成26年の診療所は166施設で、病院及び診療所ともに減少傾向にある。(厚生労働省「医療施設調査」)

○人口10万人あたりの施設数をみると、病院は20.6施設で全国を上回っているが、診療所では91.9施設で全国を下回っている状況である。(厚生労働省「医療施設調査」)

[小児科を標榜する一般病院数]

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	3,015	2,905	2,853	2,808	2,745	2,702	2,680	2,656	2,642	2,618
愛媛	42	40	39	38	38	39	39	38	38	36

(厚生労働省「医療施設調査」)

〔小児科を標榜する診療所数〕

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
全国	25,318	—	—	22,503	—	—	19,994	—	—	20,872
愛媛	221	—	—	194	—	—	166	—	—	166

※診療所は3年に一度の調査

(厚生労働省「医療施設調査」)

〔二次医療圏ごとの小児科標榜施設数〕

	県計	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
一般病院 (H28)	36	2	7	6	12	3	6
一般診療所 (H26)	166	9	31	17	51	33	25

(厚生労働省「医療施設調査」)

〔人口10万人対の小児科標榜医療施設数〕

	病院		診療所	
	H27	H28	H23	H26
全国	16.0	16.0	118.0	125.2
愛媛	21.4	20.6	88.6	91.9

※人口は各年の住民基本台帳人口の0歳から14歳の人口を用いて算出

(厚生労働省「医療施設調査」)

〔NICUを有する病院〕

(H26)	県計	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
病院数	5	—	1	1	3	—	—
病床数	42	—	6	3	33	—	—

(厚生労働省「医療施設調査」)

- 小児の初期救急医療体制は、休日夜間急患センターや在宅当番医制で対応しているが、地域によっては、小児科医ではなく内科医等が対応している状況にある。
- 二次救急医療体制は、主に病院群輪番制や救急告示施設により対応している。このうち、東予東部（宇摩圏域及び新居浜・西条圏域）は広域小児二次救急医療体制を構築し、松山圏域及び宇和島圏域は小児の二次救急医療体制を構築している。その他の地域は、小児科医が対応していない場合、内科医等により対応している。
- 三次救急については、東予、中予、南予の救命救急センターと愛媛大学医学部附属病院が対応している。

[小児の救急体制]

二次医療圏	初期救急医療体制	二次救急医療体制
宇摩	<ul style="list-style-type: none"> ・四国中央市急患医療センター ・在宅当番医制（宇摩医師会） 	県立新居浜病院、四国中央病院及び西条中央病院の3病院による広域輪番制を実施
新居浜・西条	<ul style="list-style-type: none"> ・新居浜市医師会内科小児科急患センター ・西条市休日夜間急患センター ・在宅当番医制（西条市医師会） 	
今治	<ul style="list-style-type: none"> ・今治市医師会市民病院休日夜間急患センター ・在宅当番医制（今治市医師会） 	県立今治病院、済生会今治病院、瀬戸内海病院の3病院を中心に対応。
松山	<ul style="list-style-type: none"> ・松山市急患医療センター ・松山市医師会休日診療所 	松山赤十字病院、松山赤十字病院、松山市民病院が小児救急輪番を構成し対応。
八幡浜・大洲	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜地区施設事務組合休日・夜間急患センター ・在宅当番医制（喜多医師会・八幡浜医師会・西予市医師会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜地区の輪番は土曜日及び火曜日の夜間帯を除き、市立八幡浜総合病院が対応。（当直又はオンコールで対応）（必要に応じて市立宇和島病院等に転送） ・大洲喜多地区の輪番は木曜日の夜間帯を除き、大洲中央病院、加戸病院、市立大洲病院、大洲記念病院の4病院で対応（当直の内科医等が対応）。（必要に応じて市立八幡浜総合病院、市立宇和島病院等に転送） ・西予地区の輪番は野村病院と西予市民病院が交代で対応。（当直の内科医等が対応）
宇和島	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制（宇和島医師会、南宇和郡医師会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立宇和島病院が対応 ・南宇和地区は、県立南宇和病院が当直又はオンコールで対応

○その他の機能を有する医療機関は別表参照のこと。

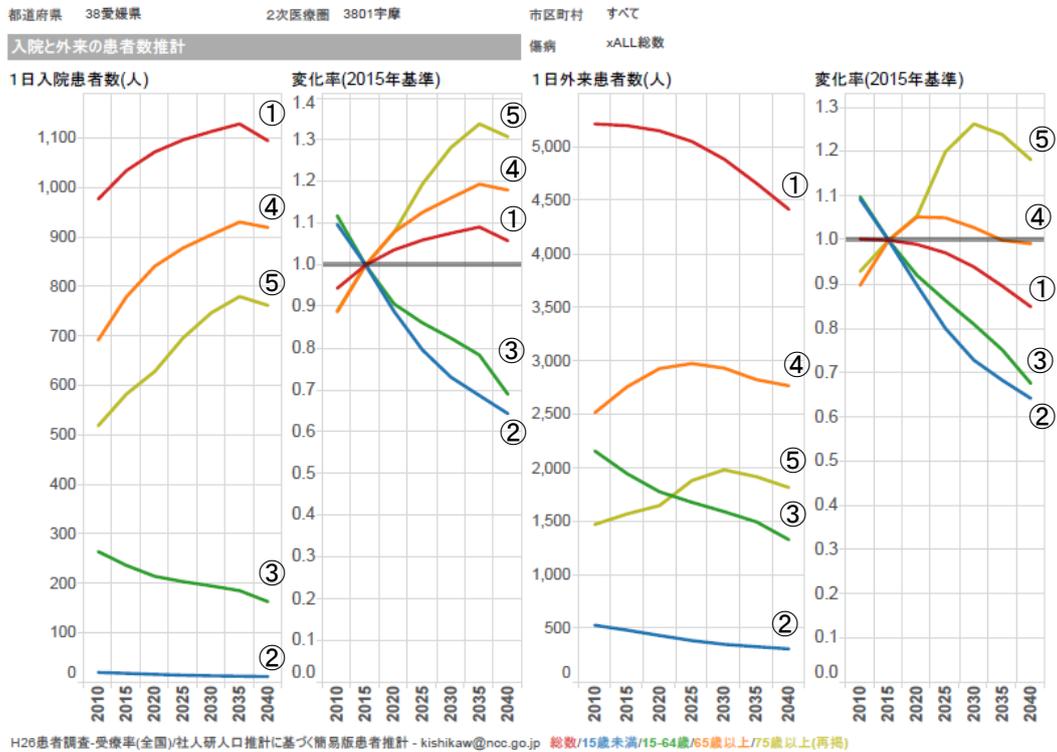
4 患者推計

○患者調査に基づく圏域別患者推計をみると、いずれの圏域も入院と外来ともに15歳未満の患者数は減少することが予想され、医療機能の分化・連携による医療資源の最適化を検討する必要がある。（厚生労働省「DPC調査（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン光一）」（医療計画作成支援データブック収載））

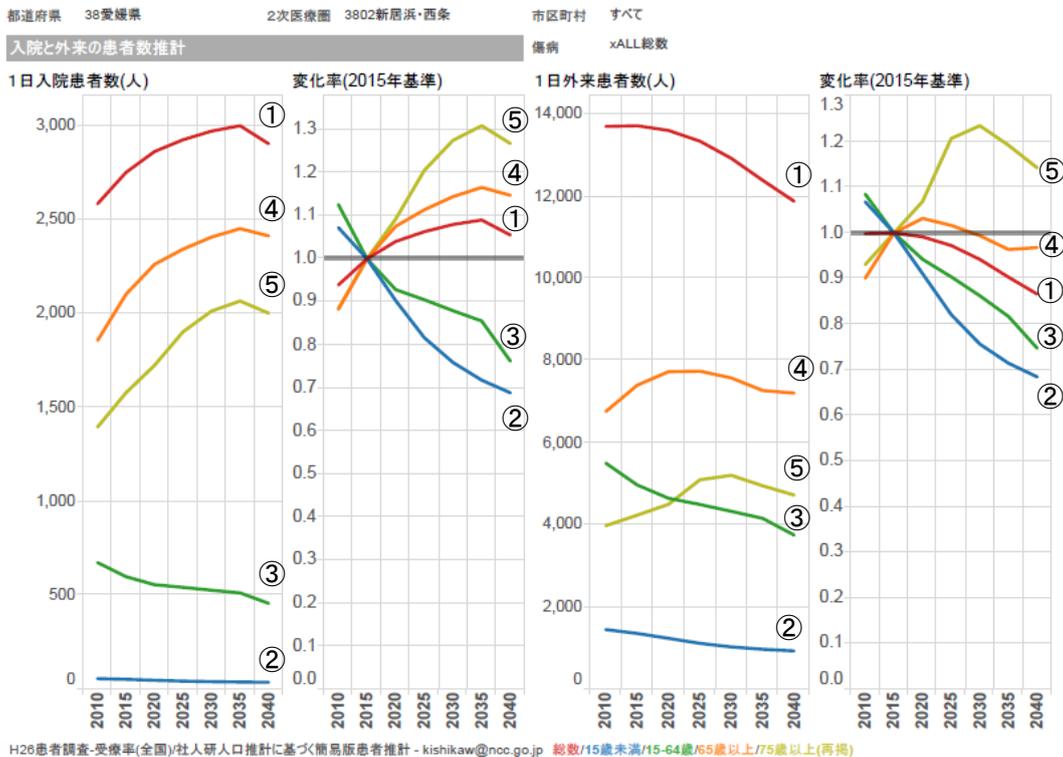
[平成 26 年患者調査・受療率（全国）及び国立社会保障・人口問題研究所人口推計に基づく患者推計]（国立がん研究センター社会と健康研究センター臨床経済研究室長 石川ベンジャミン 光一（医療計画作成支援データブック収載））

【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

・宇摩圏域

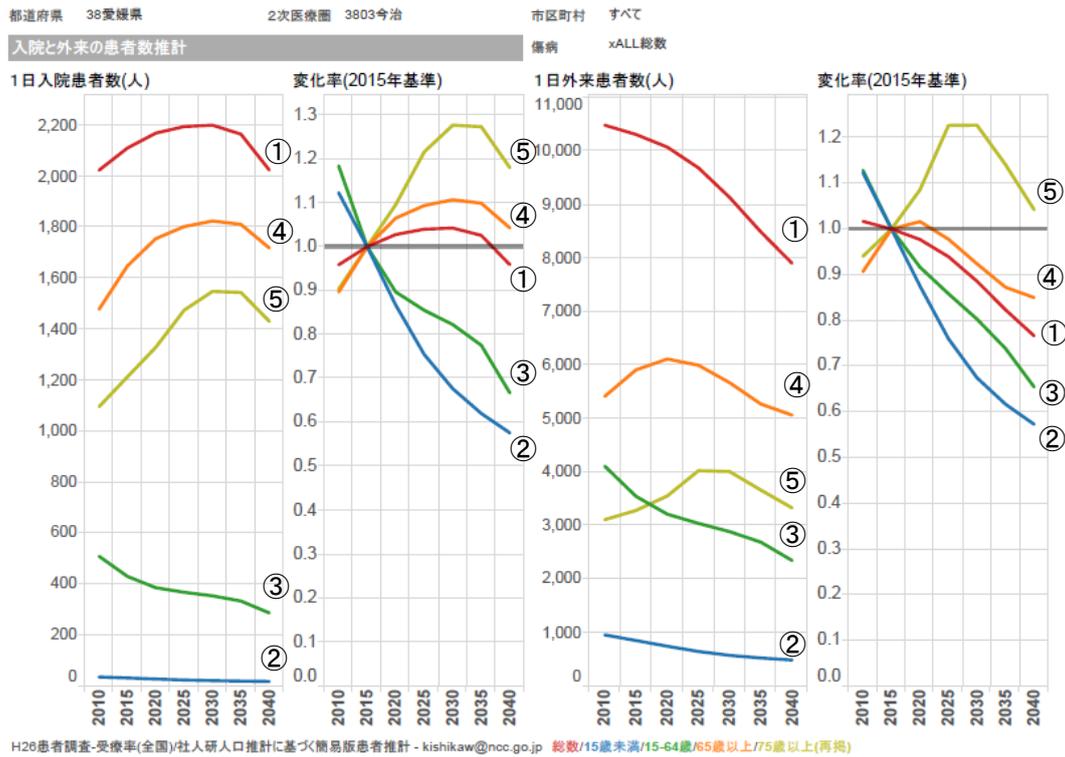


・新居浜・西条圏域

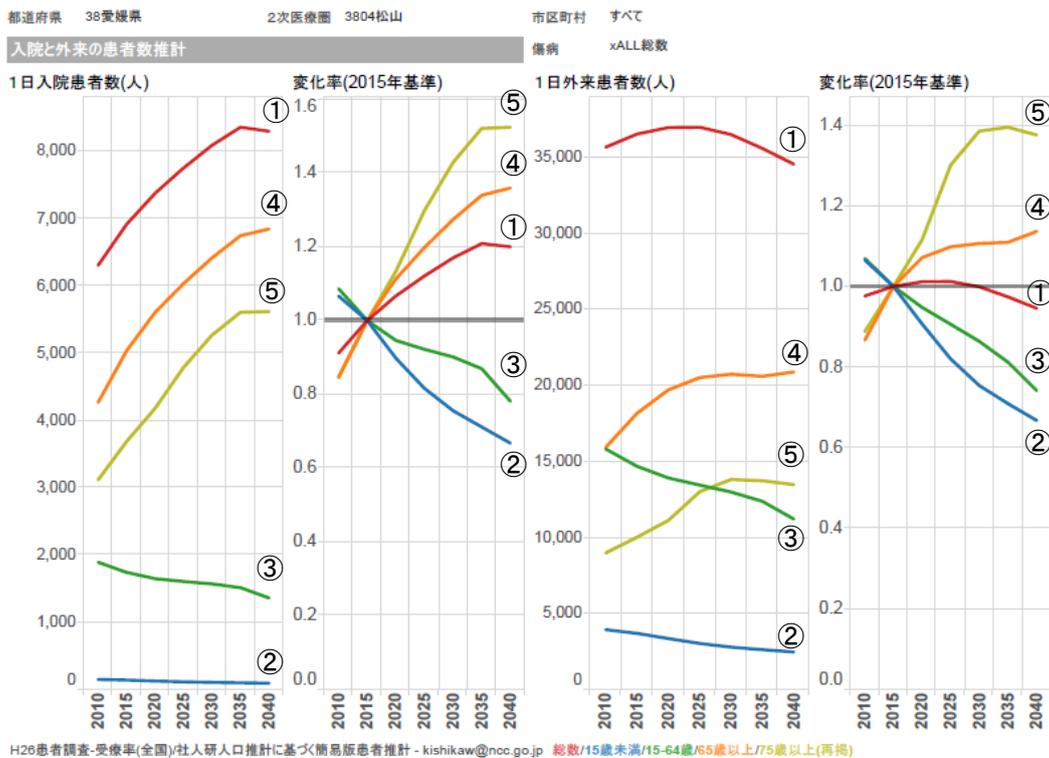


【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）

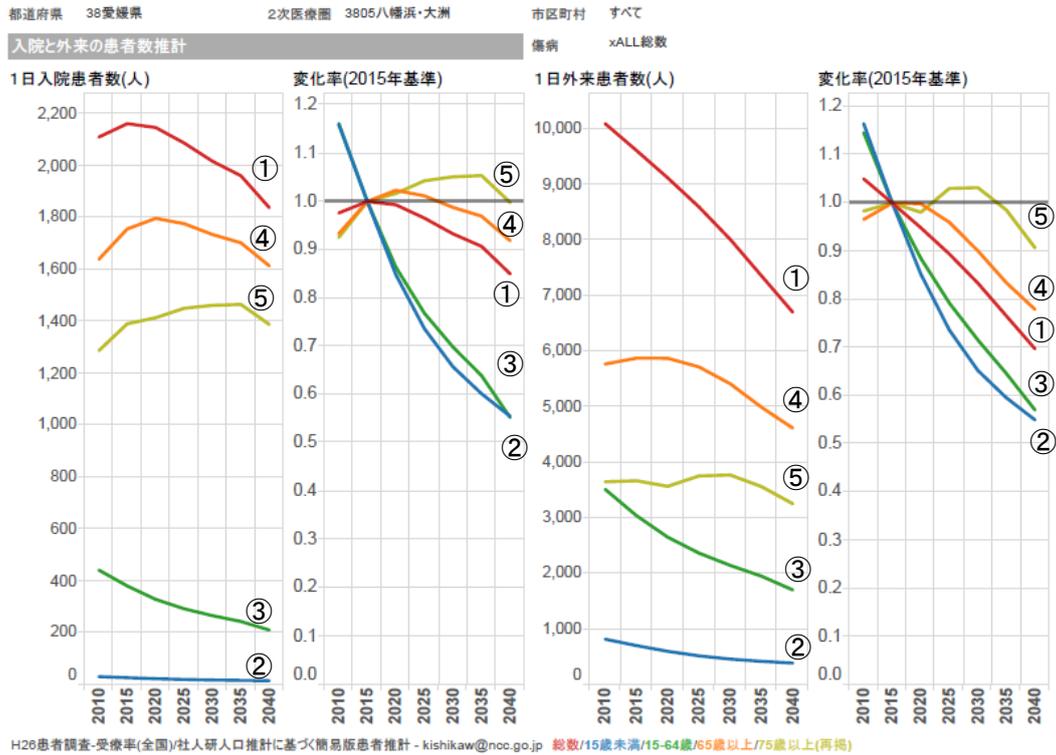
・今治圏域



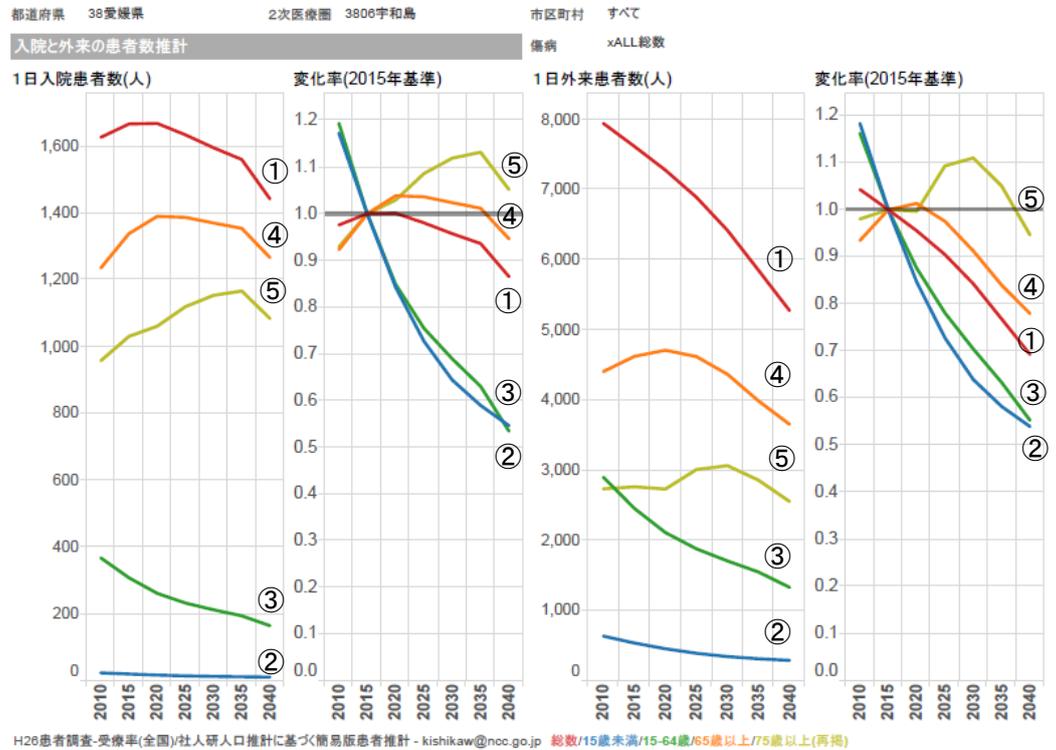
・松山圏域



【凡例】①：総数、②：15歳未満、③15～64歳、④65歳以上、⑤75歳以上（再掲）
 ・八幡浜・大洲圏域



・宇和島圏域



機能別医療機関例（えひめ医療情報ネットから検索）

機能	所在地	医療機関名
小児外科手術	四国中央市	四国中央病院
	新居浜市	県立新居浜病院、十全総合病院
	西条市	西条中央病院、済生会西条病院
	今治市	済生会今治病院、広瀬クリニック、広瀬病院
	松山市	河田外科脳神経外科医院、県立中央病院、土居外科胃腸科医院、松山笠置記念心臓血管病院、松山市民病院、松山赤十字病院、渡部病院
	東温市	愛媛大学医学部附属病院
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	宇和島市	市立宇和島病院
小児入院治療	四国中央市	四国中央病院
	新居浜市	県立新居浜病院
	西条市	西条中央病院
	今治市	今治セントラル病院、県立今治病院、済生会今治病院
	松山市	石丸小児科、N T T 西日本松山病院、愛媛生協病院、県立中央病院、松山市民病院、松山赤十字病院、渡部病院
	宇和島市	市立宇和島病院
	鬼北町	旭川荘南愛媛病院
救命救急センター	新居浜市	県立新居浜病院
	松山市	県立中央病院
	宇和島市	市立宇和島病院
小児集中治療室（P I C U）		なし
新生児集中治療室（N I C U）	新居浜市	県立新居浜病院
	今治市	県立今治病院
	松山市	県立中央病院、松山赤十字病院
	東温市	愛媛大学医学部附属病院
	宇和島市	市立宇和島病院（※医療施設調査（厚生労働省）には計上されていない。）
母体胎児集中治療室（M F I C U）	松山市	県立中央病院
地域医療連携体制に関する窓口を有する小児科標榜施設	四国中央市	四国中央病院
	新居浜市	愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院、住友別子病院
	西条市	西条中央病院、西条市立周桑病院、村上記念病院
	今治市	有津むらかみクリニック、大三島中央病院、県立今治病院、済生会今治病院、鈴木病院、瀬戸内海病院
	松山市	天山病院、N T T 西日本松山病院、愛媛生協病院、県立中央病院、東明病院、松山市民病院、松山赤十字病院
	伊予市	伊予病院
	東温市	愛媛大学医学部附属病院、子ども療育センター、愛媛医療センター
	久万高原町	国民健康保険久万高原町立病院
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	大洲市	市立大洲病院
	西予市	西予市立野村病院
	宇和島市	市立宇和島病院、宇和島市立津島病院
	鬼北町	旭川荘南愛媛病院
	愛南町	県立南宇和病院

在宅訪問診療を行う 小児科標榜医療機関	四国中央市	福田医院、四国中央市国民健康保険新宮診療所、山口クリニック
	新居浜市	井石内科医院、岩崎病院、かとうクリニック、十全総合病院、住友別子病院
	西条市	河野内科、こまつ医院、西条市立周桑病院、田中内科、福田医院、村上記念病院
	今治市	相原内科クリニック、有津むらかみクリニック、大三島中央病院、喜多島診療所、鈴木病院、瀬戸内海病院、美須賀病院、秦医院
	松山市	天山病院、愛媛生協病院、北吉田診療所、田辺医院、檜垣小児科内科医院
	伊予市	伊予病院、佐礼谷診療所、橘医院、中山クリニック、古川医院
	東温市	愛媛医療センター、西野内科クリニック
	久万高原町	国民健康保険久万高原町立病院、みかわクリニック
	八幡浜市	穴井診療所、谷池内科・胃腸科
	大洲市	浦岡医院、大洲市国民健康保険川辺診療所、久保内科循環器科あじき医院、笹田循環器科内科医院、西予市国民健康保険周木診療所、西予市立野村病院、田之浜あじき医院、西予市国民健康保険二及診療所
	西予市	
	内子町	小川医院
	伊方町	伊方町国民健康保険串診療所、伊方町国民健康保険瀬戸診療所
	宇和島市	あべ医院、上田小児科・外科、宇和島市国民健康保険日振島診療所、宇和島市国民健康保険日振島診療所喜路出張所、宇和島市国民健康保険日振島診療所能登出張所、宇和島市国民健康保険嘉島診療所、宇和島市国民健康保険蔭淵診療所、宇和島市国民健康保険下波診療所、宇和島市立津島病院、宇和島市国民健康保険戸島診療所、宇和島市国民健康保険遊子診療所
	松野町	松野町国民健康保険中央診療所
	鬼北町	旭川荘南愛媛病院、大野内科医院、鬼北町立北宇和病院、鬼北町国民健康保険日吉診療所、鬼北町国民健康保険三島診療所
	愛南町	岡沢クリニック、浜口医院
中核病院小児科 ^{注1} (小児科学会)	東温市	愛媛大学医学部附属病院
地域小児科センター ^{注1} (小児科学会)	新居浜市	愛媛県立新居浜病院
	今治市	愛媛県立今治病院
	松山市	愛媛県立中央病院、松山赤十字病院
	宇和島市	市立宇和島病院
地域振興小児科A ^{注1} (小児科学会)	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
地域振興小児科B ^{注1} (小児科学会)	四国中央市	四国中央病院
高次機能病院 ^{注2}	東温市	愛媛大学医学部附属病院
連携強化病院 ^{注2}	今治市	県立今治病院
	松山市	県立中央病院、松山赤十字病院
	宇和島市	市立宇和島病院
	四国中央市	四国中央病院
連携病院 ^{注2}	新居浜市	県立新居浜病院
	西条市	西条中央病院
	今治市	済生会今治病院
	松山市	松山市民病院
	八幡浜市	市立八幡浜総合病院
	愛南町	県立南宇和病院

注1) 日本小児科学会

中核病院小児科	他の中核病院小児科や地域小児科センターとネットワークを構築して網羅的・包括的な高次医療・三次医療を提供し、医療人材育成・交流などを含めて、地域医療に貢献するもので、大学病院（本院）および総合小児医療施設（小児病院等）を想定。中核病院小児科及び地域小児科センター両方の機能を併せ持つ大学病院は「総合型中核病院小児科」として両方の機能を登録。「地域小児科センター」機能を持たない中核病院小児科は「専門型中核病院小児科」として登録。
地域小児科センター	24時間体制で小児二次医療を提供し、原則として1つの地域小児医療圏（小児二次医療・小児保健事業を一体として行う圏域）に1か所を想定。ただし、地理的条件や対象人口など地域の実情に応じて決定。
地域振興小児科A	中核病院小児科・地域小児科センターがない医療圏における最大の病院小児科で、地域小児科センターあるいは中核病院小児科からのアクセスが不良（車で1時間以上）であるもの。
地域振興小児科B	中核病院小児科・地域小児科センターいずれかがある医療圏において、他の病院小児科医からアクセス不良（車で1時間以上）、地域に必須の小児保健機能、地域に必須の小児救急医療機能、地域に必須の新生児医療機能のいずれかの条件を満たすもの。

注2) 「小児科・産科における医療資源の集約化・重点化の推進について」（平成17年12月22日付け医政発第1222007号・雇発第1222007号・総経第422号・17文科高第642号厚生労働省医政局長・厚生労働省雇用均等・児童家庭局長・総務省自治財政局長・文部科学省高等教育局長連盟通知）

高次機能病院	<p>県内全域を対象に、高度医療等や診療支援を行うとともに、それらの機能を発揮するのに必要な医療従事者と施設設備を有するもの</p> <p>①診療機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次機能を有し、高度な小児医療や幅広い分野の専門医療を行う。 ・小児の救命救急医療を24時間365日体制で実施する。 <p>②診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携強化病院等との連携により、高度専門的な診断・検査・治療を実施するとともに、人材の育成・交流を図る。 ・小児医療を担う医療施設に対し、医師派遣や研修、共同診療の場の提供等の支援を行う。
連携強化病院	<p>小児医療圏の拠点として、専門医療や救急医療、診療支援を行うとともに、それらの機能を発揮するのに必要な医療従事者と施設設備を有するもの</p> <p>①診療機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児医療の重要分野である神経、循環器、新生児の専門医療を行うとともに、他の連携強化病院と機能分担しつつ、小児医療圏に必要なその他の専門分野の小児医療を行う。 ・入院対応を必要とする救急について、24時間対応する。 ・必要に応じて、NICU（新生児集中治療管理室）を設置し、地域周産期母子医療センターに相当する新生児医療の提供を行う。 <p>②診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期救急医療機関から転送された重症患者の受入等を行う。 ・地域の医師に、研修の機会や診療機器の共同利用、開放型病院としての機会等を提供する。
連携病院	<p>地域の中核として、入院を含む一般的な小児医療に対応するとともに、それらの機能を発揮するのに必要な医療従事者と施設設備を有するもの</p> <p>①診療機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院も含め、地域に必要な小児医療を行うとともに、連携強化病院と連携しつつ、地域に必要な専門医療を行う。 <p>②診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、初期救急医療機関から転送された患者の受入等を行う。 ・必要に応じて、休日夜間の初期救急体制に参加する。 ・地域の医師に、診療機器の共同利用や共同診療の機会を提供する。

在宅医療の現状について

1 全国の状況

○平成 27 年の人口 1 億 2,709 万人のうち、65 歳以上の高齢者人口は 3,347 万人（26.6%）となっており、高齢者人口、割合ともに増加傾向にある。将来推計では、総人口は減少していくものの 65 歳以上の高齢者人口は増加する見込みとなっている。（平成 27 年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」）

（単位：千人、%）

	H22 年	H27 年	H32 年	H37 年
総人口	128,057	127,095	125,325	122,544
65 歳以上（高齢者人口）	29,246	33,465	36,192	36,771
65 歳以上割合	23.0	26.6	28.9	30.0

※H27 年までは実績値、H32 年以降は推計値

○平成 27 年の一般世帯数 5,333 万世帯のうち、65 歳以上の高齢者がいる世帯数は 2,171 万世帯である。また、65 歳以上の高齢者のいる世帯のうち、夫婦のみの世帯は 642 万世帯、単独世帯は 593 万世帯となっている。（平成 27 年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯の将来推計（全国推計）（平成 25 年 1 月推計）」）

（単位：千）

	H22 年	H27 年	H32 年	H37 年
一般世帯数	51,842	53,332	53,053	52,439
65 歳以上がいる世帯 （H32～37 年は世帯主 65 歳以上）	19,338	21,713	20,060	20,154
夫婦のみの世帯	5,525	6,420	6,512	6,453
単独世帯	4,791	5,928	6,679	7,007

※H27 年までは実績値、H32 年以降は推計値

○平成 28 年の在宅患者訪問診療を算定している件数は、同一建物居住者以外で 326,940 件、同一建物居住者で 347,367 件と増加傾向にある。（厚生労働省「平成 28 年社会医療行為別統計」）

	H22 年	H24 年	H26 年	H28 年
在宅患者訪問診療 同一建物居住者以外	169,530	194,870	343,356	326,940
在宅患者訪問診療 同一建物居住者	132,032	244,963	302,636	347,367

2 愛媛県の状況

(1) 患者の状況

○平成 27 年の人口 139 万人のうち、65 歳以上の高齢者人口は 42 万人となっており、高齢者人口、割合ともに増加傾向にあり、将来推計では総人口は減少、高齢者割合は増加していく傾向となっている。（平成 27 年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」）

(単位：千人、%)

	H22年	H27年	H32年	H37年
総人口	1,431	1,385	1,329	1,269
65歳以上(高齢者人口)	379	417	442	440
65歳以上割合	26.6	30.6	33.2	34.6

※H27年までは実績値、H32年以降は推計値

○平成27年の一般世帯数5,333万世帯のうち、65歳以上の高齢者がいる世帯数は2,171万世帯である。また、65歳以上の高齢者のいる世帯のうち、夫婦のみの世帯は642万世帯、単独世帯は593万世帯となっている。(平成27年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「平成26年日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」)

	H22年	H27年	H32年	H37年
一般世帯数	589,676	590,629	574,181	555,304
65歳以上が いる世帯 (H32~37年は世帯主65歳以上)	247,095	268,765	245,776	242,059
夫婦のみの世帯	77,328	85,215	85,026	82,175
単独世帯	69,375	81,356	88,574	90,499

※H27年までは実績値、H32年以降は推計値

○在宅医療を受ける患者(往診、訪問診療、訪問看護のレセプト件数)は高齢になるにつれ増加しており、65歳以上の患者の割合は9割以上となっています。(平成27年度NDBデータ)

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島	県計
0~14歳	0	18	26	160	0	0	204
15~64歳	686	1,449	1,320	4,814	1,930	1,200	11,399
65~74歳	465	1,361	781	5,993	1,458	862	10,920
75歳以上	2,041	13,213	6,844	67,034	17,614	8,972	115,718
全年齢	3,192	16,044	9,082	78,079	21,070	11,099	138,566

※NDBデータはレセプトデータを基に集計したものです。

(2) 医療提供体制

○人口10万人あたりの訪問診療を実施している診療所・病院数は、八幡浜・大洲、宇和島圏域で比較的多く、宇摩、今治圏域で比較的少なくなっている。(平成27年度NDBデータ)

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和 島	県計
診療所・病院数	14	49	33	183	61	41	381
人口10万人あたり	15.4	20.7	19.0	28.0	40.0	33.9	26.7

○人口 10 万人あたりの在宅療養支援診療所数は、松山、八幡浜・大洲圏域が比較的多く、宇摩圏域で比較的少なくなっている。また、在宅療養支援病院数は今治、松山圏域で比較的多くなっている。(平成 27 年度 NDB データ)

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島	県計
在宅療養支援診療所 施設数	6	22	15	123	30	12	208
在宅療養支援診療所 人口 10 万人あたり	6.6	9.3	8.6	18.9	19.7	9.9	14.6
在宅療養支援病院 施設数	0	2	4	10	1	0	17
在宅療養支援病院 人口 10 万人あたり	0	0.8	2.3	1.5	0.7	0	1.2

○人口 10 万人あたりの歯科訪問診療を実施している診療所数は、宇和島圏域で比較的多く、新居浜・西条圏域で比較的少なくなっている。(厚生労働省「平成 26 年度医療施設調査」)

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島	県計
診療所・病院数	5	8	13	57	13	22	118
人口 10 万人あたり	5.5	3.4	7.5	8.7	8.5	18.2	8.3

○人口 10 万人あたりの訪問看護事業所数は、松山、宇和島圏域で比較的多く、今治圏域で比較的少なくなっている。(平成 25 年介護サービス施設・事業所調査)

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島	県計
訪問看護事業所数	6	14	5	49	9	11	94
人口 10 万人あたり	6.5	5.9	2.8	7.5	5.8	8.9	6.6

○人口 10 万人あたりの訪問薬剤指導を実施する薬局数は、松山、八幡浜・大洲圏域で比較的多くなっている。(平成 27 年度 NDB データ)

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島	県計
薬局数	*	4	4	26	7	*	41
人口 10 万人あたり	*	1.7	2.3	4.0	4.6	*	2.9

(注) *は 1 か 2 を表し、県計には含んでいない。

○人口 10 万人あたりの在宅看取り（ターミナルケア）を実施している診療所・病院数は、松山、八幡浜・大洲、宇和島圏域で比較的多く、宇摩、新居浜・西条、今治圏域で比較的少なくなっている。（平成 27 年度 NDB データ）

	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大洲	宇和島	県計
診療所・病院数	6	20	12	91	24	21	174
人口 10 万人あたり	6.6	8.5	6.9	13.9	15.7	17.4	12.2

○レセプトデータ（NDB）を活用した提供状況の分析をみると、往診や訪問診療、在宅リハビリテーションの提供に関して、提供状況に地域差が見られる。（厚生労働省「医療提供体制（SCR）」（医療計画作成支援データブック掲載））

項目	区分	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
病院が患者に対し、退院支援・調整を実施	入院	60.4	78.6	59.9	114.7	61.8	63.6
	外来	64.8	95.4	73.7	137.3	114.1	70.0
在宅で実施されている各指導管理	入院	39.5	132.8	92.7	127.0	92.4	99.6
	外来	64.8	95.4	73.7	137.3	114.1	70.0
	全体	64.1	96.4	74.2	137.0	113.5	70.8
往診	外来	62.2	61.0	57.1	167.5	114.1	81.9
緊急往診	外来	29.3	94.7	48.5	153.6	96.6	55.7
在宅支援	外来	9.4	58.8	30.3	177.4	80.9	33.0
訪問診療（同一建物）	外来	18.0	96.5	62.4	168.2	139.6	45.7
訪問診療（特定施設）	外来	3.4	31.9	11.7	146.2	49.8	70.6
訪問診療（居宅）	外来	25.8	61.4	46.6	179.9	114.6	61.2
訪問診療（全体）	外来	22.9	73.3	44.4	152.2	99.1	65.3
訪問看護提供	外来	201.3	128.1	118.3	111.2	347.6	293.6
ターミナルケア提供	外来	34.7	69.4	45.9	194.4	86.8	46.0
看取り（在宅患者）	外来	39.9	63.6	46.9	183.5	74.3	47.4
看取り（有床診）	入院		31.4	280.6	90.1	36.3	265.3
死亡診断加算	外来	55.6	70.5	80.7	120.1	114.9	110.0
在宅リハビリテーションの提供	外来	137.2	146.5	187.2	42.9	200.5	86.4
療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	245.7	83.0	203.4	141.4	268.8	109.0
在宅療養中の患者の緊急入院を受入れ	入院		74.3		49.7	2.7	35.5
在宅療養中の重症児の入院を受入れ	入院		6.5	81.6	45.2		80.3

※SCRは、高齢化の影響を排するため、性・年齢調整を行ったレセプト件数を指標化したもの。

医療機関所在地で集計し、100 が全国平均を示す。

(3) 受療動向

○レセプトデータ（NDB）を活用した受療動向（患者の流入）の状況をみると、概ね約 70% の患者を自圏域で対応できているが、一部の患者は主に隣接する圏域に流出している。（厚生労働省「受療動向可視化ツール」（医療計画作成支援データブック掲載））

○特に在宅で実施されている各指導管理（入院）では宇摩圏域、在宅療養中の患者の緊急入院を受入れ（入院）では宇摩、八幡浜・大洲圏域での流出が多く、地域によって完結率に差が生じている。

○また、訪問診療では、主に患者住所地と隣接する圏域の医療機関と連携している傾向がみられる。

・病院が患者に対し、退院支援・調整を実施（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	76.62%	14.23%		5.46%				3.68%		
新居浜・西条	0.85%	82.92%	2.70%	13.52%						
今治		0.99%	68.14%	17.01%			13.28%			0.58%
松山				100%						
八幡浜・大洲				24.06%	73.60%	2.34%				
宇和島				6.84%	1.40%	90.53%			1.23%	

・在宅で実施されている各指導管理（区分：入院）

患者住所地	医療機関所在地							
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県
宇摩	48.67%	25.66%		10.62%				15.04%
新居浜・西条		87.32%		12.68%				
今治			82.17%	14.01%			3.82%	
松山				100%				
八幡浜・大洲				16.04%	83.96%			
宇和島				6.90%		93.10%		

・在宅で実施されている各指導管理（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	74.05%	12.69%		3.02%				9.44%	0.51%	0.29%
新居浜・西条	0.58%	89.93%	1.10%	8.01%						0.38%
今治		1.18%	88.07%	5.71%			4.43%			0.61%
松山		0.09%	0.06%	99.56%	0.12%			0.07%	0.05%	0.05%
八幡浜・大洲				6.23%	91.43%	2.11%		0.11%		0.12%
宇和島				5.20%	2.66%	91.44%			0.47%	0.23%

・往診（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地								
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	その他県外
宇摩	94.26%	4.11%						1.62%	
新居浜・西条		96.71%		3.29%					
今治			94.71%	4.22%			1.07%		
松山				99.56%	0.19%			0.08%	0.17%
八幡浜・大洲				6.38%	93.11%	0.51%			
宇和島				1.92%	3.93%	93.59%			0.56%

・緊急往診（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地					
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	100%					
新居浜・西条		100%				
今治			94.93%	5.07%		
松山				100%		
八幡浜・大洲				5.36%	94.64%	
宇和島						100%

・在宅支援（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	65.34%	19.97%						7.03%			7.66%
新居浜・西条		90.61%	0.13%	4.51%			0.20%	0.16%	0.16%	0.16%	4.07%
今治			84.83%	7.45%			1.60%				6.12%
松山				98.60%	0.66%	0.03%	0.09%	0.05%			0.57%
八幡浜・大洲				10.63%	88.21%	0.57%					0.59%
宇和島				6.18%	9.85%	81.48%	0.39%	0.39%			1.71%

・訪問診療（同一建物）（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	74.69%	18.30%						7.02%			
新居浜・西条	0.36%	93.37%	2.15%	1.55%					0.23%	0.23%	2.11%
今治			93.06%	2.47%			2.62%				1.85%
松山				98.00%	1.31%		0.14%	0.06%			0.49%
八幡浜・大洲				2.98%	96.20%	0.66%		0.16%			
宇和島				3.81%	1.76%	92.98%				0.67%	0.78%

・訪問診療（特定施設）（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地									
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	高知県	その他県外
宇摩	33.61%	16.81%						20.17%		29.41%
新居浜・西条		71.53%	0.66%	10.30%			0.71%	1.01%	0.71%	15.08%
今治		2.68%	46.73%	29.91%			5.36%			15.32%
松山				97.85%	0.34%	0.08%	0.11%	0.11%		1.51%
八幡浜・大洲				27.89%	69.46%	1.26%				1.42%
宇和島				7.16%		88.31%	0.60%	1.11%	0.91%	1.91%

・訪問診療（居宅）（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	87.08%	9.92%									3.00%
新居浜・西条		94.80%		3.80%					0.18%	0.18%	1.04%
今治			93.70%	4.34%							1.96%
松山				99.05%	0.59%		0.02%	0.05%	0.03%		0.26%
八幡浜・大洲				7.35%	91.91%	0.34%		0.18%		0.10%	0.12%
宇和島				3.31%	9.17%	86.25%	0.25%			0.29%	0.73%

・訪問診療（全体）（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地										
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他県外
宇摩	84.28%	8.45%						3.54%			3.73%
新居浜・西条	0.19%	92.12%	0.97%	2.97%			0.15%	0.14%	0.19%	0.19%	3.08%
今治		0.32%	89.45%	4.86%			1.81%				3.56%
松山				98.62%	0.60%	0.02%	0.08%	0.06%	0.03%		0.59%
八幡浜・大洲				7.04%	91.79%	0.49%		0.15%		0.07%	0.46%
宇和島				3.21%	5.65%	89.19%	0.15%	0.40%		0.54%	0.86%

・訪問看護提供（区分：外来）

患者住所地	医療機関所在地						
	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	香川県
宇摩	97.47%	2.53%					
新居浜・西条	8.74%	83.92%	6.49%				0.85%
今治			96.91%	3.09%			
松山				99.56%	0.44%		
八幡浜・大洲				0.84%	99.16%		
宇和島					9.82%	90.18%	

・ターミナルケア提供（区分：外来）

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島
宇摩	100%					
新居浜・西条		100%				
今治			100%			
松山				100%		
八幡浜・大洲				10.00%	90.00%	
宇和島						100%

・看取り（在宅患者）（区分：外来）

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居 浜・西条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島
宇摩	100%					
新居浜・西条		100%				
今治			100%			
松山				100%		
八幡浜・大洲				9.65%	90.35%	
宇和島						100%

・看取り（有床診）（区分：入院）

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条						
今治			100%			
松山				100%		
八幡浜・大洲						
宇和島						100%

・死亡診断加算（区分：外来）

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居 浜・西 条	今治	松山	八幡 浜・大 洲	宇和島
宇摩	100%					
新居浜・西条		100%				
今治			100%			
松山				100%		
八幡浜・大洲					100%	
宇和島						100%

・在宅リハビリテーションの提供（区分：外来）

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	100%					
新居浜・西条		100%				
今治			100%			
松山				100%		
八幡浜・大洲					100%	
宇和島					69.44%	30.56%

・療養病床における急性期や在宅からの患者受付（区分：入院）

		医療機関所在地					
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県
宇摩	100%						
新居浜・西条	3.09%	92.74%	2.36%	1.81%			
今治			97.25%	1.33%			1.43%
松山				100%			
八幡浜・大洲				3.65%	96.35%		
宇和島						100%	

・在宅療養中の患者の緊急入院を受入れ（区分：入院）

		医療機関所在地									
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	広島県	香川県	徳島県	高知県	その他 県外
宇摩	59.54%	13.60%		6.27%				17.93%	1.50%		1.15%
新居浜・西条	0.91%	82.09%	2.13%	13.78%							1.10%
今治			83.15%	11.31%			5.54%				
松山				99.51%	0.31%	0.18%					
八幡浜・大洲				25.49%	66.52%	7.99%					
宇和島				6.42%		91.84%				1.74%	

・在宅療養中の重症児の入院を受入れ（区分：入院）

		医療機関所在地				
患者住所地	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩						
新居浜・西条		100%				
今治						
松山				100%		
八幡浜・大洲						
宇和島						

※受療動向で対象となるレセプトは、国保、退職国保及び後期高齢者のみ。（カバー率：全体で約 55%、65 歳以上で約 90%、75 歳以上で 100%）